

# かながわ支え愛プラン

## 第4期 神奈川区地域福祉保健計画



誰もが住み慣れた地域で、  
健やかに、安心して暮らせるまちを  
みんなで作ろう

計画期間:令和3年度~令和7年度

令和4年3月 横浜市神奈川区役所

社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会

区内地域ケアプラザ・地域包括支援センター(反町、神之木、菅田、片倉三枚、新子安、沢渡三ツ沢、六角橋、若竹苑)

# まずはご一読ください！

この冊子を開いてくださって、ありがとうございます。

この「かながわ支え愛プラン」は、あなたも含めた神奈川区に関わる「皆さん」が、健やかに安心して暮らせるように、今後5年間の区と各地区の“目指す姿”を分かち合うための計画です。神奈川区の状況を知るために、区の特徴や住民の傾向などをデータで紹介しています。

これまでも神奈川区では、高齢者と子ども等の多世代交流をするサロン活動が増えてきたり、障害者の施設が地域の人との交流の場になるなど、「支え手」「受け手」の垣根や世代を超えたつながり、活動の場の広がりを見せています。また、住民同士の日常的な交流や見守りが進み、新たなつながりが広まっています。

ただ、現在は、新型コロナウイルス感染症の流行により、「集う」・「交流する」といった多くの地域活動を以前と同じように行うのが難しくなっています。それでも、「集まりたい・交流したい」という思いは大切にされ、つながりが途絶えないよう、新しい生活様式を取り入れながら、会う方法などを工夫する活動も広がってきています。

こんな時だからこそ、つながりを広げ、誰ひとり孤立することなく、支えあって暮らせるまちにしていきたい。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした取組を広げていきたい。様々な世代の方から聞かれた声を大切に、この計画ができました。

このまちを暮らしやすくする取組に、是非あなたのお力を貸してください。



## みんなでより良いまちをつくらう！



# 目次

- ① 神奈川区ってどんなまち？(区の特徴) ..... P1  
5つの視点から、人口などのデータを活用し、神奈川区の特徴を  
まとめています。
- ② 5年かけて区全体で目指すこと(区計画) ..... P8  
地域で暮らす様々な人が自分らしく、いきいきと暮らせるよう、  
5年かけて区全体で目指す方向性を3つの柱にまとめています。  
基本理念…P8      区全体で目指す3つの柱……P9  
柱1 ……P10      柱2 ……P22      柱3 ……P32
- ③ 5年かけて各地域で目指すこと(地区別計画) ..... P41  
区内の21の地区連合町内会エリアにおいて、5年かけて地域が  
目指すスローガンと目標などをまとめています。
- ④ 目標達成に向けた計画の進め方 ..... P129  
5年間の目標達成に向けて、それぞれの主体の取組を毎年振り返り、  
活動にどのように反映していくのかまとめています。
- ⑤ かながわ支え愛プランについて ..... P131  
かながわ支え愛プランの概要や位置づけと第1期から第3期までの  
振り返りをまとめています。
- ⑥ 施設の所在地 ..... P135  
地域ケアプラザ、区社協、区役所の紹介をまとめています。



# ① 神奈川区って どんなまち？

皆さんが暮らしている神奈川区。  
データを使って、どんな特徴があるのか見てみましょう。

## 01 | 人口が緩やかに増えていく区

神奈川区は、交通の利便性が良いことなどから人口が緩やかに増加しており、今後も増加が続く見込みです。

## 02 | ひとり暮らしの人が多く、核家族化が進んでいる区

神奈川区は、全世帯のほぼ半分が単身世帯であり、年代別に見ると、20代～30代の人が多い区です。また、世帯規模も横浜市の平均世帯規模と比較して、小さくなっています。

## 03 | 4つのデータから考える神奈川区

高齢者は、毎年増加している一方で、子どもは減少傾向にあります。また、外国籍の居住者は、毎年増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度は減少しています。

## 04 | 見守りや声かけの重要性が増している区

神奈川区においても核家族化が進んでおり、子育て世代は、「夫婦と子どものみの世帯」が大部分を占め、高齢者世代は「一人暮らし」や「夫婦のみ世帯」が増えています。困りごとがあったときには、周囲の手助けが必要になる可能性があります。

## 05 | 地区ごとにそれぞれの特徴がある区

神奈川区の西部には農地などが広がり、東部は平地で交通網が整備されています。また、区全体では人口が増加していますが、各地区では傾向が異なります。



# 神奈川区ってこんなまち！

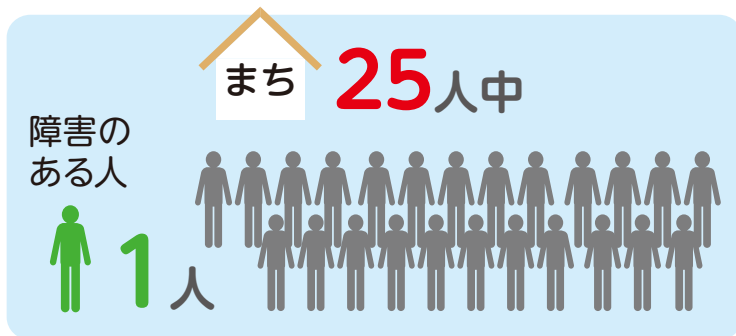
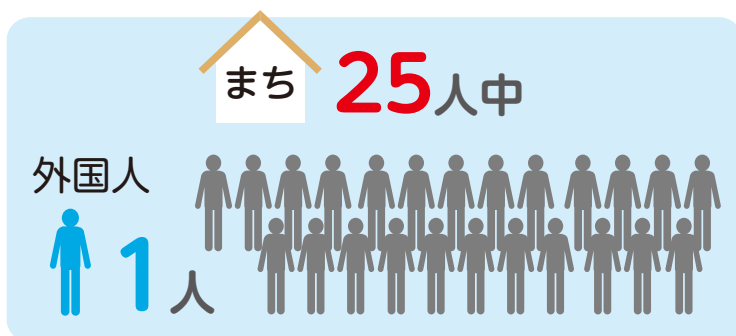
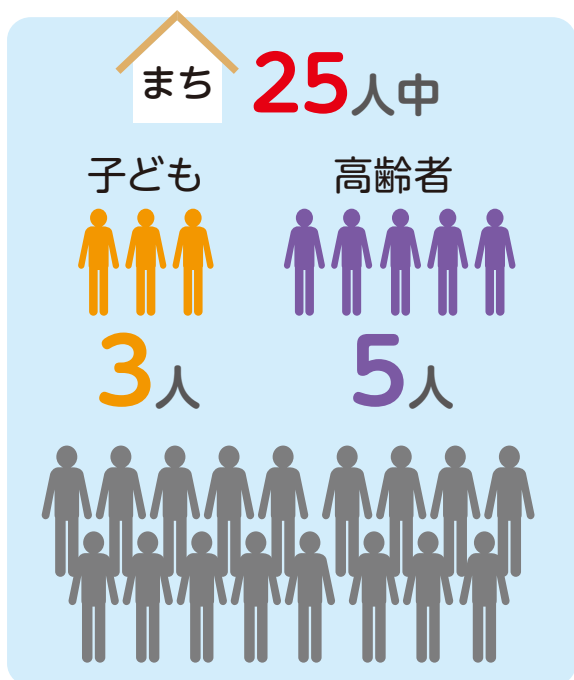


## まちの構成比

神奈川区を25人のまちに例えて、神奈川区がどんなまちになるのか見てみましょう。

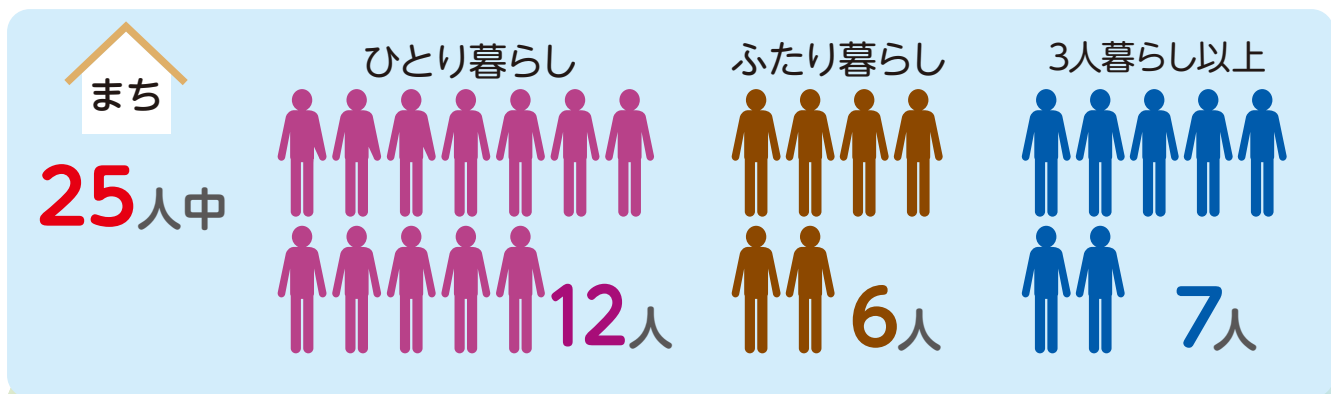
25人のまちには、様々な人が住んでいます。

例えば、子どもは3人、高齢者は5人、外国人は1人、障害のある人は1人。それ以外にも、いろいろな人が暮らしています。



25人のまちには、12人がひとり暮らしをしており、6人がふたり暮らしをしています。

25人のうち18人が2人以下の世帯となっています。

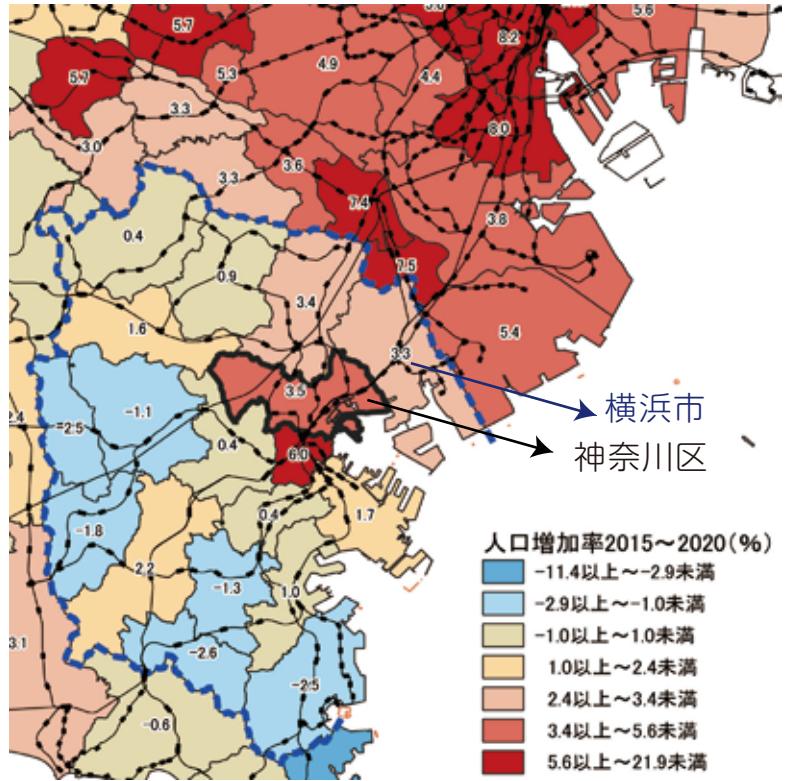


# 01 | 人口が緩やかに増えていく区

## 【1-1】2015年から2020年までの人口増減率

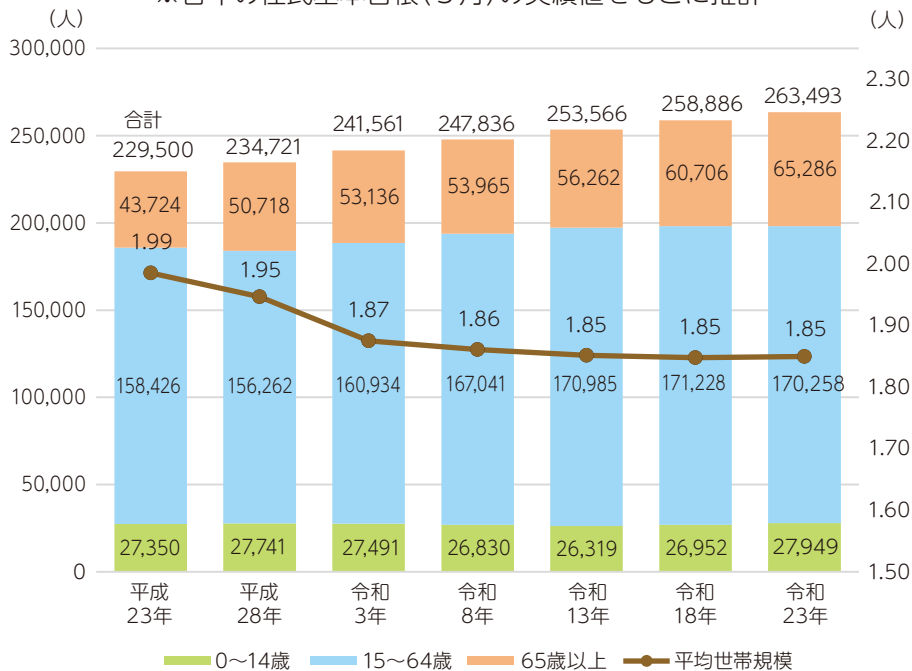
青い太枠が横浜市で、黒い太枠になっている場所が、神奈川区です。赤い色が濃いほど、2015年に比べて2020年の人口が増えているエリアです。東京都心部を中心に人口が増えており、横浜市も西区などで人口が増加しています。神奈川区も都心に近く、交通の利便性も高いことなどから人口が増えている区の一つです。

※各年住民基本台帳(2015年と2020年の1月1日時点)



## 【1-2】神奈川区の将来人口推計

※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



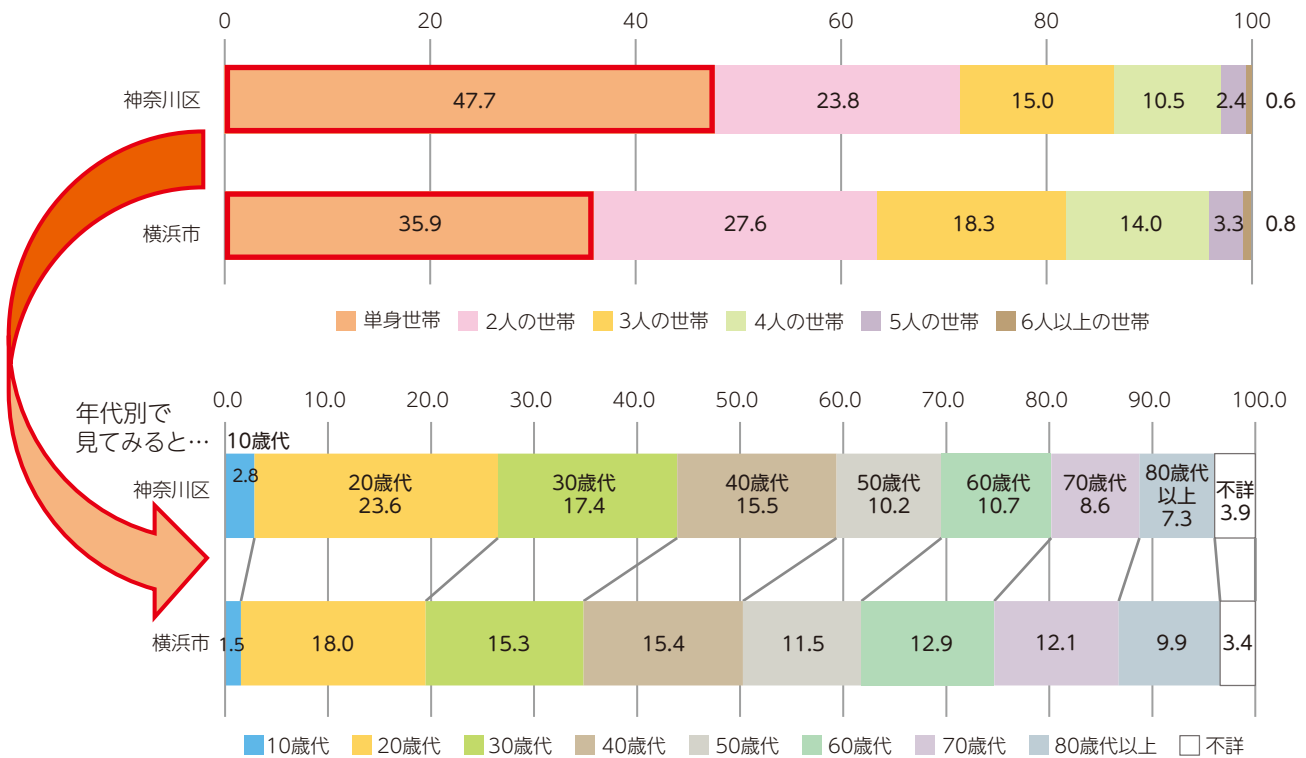
神奈川区の総人口は、241,561人(令和3年3月時点)。人口は、緩やかな増加が続いており、この傾向はしばらく続く見込みです。また、世帯規模はほぼ横ばいです。

## 02 | ひとり暮らしの人が多く、核家族化が進んでいる区

神奈川区はひとり暮らしの人の割合が47.7%を占め、横浜市の中でもその割合が高い区です。年代別で見ると、20代が最も多く、大学生・就職したばかりの区民の方が多いことが予想できます。世帯規模の平均も1.87人と横浜市平均の2.05人に比べて小さくなっており、核家族化が進んでいきます。

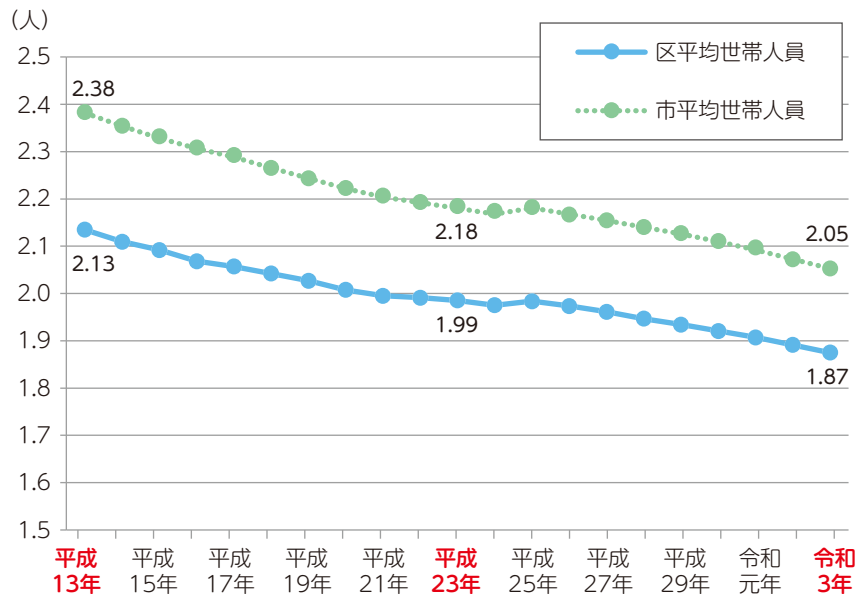
### 【2-1】規模別世帯数の比率と単身世帯の年齢別比率

出典：国勢調査(平成27年)  
(%)



### 【2-2】世帯規模の推移

※各年の住民基本台帳(3月)



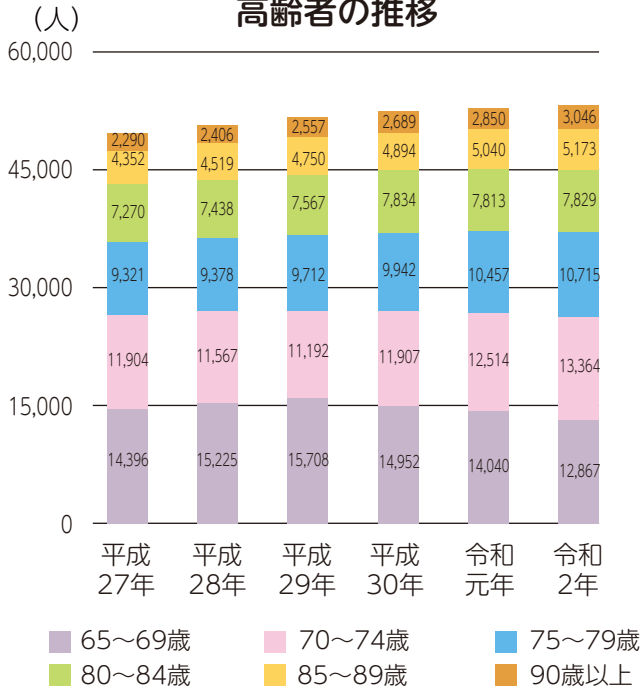
# 03 | 4つのデータから考える神奈川区

高齢者は、毎年増加している一方で、子どもは減少傾向にあります。また、外国籍の居住者は、毎年増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度は減少しています。

出典：横浜市統計書(平成27年～令和2年)

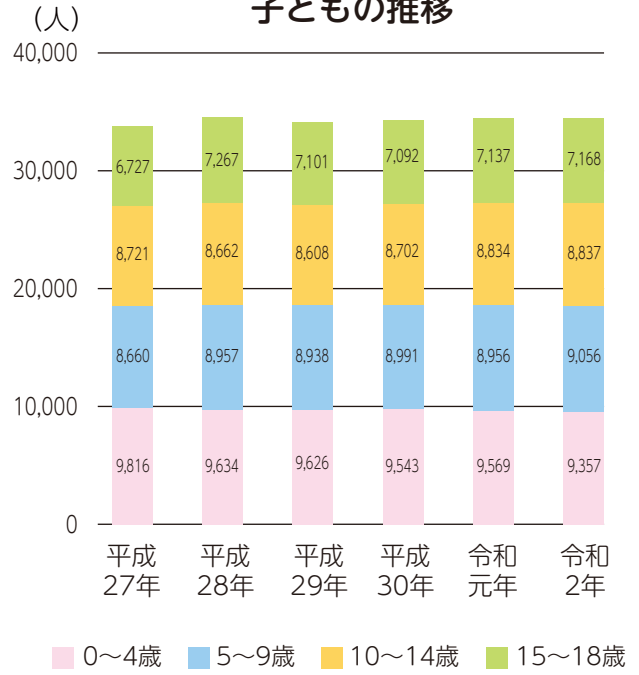
## 高齢者

高齢者の推移



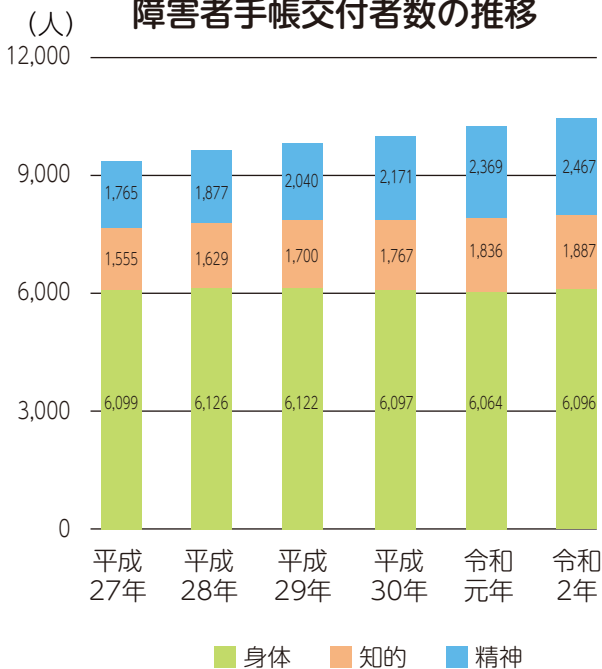
## 子ども

子どもの推移



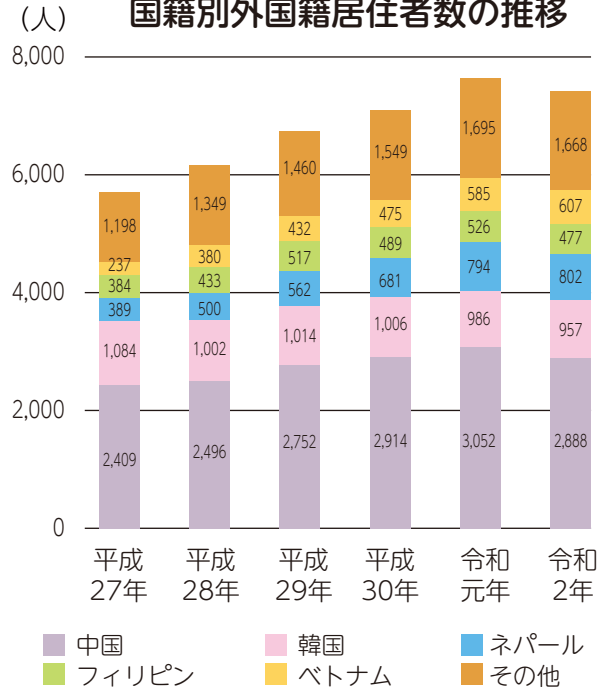
## 障害のある人

障害者手帳交付者数の推移



## 外国人

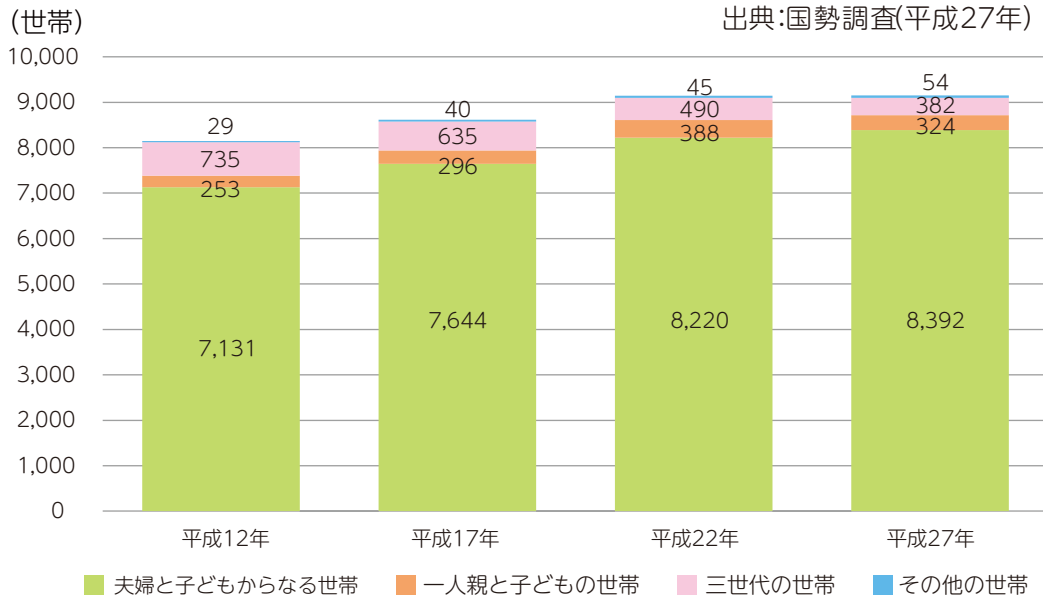
国籍別外国籍居住者数の推移





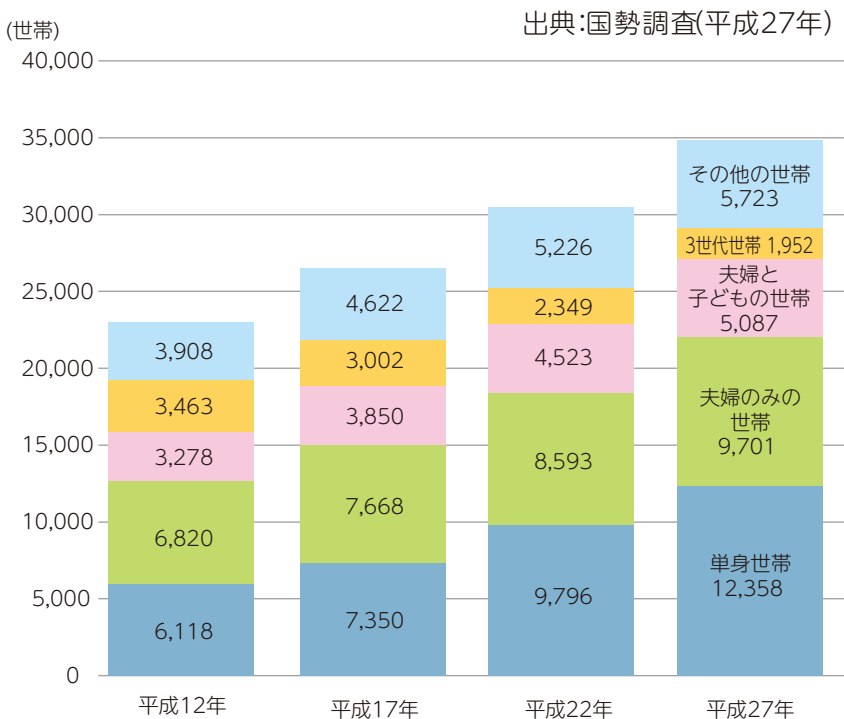
## 04 | 見守りや声かけの重要性が増している区

### 【4-1】未就学児(5歳以下)の子どもがいる世帯の家族類型



未就学児(5歳以下)の子どもがいる世帯の家族類型を見ると、夫婦と子どもだけの世帯が9割を占めています。子育てなどで困りごとがあったときには、周囲の手助けが必要になる可能性があります。

### 【4-2】高齢者のいる世帯の家族類型



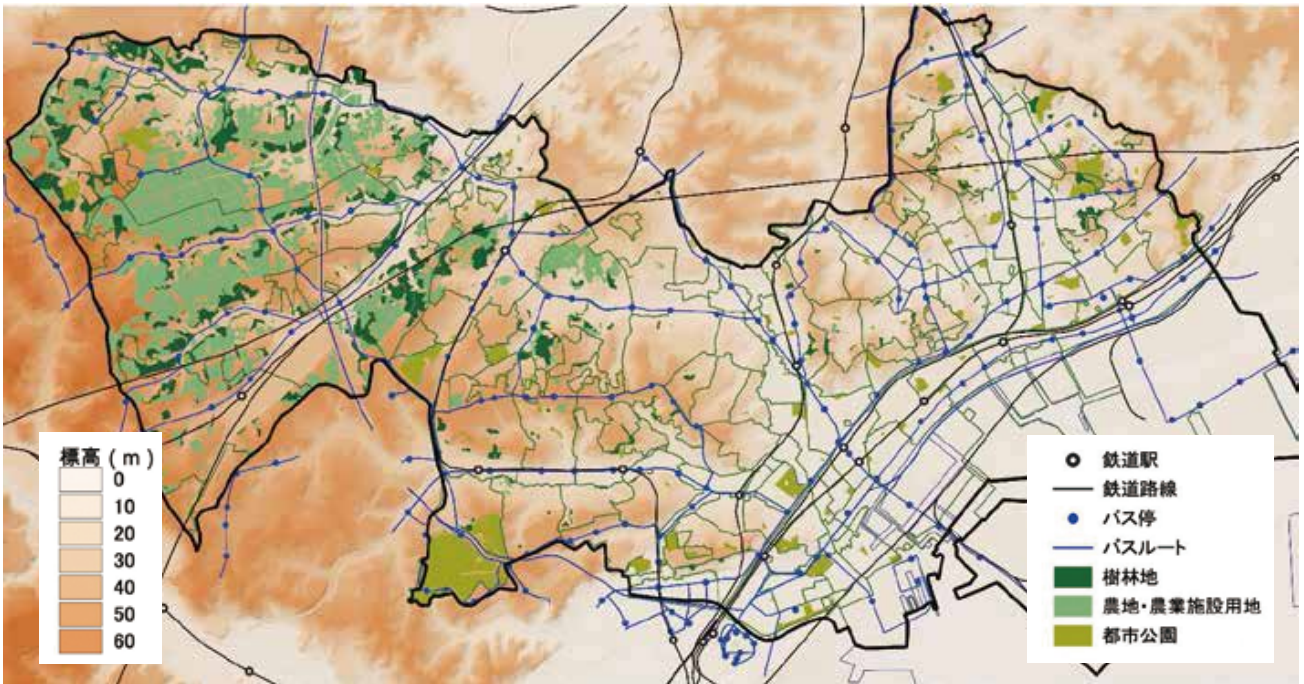
次に、高齢者のいる世帯の家族類型を見ると、単身世帯の増加が著しいです。夫婦のみの世帯も2番目に比率が高く、夫婦だけでは困りごとを解決できないようになってくると、見守りや声かけが重要になってきます。

## 05 | 地区ごとにそれぞれの特徴がある区

神奈川区は、東西方向に長く、西部は、丘陵地帯が多く、樹林地や農地・農業施設用地が広がっています。東部は、平地が広がっていて、都市公園が分布しています。また、平成28年と令和3年(いずれも3月末時点)の人口増加率を見てみると、区全体では、人口が増加していますが、地域ごとに見てみると、傾向が異なることがわかります。

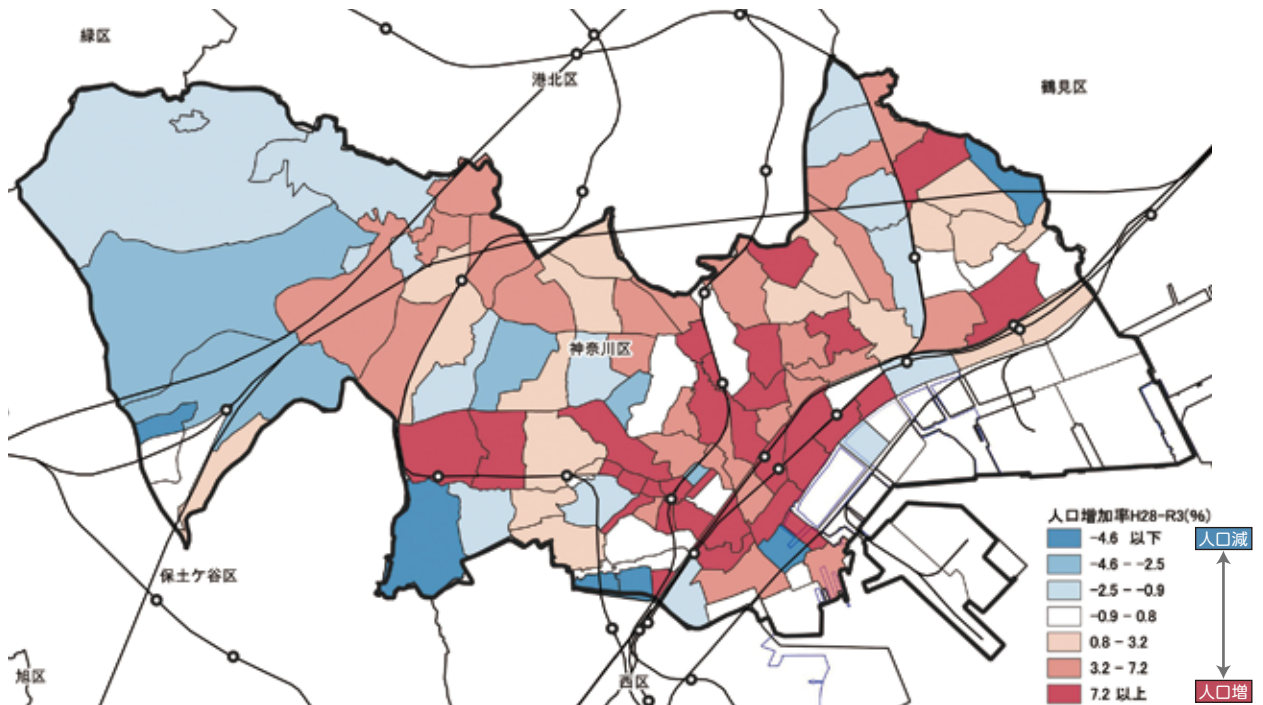
### 地形・土地利用

※出典：国土数値情報(国土交通省)、基盤地図(国土地理院)



### 人口増減

※各年住民基本台帳(平成28年と令和3年の3月末時点)



## ②5年かけて区全体で目指すこと(区計画)

### 基本理念

## 誰もが住み慣れた地域で、 健やかに、安心して暮らせるまちをみんなで作ろう

※この基本理念は、住民同士のつながりや地域活動を支援するにあたり、神奈川区が大切にしてきた考え方を基本理念としてまとめ、現在に継承しています。

### 【柱と基本目標の関係性】

地域で暮らす様々な人が自分らしくいきいきと暮らせるよう、5年かけて区全体で目指す方向性を3つの「柱」と7つの「基本目標」にまとめました。

#### 柱1

誰もが  
「ひとりぼっちにならない」  
まちづくりを進めます！

**基本目標1-①** 誰もが地域の一員として安心して暮らせるよう、一人ひとりが抱える困りごとへの理解を広げ、困ったときに「助けてほしい」と言いやすいまちをつくります。

**基本目標1-②** 一人ひとりの困りごとに気づくための仕組みをつくり、世代や抱える悩みなどの違いをこえた、様々な人たちが交流できる場をつくります。

**基本目標1-③**  
困ったときに身近な窓口で相談することのできる仕組みをつくります。

#### 柱2

「みんなのチカラを  
発揮できる」  
まちづくりを進めます！

**基本目標2-①**  
一人ひとりがいきいきと、自分にできることを地域で発揮できる環境をつくります。

**基本目標2-②**  
若い世代が地域の活動に参加しやすい工夫や仕組みをつくります。

#### 柱3

「地域のチカラが  
つながり合う」  
まちづくりを進めます！

**基本目標3-①**  
より暮らしやすいまちをつくるために、地域の様々な人が継続して話し合う場や、取組を進めるための体制をつくります。

**基本目標3-②**  
地域や個人の困りごとの解決のために、区役所・関係機関や、区内の企業など、様々なチカラがつながり合う仕組みをつくります。



# 区全体で目指す「3つの柱」

## 柱1 誰もが「ひとりぼっちにならない」まちづくりを進めます！

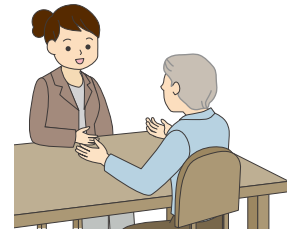
一人ひとりが抱える困りごとへの理解が広がり、見守りや声かけが進み、交流の場が広がるまちをつくれます。また、困った時に身近な相談先につながるまちを目指します。



知らないことを知る



交流の場を広げる



困ったときの身近な相談窓口を知る

## 柱2 「みんなのチカラを発揮できる」まちづくりを進めます！

誰もが誰かのために貢献でき、いきいきと生きがいをもって健やかに暮らせるまちをつくれます。また、若い世代が地域活動に参加しやすい工夫や仕組みを考え、皆が主役になれるまちを目指します。



自分にできることを活かして生きがいのある暮らし



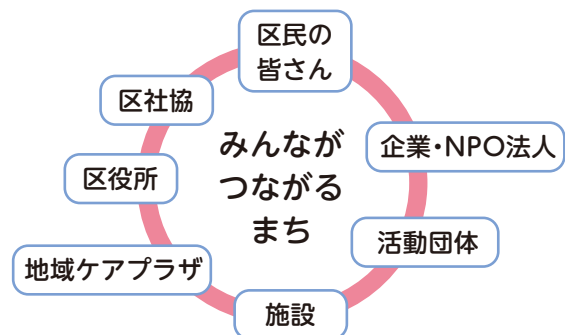
新たな力が活躍できるまち

## 柱3 「地域のチカラがつながり合う」まちづくりを進めます！

様々な人が、より暮らしやすいまちをつくるために継続して話し合い、相互に関わり、皆が一体となって進めていけるまちを目指します。



実現のための継続的な話し合いの場



様々な人・団体・施設・関係機関・企業の連携

# 柱1

## 誰もが 「ひとりぼっちにならない」 まちづくりを進めます！

### 基本目標1-①

誰もが地域の一員として安心して暮らせるよう、一人ひとりが抱える困りごとへの理解を広げ、困ったときに「助けてほしい」と言いやすいまちをつくりま

### 基本目標1-②

一人ひとりの困りごとに気づくための仕組みをつくり、世代や抱える悩みなどの違いをこえた、様々な人たちが交流できる場をつくりま

### 基本目標1-③

困ったときに身近な窓口で相談することのできる仕組みをつくりま



## 基本目標 1-①

誰もが地域の一員として安心して暮らせるよう、一人ひとりが抱える困りごとへの理解を広げ、困ったときに「助けてほしい」と言いやすいまちをつくりまします。



### 区民の声

- 誰でも困ることがある、助け合うことが大事。
- みんな違って、みんないい。違いを受け入れられる社会になるといい。
- 困っていることを一人で抱え込まず、誰かに伝えられるといい。
- 高齢の人や障害のある人などみんなが住みやすいまちになってほしい。
- 色々なところから子どもの笑い声が聞こえるまちが素敵。
- ひとりぼっちの子育てにならないような環境をつくるのが大切。
- 困りごとは、介護・子育てなど一つだけでなく、同時に起きていることも多い。

## 目指す姿

- ★誰でも違いや困りごとがあるのは当たり前という理解が広がり、「大丈夫？」、「助けてほしい」とお互いに声をかけ合えるまち
- ★地域の一員である子どもや若者を地域全体で育む意識が高いまち

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	「知らない」を学んでみます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■障害や認知症等の関わり方について学んでみるなど、啓発イベントに参加してみます。</li> <li>■言葉や文化の違うご近所さんを理解するため交流(挨拶、国際交流イベントへ参加等)をしてみます。</li> <li>■子育ての困りごとや何が大変なのか、関心を向けてみます。</li> </ul>
	子どもたちや若者を温かい目で見守ります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近所の子どもや若者には大人から挨拶します。</li> <li>■子育て中の家族がいたら挨拶など積極的にコミュニケーションをとります。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	「知らない」を「知る」に変えて、お互いにどのような配慮が必要か、一緒に考える機会をつくりまします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■それぞれの活動団体・施設が活動を通して把握した困りごとを発信し、困りごとへの理解を広めます。</li> <li>■それぞれの団体が連携し、分野を越えた横断的な困りごとの理解を広めます。</li> </ul>
	一人ひとりの困りごとに寄り添えるまちづくりを進めます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■同じような困りごとを抱える人同士と一緒に活動できるきっかけや、仲間になるきっかけをつくっていきます。</li> </ul>
	子どもを「まち全体」で育てることの大切さを広めます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■まち全体で子どもを見守り・育てる意識をそれぞれの団体内で深め、また活動や取組を通じて広めていきます。</li> </ul>

### 各項目の説明

- ★基本目標：5年間で達成を目指す目標のことです。
- ★区民の声：区民意識調査、子ども支援調査等のアンケート及び直接寄せられた意見等です。
- ★目指す姿：5年よりも更に先の将来的に目指す状況のことです。
- ★主体：計画を進めていく人・団体のこと。

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
地域 ケアプラザ	困っている人の気持ちや 思いをまちの皆さんに 知ってもらいます！	■暮らしの中の様々な困りごとについて、講座の開催や 交流の機会を持つことで、まちの皆さんの学びや理解 を深めます。
	現在の子育ての大変さと大切さを 今以上にまちの皆さんが 考えるきっかけをつくります！	■地域ケアプラザを利用する様々な世代に対し、分かり やすい手段・手法を用いて、まち全体で子育ての大変 さと大切さについて理解を広めます。
区社会福祉 協議会	社会福祉協議会が持っている ネットワークを活かして、 「知る」「理解する」ための 様々な機会を提供します！	■暮らしの中の様々な困りごとをボランティアセンター や地区社協の支援といった地域活動支援業務と結び つけ、生活困窮、権利擁護、障害に関する理解を広めて いきます。 ■福祉施設と協力し、施設見学や幅広い世代を対象とした ボランティア体験を企画していきます。 ■地域ケアプラザと共に地域の課題分析を行い、個人 の困りごとを地域課題として捉えられる研修や啓発 イベントを開催します。 ■ボランティア活動団体や福祉保健活動拠点の利用団体 とのつながりを通じて、個人の困りごとへの理解を広げ、 困ったときのサポーターを広げていきます。
区役所	できるだけ 分かりやすい方法で、 みんなの「知らない」を 「知る」に変えます！	■映画や寸劇・お笑いなど、楽しんで学べる要素を取り 入れるなど、誰もが理解しやすい工夫を凝らした各種 講座を開催します。 ■障害者地域作業所の商品の紹介や製品の手作り体験 など、障害者に関心を持ち、理解するきっかけをつく ります。 ■「ダブルケア(子育てと介護を同時に担うこと)」や「ひき こもり」など、各課が連携し、困りごとへの理解を広めます。
	子育て世代の声を まちに届けます！	■『神奈川区子育てアンケート』の結果など、子育て世代 のナマの声をまちに届け、まち全体で子どもたちを 育む大切さを広めます。

各項目の  
説明

- ★活動団体：地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」という。)、連合町内会、自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、シニアクラブ、ふれあい活動員など
- ★各種施設：福祉施設、区民利用施設(図書館、地区センター、スポーツセンター)など
- ★関係機関：地域子育て支援拠点、生活支援センター、基幹相談支援センター、学校、保育園、企業、医療機関、福祉サービス事業者など
- ★地域ケアプラザは、地域包括支援センター 若竹苑も含めて記載しています。
- ★地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の説明は、P136を参照してください。

## 「知らない」を「知る」に変える機会づくり ～中学校での認知症理解講座～

毎年、栗田谷中学校では1年生を対象に福祉教育の一環として認知症理解講座を開催しています。令和2年度は民生委員や地域ケアプラザなどの有志が講師となり、寸劇や介護の経験談を通して認知症についてわかりやすく伝えました。講座の質疑応答の場面では、民生委員が自身の介護経験を話し、それを熱心にメモをする生徒の様子が見られました。  
※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

### 今後に向けて

若い世代が、学校の授業の中で認知症について学ぶことで、その親世代にも理解が波及します。いつまでも自分らしく安心して暮らせる地域社会づくりのために、今後も地域の方のご協力をいただきながら、認知症についての学びの機会を継続して増やしていきたい。(反町地域ケアプラザ)



認知症サポーター  
中学生養成講座副読本

## まち全体で子どもを見守り・育てる意識づくり ～こどもみらい会議～

新子安地区では駅近のマンション建設が進み、子育て世帯が増えているのに、顔を合わせる機会が少なく、子どもや子育て世代が「見えない」という課題を抱えていました。地区社協と主任児童委員が発起人となり、連合自治会、区社協、地区民生委員児童委員協議会(以下、「地区民協」という。)、保育園、学童クラブ、放課後キッズや小・中・高校等が参加する『こどもみらい会議』が平成29年度から始まりました。地域の各団体や施設、学校同士がお互いを知り合うことで、まち全体で子どもを見守るネットワークづくりを進めています。

### 今後に向けて

こどもみらい会議で集まった情報をまち全体に発信することで、子どもたちや子育て世代への理解を広げるだけでなく、住民同士の交流活動の情報を若い世代にも届けていきたい。

(新子安地域ケアプラザ)



子どもの安全をテーマに話し合いをする様子



## 若い世代に寄り添えるまちづくり ～相談窓口・地域の居場所紹介リーフレット～

新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親や働き盛り世代の困窮が拡大傾向にあるなかで、地区社協の話し合いにおいて、若い世代に必要な情報がきちんと届いているのかという懸念がありました。近隣3地区の地区社協、民生委員児童委員協議会、地域子育て支援拠点かなーちえ、区役所、区社協、地域ケアプラザが話し合いを重ね、「ひとりで悩まないで」というメッセージを若い世代に届けるために、相談窓口や地域の交流の場の情報を載せたリーフレットを作成しました。

### 今後に向けて

作成したリーフレットは、より多くの若い世代に情報が届くよう、3つの地区内にある保育園や小学校、子育てサロン等での配布とあわせて、地元情報を発信しているウェブサイトにも掲載していきたい。

(片倉三枚地域ケアプラザ)



作成したリーフレット

## お互いにどのような配慮が必要なのか一緒に考える ～障害について学び・考える機会～

精神疾患の理解を深めるために、地区社協や神奈川区生活支援センターと共催で、地域の皆さんを対象とした精神保健福祉の啓発講座を毎年開催しています。

最近では、「意外と身近なメンタルヘルス」や「こころの病気の理解と対応」というテーマで講座を開催しました。

講座を通して、地域の皆さんのこころの健康増進とともに、精神疾患や障害に対する理解が広がっています。

### 今後に向けて

啓発講座とあわせて、支援が必要なお互いを支え合うまちづくりを進めていくため、精神保健福祉に関わるボランティアを育成する講座等の開催についても検討していきたい。

(菅田地域ケアプラザ)



講座の様子

## 基本目標 1-2

一人ひとりの困りごとに気づくための仕組みをつくり、世代や抱える悩みなどの違いをこえた、様々な人たちが交流できる場をつくりま



- 「ひとりぼっち」がないまちがいい。
- 顔見知りが多く、気軽に声をかけあえるといい。
- 「どうしたのかな？」と気が付けることが大切。
- 世代や性別、国籍、障害の有無などを問わず、誰でも交流できる場所が身近にあると助かる。
- 安心して子どもを遊ばせられる場所や、子育て中の親同士が交流できる機会がほしい。

## 目指す姿

- ★ 困りごとを抱えている人にすぐに「気づき」、「つなぎ」、「見守る」ことで、困ったときに助けの手が届くまち
- ★ 人と出会えるきっかけが増え、「大丈夫？」、「助けてほしい」と言いやすい関係がたくさんあるまち
- ★ 子どもから高齢者まで、誰もがのびのび・いきいきと参加することのできる活動があり、心も身体も健やかに暮らすことのできるまち

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	日頃からご近所との交流を大切にします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ご近所同士で顔を合わせた時は挨拶をします。</li> </ul>
	ご近所や身近な人に気を配ります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「手伝いましょうか」と声をかけます。</li> <li>■「ありがとうございます」と助けられ上手になります。</li> <li>■ご近所や身近な人に「あれ？」と感じたら、誰かに声に出して共有します。</li> </ul>
	まちのイベントに参加してみます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スポーツイベントや防災訓練など、まちの活動に関心を持ち参加することで、毎日を健やかに暮らします。</li> <li>■まちの行事・活動に参加する際に、知人や友人を誘ってみます。</li> <li>■子育て中の親同士や、介護している者同士など、同じ悩みを抱える人たちの集まりに参加してみます。</li> <li>■まちで行われている様々な「見守り活動」について知ります。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	世代、国籍、障害の有無などに関係なく、みんながいきいきと参加できる場を増やします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近なまちの中で、顔見知りを増やす場やきっかけをつくりま</li> <li>■主催する活動や行事に誰もが参加しやすい工夫をします。</li> <li>■まちで行う行事などの際に、子どもたちとまちの大人たちが交流するきっかけをつくりま</li> <li>■昔から住んでいる住民と新しい居住者が交流できる場をつくりま</li> <li>■悩みを相談したり、お願いごとを頼んだりできる関係性や場をつくりま</li> <li>■施設の共有スペースを活用し、まちの交流スペースの一つとしま</li> <li>■様々なイベントや集いの場に参加するための「お出かけ」のお手伝いをしま</li> </ul>

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
活動団体・ 各種施設・ 関係機関など	緩やかな見守りの目を 広げます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ふれあい活動」など、まちの中で行う見守りの活動により、誰かを気にかける目を広げていきます。</li> </ul>
地域 ケアプラザ	まちの環境に合わせ、 身近で集える場づくりや、 見守りの仕組みづくりを 支援します！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世代や立場を超えて交流できるサロンなどがまちの中に立ち上がり、継続的に運営されていくよう支援します。</li> <li>■ まちで行われている見守り活動がより充実するよう、見守りのポイントや工夫に関する研修会などを実施します。</li> <li>■ 将来の心配ごとについて元気なうちから周囲と共有できるように、ライフデザインノートなどを区役所と共に活用していきます。</li> <li>■ 運動や閉じこもりの予防のための活動を始めたい方などを対象に元気づくりステーションの立ち上げや運営を区役所と共に応援します。</li> </ul>
	誰もが集まれる 機会をつくれます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育て世代の交流会や介護予防教室などの事業を実施し、子どもから高齢者までそれぞれのニーズに応じた場をつくれます。</li> </ul>
区社会福祉 協議会	社協のネットワーク メンバーと共に 交流の機会づくりを 進めます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 障害者やその家族からの要望の多い「災害時への備え」をテーマに、福祉施設や地区社協などの地域関係者と連携し、地域ケアプラザと共に地域との交流づくりを進めます。</li> <li>■ 地区ボランティアセンターや移動情報センターとのつながりを活かして、活動者と参加者(利用者)が垣根なく「お互いに助け合う」関係が築けるよう交流の機会をつくれます。</li> <li>■ 福祉保健活動拠点がさらに個人と活動団体、活動団体同士の交流の場となるよう、拠点利用団体と一緒に交流の機会づくりを検討していきます。</li> </ul>
区役所	様々な手法により、 困りごとの解決を 図ります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 乳幼児健診などにより、子どもの発達や保護者の困りごとを確認します。</li> <li>■ 「まちづくりプラン」など、ハード整備の仕組みと連携した困りごとの解決を応援します。</li> </ul>
	身近な人を気に掛け、 異変にいち早く気付くことのできる環境をつくれます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常生活の中で気になる人へ行う見守り活動の大切さを広めることで、まち全体に見守りを広げていきます。</li> <li>■ まちでの見守りや支え合いにより、いざというときに安心して暮らすことのできる環境をつくれます。</li> </ul>
	誰もが集える居場所や 機会を充実させます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いきいきと楽しみながら多世代交流を図れるよう、ウォーキングなどのイベントを企画します。</li> <li>■ 「外遊び」の大切さを伝える体験イベントや講演会により、子どもの成長を促し、親同士が継続的に交流する場をつくれます。</li> </ul>

## 同じ悩みを抱えている人と話せる場

### ～ダブルケアカフェ～

子育てと介護等、同時期に複数のケアを担う人が増えており、このような複数ケアを同時進行している状態のことを「ダブルケア」と言います。「子どもの話はママ友に話せるが、親の介護の話は気軽にママ友に話すことができない」などダブルケア当事者は、特有の悩みを抱えていることが多いと言われています。ダブルケアカフェは、地域子育て支援拠点かなーちえと地域ケアプラザが共催し、参加する当事者や経験者が悩みを自由に話すことができる場です。

#### 今後に向けて

同じ立場の人同士が、悩みや心境を分かち合うことで、支え合いの場となっています。これからも、当事者同士がつながるようダブルケアを周知していきたい。

(神之本地域ケアプラザ)



カフェ開催時の様子



講演会時の様子

## 障害に関係なくみんなが集える場づくり

### ～こもればカフェCoCo～

「こもればカフェCoCo」は、障害のある人たちの声を受けて、土日に通える居場所を作るために、立ち上がったカフェです。このカフェでは、障害等に関係なく地域の皆さんが歌や体操、パン作りなどを共に体験しています。皆で交流することで、自然と会話が弾み、楽しむことのできる場になっています。

#### 今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響で開催は見合わせていますが、再開後はより多くの地域の皆さんに足を運んでもらうことで、これからも多くの人々が交流し、障害への理解が進むよう関わっていききたい。

(沢渡三ツ沢地域ケアプラザ)



カフェで提供するパンの下準備の様子

## 『分かり合える仲間と過ごす』居場所づくり ～認知症カフェ～

認知症サポーター、地域の事業所、地域ケアプラザの三者が協力して、認知症の人とその家族が気楽に立ち寄れる認知症カフェを開催しています。カフェでは、思い思いのおしゃべり、参加者のアイデアによるクイズ、昔遊び(けん玉やお手玉など)を地域の皆さんと一緒に楽しむことで、認知症の人やその家族の居場所になっています。

### 今後に向けて

最近では、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインを活用した認知症カフェも始まっており、今後も対面とオンラインの両方で、認知症の人やその家族の声を受け止めていきたい。

(片倉三枚地域ケアプラザ)



カフェ開催時の様子



こま  
独楽遊びの様子

※認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動する「応援者」のことです。

## 近所の人と知り合えるきっかけづくり ～あおぞら昼食会・星空ビアガーデン～

羽沢地区では、誰もが参加しやすい場となり、地域とつながる機会をつくることを目的に、公園などでカレーを食べながら交流する「あおぞら昼食会」や、ビールを楽しみながら交流する「星空ビアガーデン」を行い、多くの人に参加しています。取組を進める中で、ご近所同士で何年かぶりに話をしたという声が多くあり、つながることの大切さをあらためて参加者で共有しています。

### 今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていますが、これからも地域の介護施設や郵便局等から協力を得ながら、地域の皆さんとこの取組を続けていきたい。

(若竹苑)



あおぞら昼食会の様子

## 基本目標 1-③

困ったときに身近な窓口で相談することのできる仕組みをつくります。



- 相談の内容によって窓口が異なる。どこに相談したらよいか、分かりづらい。
- 困っている人を見かけたが、どこに連絡すればよいのかわからなかった。
- まだまだ一部の人しか地域ケアプラザを知らないのではないか。
- 行政が“縦割り”にならないよう、困りごとの解決のために部署を超えて連携をとる。
- 面と向かって相談しにくい問題を抱えた人にとっても、気楽に相談できる仕組みがあると良いのではないか。

## 目指す姿

★ 地域の相談窓口として地域ケアプラザや<sup>※1</sup>基幹相談支援センター、<sup>※2</sup>地域子育て支援拠点など、様々な機関がもっと身近に感じられるまち。

※1 基幹相談支援センターとは、障害のある人やその家族からの相談を受けて、関係機関などと連携し、困りごとのサポートをする施設です。

※2 地域子育て支援拠点とは、就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う施設です。

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	困ったときにどこに相談したら良いのか確認しておきます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分が住んでいるエリアを担当する地域ケアプラザや基幹相談支援センター、地域子育て支援拠点などの困りごとの相談窓口を知っておきます。</li> <li>■ 地域ケアプラザに足を運び、開催されている講座やイベントに参加してみます。</li> <li>■ 民生委員・児童委員や、自治会町内会の関係者が誰なのかを知っておきます。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	頼れる身近な相談相手を目指します！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 介護を行っている人や、核家族のなかで子育てをしている人など、日頃の不安や悩みを聞いて、寄り添います。</li> <li>■ 日頃から地域ケアプラザなどの各関係機関との連携を取り、専門的な支援が必要なことがあれば、相談窓口へつなぎます。</li> <li>■ 専門機関へ相談をつなぐ役割である民生委員・児童委員の役割をこれまで以上にPRします。</li> </ul>
	気軽に立ち寄れる施設を目指します！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 福祉情報をより身近なところで住民に提供できるよう、各種施設では、館内にまちの情報コーナーをつくります。</li> </ul>

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
地域 ケアプラザ	<p>「誰もが気軽に立ち寄れる」 地域ケアプラザを 知ってもらいます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■暮らしに必要な情報や地域ケアプラザが「できること」などをより多くの人に知ってもらうため、分かりやすい広報紙・ホームページ・SNSなど、様々な方法でPRします。</li> <li>■まちの行事等に積極的に参加し、住民の皆さんと地域ケアプラザ職員の顔がつながるようにします。</li> </ul>
	<p>相談先として真っ先に 思い浮かぶような 施設になります！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地理的に地域ケアプラザまで通いづらいエリアには出張相談などを行い、困ったときには誰もがケアプラザに相談できる環境をつくります。</li> <li>■専門性の幅を広げるため、各職員のスキルアップを図ります。</li> <li>■様々な困りごとの相談を受け止めて、必要に応じて、民生委員・児童委員などの関係者や関係機関などと連携して対応します。</li> </ul>
区社会福祉 協議会	<p>区社協の業務について さらに周知を 進めていきます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■区社協の相談窓口について、民生委員・児童委員や保育園・学校などの地域の情報発信源となる関係者に周知を徹底します。</li> </ul>
	<p>身近な相談窓口と 専門相談窓口との つながりを強化します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区ボランティアセンターなどの地域住民による身近な困りごと相談の窓口を増やし、そこから民生委員・児童委員や地域ケアプラザにつなげていく仕組みをつくります。</li> </ul>
区役所	<p>まちの中の相談先を 知ってもらいます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域ケアプラザなど様々な相談機関や、民生委員・児童委員など身近な相談相手をまちの誰もが認識できるよう、それぞれの役割を広くPRします。</li> <li>■子どもから高齢者まで健康や生活に関することなど様々な相談をお受けし、区役所の各課が連携して対応します。</li> </ul>
	<p>各相談機関や団体が 活動しやすい 環境づくりを進めます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域ケアプラザなど、各相談機関が最大限に力を発揮することができるように区役所が支援します。</li> <li>■自治会町内会や民生委員・児童委員など頼れる身近な相談相手が受け止めた困りごとをスムーズに関係機関へつなげられような仕組みをつくります。</li> <li>■内部研修を定期的実施するとともに、活動団体や施設と合同の研修を併せて実施することで、相談窓口としてのスキルアップを図ります。</li> </ul>

## 相談窓口を知ってもらう ～郵便局での出張相談～

反町地域ケアプラザでは、エリア内の2か所の郵便局に職員が出向き、出張相談会を定期的に行っています。

高齢になり足腰が弱くなってしまったり、病気やケガがあって地域ケアプラザまで歩いて行くことが難しい人にも「身近な相談の場所」としてご利用いただいています。

### 今後に向けて

世間話をするような気持ちで、郵便局の相談ブースに立ち寄っていただき、気軽に相談してもらえよう、今後も地域ケアプラザの広報紙やチラシ等で周知をしていきたい。

(反町地域ケアプラザ)



相談ブースの様子

## どこに相談したら良いかに答える ～地域カフェでの個別相談～

沢渡三ツ沢地域ケアプラザでは、エリア内で多く催されている地域カフェへ出向いて地域ケアプラザの事業をPRしています。地域カフェでは、皆さんと交流するなかで、「ちょっと気になる友人がいるんだけど」という相談が寄せられることもあります。職員が参加することで、地域ケアプラザは困ったときに相談できる場所であると知っていただく機会となっています。

### 今後に向けて

地域の皆さんが集まる地域カフェや町内会館などに、職員が出向くことで、地域ケアプラザを知っていただき、「いつでも」「気軽に」「身近に」相談できる環境をつかっていきたい。

(沢渡三ツ沢地域ケアプラザ)



地域カフェで参加者と会話する様子



## 柱2

# 「みんなのチカラを発揮できる」 まちづくりを進めます！

### 基本目標2-①

一人ひとりがいきいきと、自分にできることを地域で発揮できる環境をつくります。

### 基本目標2-②

若い世代が地域の活動に参加しやすい工夫や仕組みをつくります。



## 基本目標 2-①

一人ひとりがいきいきと、自分にできることを地域で発揮できる環境をつくりま



- 誰かにしてもらっただけでなく、自分もできる喜びや役に立っている喜びを感じたい。
- 自分の得意なこと、自慢できることってなんだろう…。
- 子どもから高齢者まで、誰もができることを活かせる社会になってほしい。
- 地域の活動などをお手伝いする人は、自分たちも楽しければ集まりやすいと思う。まずは、自分たちが楽しむことが大切。

## 目指す姿

★ 趣味や特技、経験など、一人ひとりの力を活かすことで、誰もが誰かのために貢献でき、生きがいをもって健やかに暮らせるまち。

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	自分の得意なことやできることを発見します！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区役所や地域ケアプラザの発行する広報誌を読んでもみます。</li> <li>■ まちの様々な活動を見学します。</li> <li>■ 誰がどんなことを求めているのか、自分にどんなことができるのかを区ボランティアセンターや地域ケアプラザに相談します。</li> </ul>
	自分ができることを楽しんでやります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分の趣味や特技、経験などを活かして、自分が誰かのためにできることをチャレンジしてみます。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	誰もがやりがいを持てるような活動を広げます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 誰かのために貢献でき、つながりや、やりがい・いきがいを感ぜられるような活動メニューを増やし、広げていきます。</li> </ul>

### 各項目の説明

- ★基本目標：5年間で達成を目指す目標のことです。
- ★区民の声：区民意識調査、子ども支援調査等のアンケート及び直接寄せられた意見等です。
- ★目指す姿：5年よりも更に先の将来的に目指す状況のことです。
- ★主体：計画を進めていく人・団体のこと

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
地域 ケアプラザ	まちで活躍する 新たな人材を 育成していきます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幅広い世代に興味を持ってもらえるようなボランティア講座を区社協・地区社協とともに開催します。</li> <li>■まちでボランティア活動を行う組織(いわゆる「地区ボランティア団体」)の立ち上げや活動を支援します。</li> </ul>
	誰もがいきいきと 集まれる場を つくります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「何かをしたい」という人に、公園や地域ケアプラザなどを利用して活動できる場を設けます。</li> <li>■各団体の活動を支援し、一人ひとりが参加しやすい環境をつくります。</li> </ul>
区社会福祉 協議会	ボランティア 活動体験の機会を 増やします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■区ボランティアセンター機能を強化し、福祉施設や地域ケアプラザと協力しながら、より身近なところでボランティア活動をはじめられるよう、誰でも参加できるボランティア活動体験の機会を増やします。</li> </ul>
区役所	まちや誰かのために 取り組む人を応援する 仕組みや場を つくります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域づくり大学校などを通じて、新たな担い手をまちの活動につなげます。</li> <li>■生涯学習に関心がある人向けに講座を開催します。</li> <li>■区民まつりや湊フェスタなど、様々な活動を行う施設や団体の皆さんが活躍・発表できる機会を設けます。</li> </ul>

各項目の  
説明

- ★活動団体：地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」という。)、連合町内会、自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、シニアクラブ、ふれあい活動員など
- ★各種施設：福祉施設、区民利用施設(図書館、地区センター、スポーツセンター)など
- ★関係機関：地域子育て支援拠点、生活支援センター、基幹相談支援センター、学校、保育園、企業、医療機関、福祉サービス事業者など
- ★地域ケアプラザは、地域包括支援センター 若竹苑も含めて記載しています。
- ★地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の説明は、P136を参照してください。

## 何かをしたい気持ちをつなげる ～ボランティアデビュー講座～

菅田地区では、地域で活動したい人へのきっかけづくりとして、ボランティアデビュー講座を開催しています。講座では、地域特性やボランティアの意義を学ぶだけでなく、草取りや網戸の張替えなど困りごとに対応できる実践的な内容も学びます。毎年、ボランティアへの依頼件数も増加しており、「菅田安心ボランティア」として活躍の場も広がっています。

### 今後に向けて

生活に密着した依頼に 대응していけるよう、また、講座参加者の方々が地域活動にやりがいを持てるよう、講座内容を充実していきたい。

(菅田地域ケアプラザ)



掃除の講座



庭木の剪定講座

## 参加しやすいきっかけづくり ～コーヒーを学んでサロンを作ろう♪～

ドトールコーヒー(エネジェット六角橋店)と協力し、「おいしいコーヒーの淹れ方を学び、学んだ知識や淹れ方で他の方にコーヒー振る舞おう!」という講座を開催しました。現在、卒業生を中心に身近な拠点での集いの場として「地域カフェ(珈琲サロン)」が運営されています。卒業生の人数も約50名を越え、活動拠点も12か所と年々広がりを見せています。個人の趣味活動や日頃から行っていることなどをきっかけにして、まちの活動の担い手が増えています。

### 今後に向けて

今後も、一人ひとりが参加しやすく、また企業等の強み・得意なところを活かしやすい講座をまちの皆さんとともに開催していきたい。

(六角橋地域ケアプラザ)



地域カフェマップ

## 任期にとらわれないつながりづくり ～羽沢南men'sクラブ、HLC48～

羽沢南町内会では、役員の任期を終えた後も引き続き地域活動に参加してもらえるように、「羽沢南men'sクラブ」「HLC48」(羽沢南レディースクラブ フォーティエイト)に任意で登録してもらっています。地域の祭り、星空ビアガーデン、自治会町内会や地区社協の活動等に参加しています。この取組のおかげで、多くの人が継続的に地域とつながり、地域の担い手となっています。

### 今後に向けて

羽沢南町内会では、地区の役員が入れ替わっていく中で、お手伝いをしてもらう担い手を募る工夫をしています。これからも、担い手の皆さんの活躍の場の情報を地域と共有したり、行事等に共に関わっていきたい。

(若竹苑)



イベントの準備や設営のお手伝い

## 住むまちでの仲間づくり ～P・P・Tの会(パパ友の会)～

「P・P・Tの会」は、地域の20代から70代までの個性豊かな仲間構成されている団体です。主な活動は、自治会町内会の祭りの櫓組み、神輿かつぎ、餅つき、小学校のイベントの参加などがあります。また、地域の子どもたちと芋ほり、いちご狩りなども独自に企画し行っています。子どもから高齢者まで幅広い世代と交流を深めており、地域のなかで頼れる存在となっています。

### 今後に向けて

年代や地域を超えたつながりや、地域の古き良き伝統等を次世代へ伝えるために、お互いが助け合える新しい仲間づくりを進めています。その思いを広げられるよう関わっていきたい。

(神之木地域ケアプラザ)



餅つき大会の様子



芋ほり大会の様子

**基本目標** 若い世代が地域の活動に参加しやすい工夫や仕組みをつくりま  
**2-②** します。



区民の  
声

- いきなり難しいことはできないけれど、力仕事ならお手伝いすることができる。
- 子育て中の私でも、時間や場所などの工夫があれば、地域の活動に参加したい。
- 働いていると、地域の情報を入手する機会がない。
- 情報がないので、もっと頻繁に教えてほしい。
- 自治会の班長(交代制)が終わった途端に、まちの情報が入らなくなった。
- 小中学生にも、できる活動があるのではないか。
- 子ども同士がそれぞれ仲間をつくり、育ったその場所が『ふるさと』になる。
- まちのイベントなどを通じて、子どもたちに沢山の思い出をつくってあげたい。

**目指す姿**

- ★ 学生や子育て・働き盛り世代など若い世代が活躍できるよう、SNSを活用し、より参加しやすい環境が広がるまち
- ★ 地域活動を担っている人たちと若い世代の意見交換が活発に行われるまち

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の 皆さん	若い世代が 自分の住んでいるまちに 今よりも少しだけ 関心を持ちます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SNSなど、日頃から自分が使い慣れた手段を用いて、まちのことやイベントの情報を入手します。</li> <li>■ 得た情報をもとに、まちのイベントに参加します。</li> </ul>
	若い世代ならではの つながりで、 まちをPRします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベントの情報や、実際に参加した感想をSNSや口コミなどで広げていきます。</li> </ul>
活動団体・ 各種施設・ 関係機関 など	若い世代がまちに 関われるよう、 きっかけづくりをします！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働いている人や子育て世代もまちの活動に参加しやすいような企画を考えます。</li> <li>■ まちの行事の企画を若い世代や学生に担ってもらいます。</li> <li>■ 子どもや学生の地域活動体験の受入れ先として、積極的に協力します。</li> <li>■ 若い世代がまちとつながりやすいよう、SNSなどの新しいコミュニケーション方法の活用を検討します。</li> </ul>

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
地域 ケアプラザ	<p>子どもの頃から まちに関わる きっかけをつくります！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 福祉教育・ボランティアなど、小中学生の成長過程でまちの活動に関わる機会をつくります。</li> </ul>
	<p>まちを担っている 人たちと若い世代を つなぎます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若い世代にまちの様々な情報を提供し、多世代との交流を促すなど、まちの活動を知るきっかけをつくります。</li> <li>■ SNSの活用を検討しているまちに対して、研修を開催するなど支援を行います。</li> </ul>
区社会福祉 協議会	<p>情報発信や情報共有の 方法について、 新たな取組を 検討・実施します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存のホームページ以外の情報発信手段を検討します。</li> <li>■ 子育て世代にも見守り活動の担い手となってもらうため、説明会の開催や地域関係者とのマッチングを行います。</li> <li>■ 担い手不足に悩む施設や活動団体と協力し、学生が気になった時にすぐに参加できるボランティア講座や活動体験などの機会をつくります。</li> </ul>
区役所	<p>子どもの頃から まちに関わる きっかけをつくります！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防災などの担い手として期待の高い中学生をまちの活動につなげます。</li> </ul>
	<p>若い世代が日頃から 使っているツールを用いて、 まちの情報を届けます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページやツイッターのほか、新たなツールを使用した情報の発信を検討します。</li> <li>■ 区の転入者に対して、自治会町内会への加入を働きかけるほか、まちの情報を届ける工夫をします。</li> <li>■ まちの各種団体がSNSなどを活用して情報発信できるよう支援します。</li> </ul>

## 学生ボランティアの活躍の場づくり① ～ちよいボラサポーターズCLUB～

神奈川区、緑区、港北区の4つの地域ケアプラザが連携し、近隣の4つの中学校を対象にボランティア活動の場を提供しています。各学校の生徒は、ボランティアの基礎などを学び、地域ケアプラザの活動(高齢・障害・子育ての事業)にボランティアとして参加しています。中学生にとっては、世代間交流や相互に支え合うことの大切さを学ぶ機会となっています。

### 今後に向けて

活動を通して、中学生が地域を身近に感じ、達成感が持てるよう活動内容を考えています。地域の一員として自分達が期待されている喜び・役割を感じてもらい、地域の新たな担い手として活動が継続して行えるよう支援していきたい。

(菅田地域ケアプラザ)



オリエンテーション  
風景



活動風景

## 学生ボランティアの活躍の場づくり② ～地域の行事×学生～

幸ヶ谷地区では、近隣の中学校や高校、専門学校の学生が、「幸ヶ谷地域まつり」や「きっずふえすた」に当日の運営ボランティアとして活動に参加しています。中学校放送部の生徒が当日の進行や会場アナウンスを、高校や専門学校の学生は会場の交通整理などを行っています。地域の行事に携わることで、行事そのものをより深く知ることができるだけでなく、地域の皆さんと一緒に活動することで地域を知る機会にもなっています。

### 今後に向けて

学生などの若い世代の人々が地域活動を知る第一歩となるよう、気楽に地域活動に参加できる工夫を地域の皆さんと一緒に考えていきたい。

(反町地域ケアプラザ)



高校生ボランティアの皆さん



## 学生ボランティアの活躍の場づくり③ ～ちびっこサンタがやってくる！クリスマスパレード～

クリスマスパレードは、多数の専門学校を運営する学校法人三幸学園と地域ケアプラザが共催し、サンタなどの衣装に身を包んだ子どもたちが、地域を練り歩きながら、地元のお店や保育園と交流するイベントです。専門学校の学生がパレードを先導したり、ダンスを披露するなどイベントを大いに盛り上げています。若い世代が活躍できる機会をまちの中で創ることで、様々な交流やつながりが生まれています。

### 今後に向けて

既存の地域のつながりや活動を大切にしながら、若い世代の日頃の活動を誰もが住みやすいまちづくりにつなげていきたい。

(六角橋地域ケアプラザ)



当日の様子

## 世代交流の機会づくり ～フラワープロジェクト～

「花の種まきから、みらいのたねまき」をキャッチフレーズに、年に2回程、新子安地区の社会福祉協議会や民生委員・児童委員、公園愛護会の方々が中心となり、近隣の保育園児や学童クラブ等の子どもたちと一緒に花を植えるフラワープロジェクト。保育園の毎日のお散歩のときに花壇に水やりをしたり、学童クラブの子どもたちが『花を大切に』という手作り看板を設置する等、活動が広がっています。

### 今後に向けて

花壇をみんなで大切にすることを通して、世代間交流やお互いの理解促進のきっかけになっています。今後は子育て世代にも活動の周知を進め、フラワープロジェクト以外の交流の機会づくりも進めていきたい。

(新子安地域ケアプラザ)



一緒に花植えをする様子



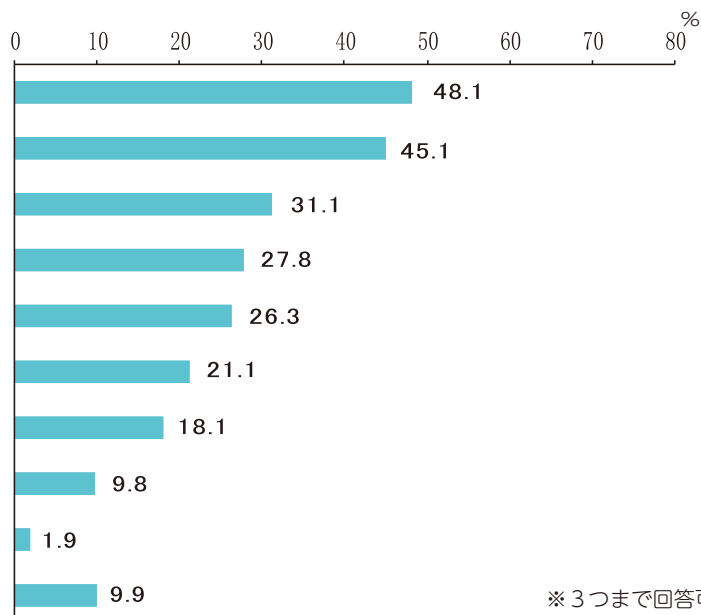
水をやる子ども達

## データからみる区民の声① ー神奈川区 区民意識調査ー

## 暮らし続けるために必要な支援やサービス

N=1,433

在宅で医療を受けられる仕組み  
 買い物サービスや配食サービス等、  
 ちょっとした困りごとに対する生活支援  
 介護保険制度や介護予防等の情報提供  
 隣近所で助け合える見守りや声掛け  
 身近な場所での健康づくりや介護予防活動  
 (ウォーキング、体操教室等)  
 保健師等による家庭訪問・相談  
 サロンや茶話会などご近所の人と  
 交流ができる場  
 子どもや若い世代と交流する場や機会  
 その他

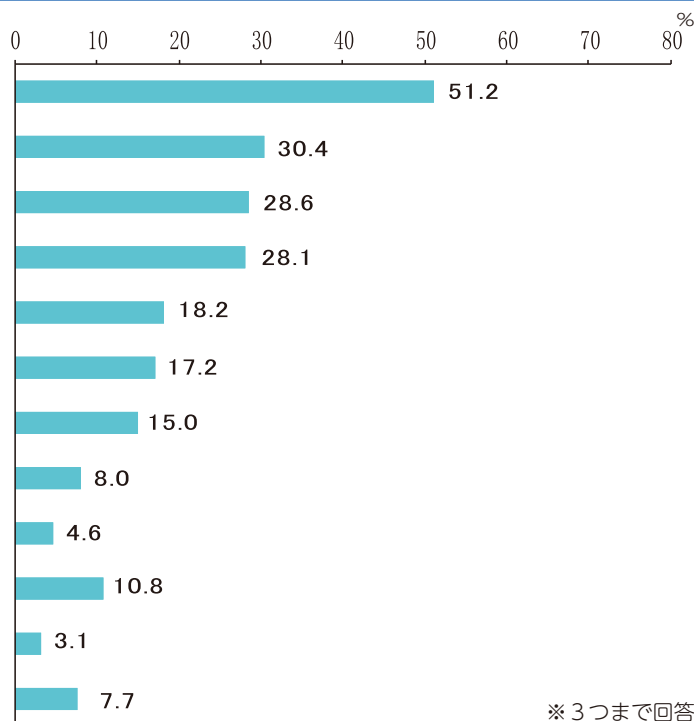


※3つまで回答可

## 子どもを育てる世帯を支えるために重要なこと

N=1,433

地域の中に子どもが安心して  
 遊べる場所があること  
 子育て中の親同士で交流できる機会があること  
 子育て中の人が子育てに関する不安や  
 悩みを地域の人に相談できること  
 子育てに関する情報が充実していること  
 地域の人子どもを育てる世帯に  
 気軽に声をかけること  
 子育て中の人が地域の人に気軽に子どもを  
 預けることができること  
 地域の中に様々な世代が交流できる  
 機会があること  
 地域の人子どもに勉強やスポーツを教えること  
 子育て中の人が忙しいときに地域の人に  
 家事を手伝ってもらうこと  
 わからない、特にな  
 その他



※3つまで回答可

**区民意識調査の2つの結果からも、見守りや交流の場が必要ということが分かります。自分にできるちょっとした手助けやサポートが求められています。**

※区民意識調査は、区民の皆様が日頃感じている地域の課題などについて区民の皆様の意識を把握し、区政運営や政策立案の基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施しています。平成30年度が最新データです。

## 柱3

# 「地域のチカラがつながり合う」 まちづくりを進めます！

### 基本目標3-①

より暮らしやすいまちをつくるために、地域の様々な人が継続して話し合う場や、取組を進めるための体制をつくれます。

### 基本目標3-②

地域や個人の困りごとの解決のために、区役所・関係機関や、区内の企業など、様々なチカラがつながり合う仕組みをつくれます。



## 基本目標

### 3-①

より暮らしやすいまちをつくるために、地域の様々な人が継続して話し合う場や、取組を進めるための体制をつくりま



- 地区別計画の推進会議などを通じて、「お互いさま(共助)」の力を高めていけるといい。
- 『個人の困りごと』を『地域の困りごと』として捉える視点を広められるといい。
- コロナの影響があっても工夫して話し合いの場を持つことで、新たな取組のアイデアや工夫が浮かび、継続して話すことの大切さを感じている。

## 目指す姿

- ★ 地域や個人の困りごとを解決するために、様々な人が継続的に意見交換する場があるまち
- ★ 困りごとの解決のために挙げられたアイデアを具体的に実現していくことができるまち

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	住んでいるまちについて話し合う場に参加してみます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民向けのアンケートや、まちの中で行われている話し合いの場に参加し、実際に暮らしている人の視点で、より良いまちになるための意見交換をしてみます。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	まちの困りごとについて、地域で活動する仲間同士で意見交換してみます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちの中の困りごとや課題について、仲間同士で話し合い、出た意見を地域ケアプラザなどまち全体へ発信していきます。</li> <li>■ 関係する団体や機関と定期的に活動の取組を話し合ったり、情報共有を行うことで新たなアイデアや取組を実現させていきます。</li> </ul>

### 各項目の説明

- ★ 基本目標：5年間で達成を目指す目標のことです。
- ★ 区民の声：区民意識調査、子ども支援調査等のアンケート及び直接寄せられた意見等です。
- ★ 目指す姿：5年よりも更に先の将来的に目指す状況のことです。
- ★ 主体：計画を進めていく人・団体のこと。

**「地域のチカラがつながり合う」まちづくりを進めます！**

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
<p>地域 ケアプラザ</p>	<p>まちの困りごとを より身近な場で 話し合います！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日頃からまちの困りごとを共有することによって、より多くの人々が継続的に意見交換することのできる機会を設けます。</li> <li>■ 地域ケア会議を活用し、地域ケアプラザ職員の専門性を活かし、まちと関係機関で困りごとの解決に向けて意見交換を行います。</li> <li>■ 一人ひとりの困りごとをまちの課題として受け止め、具体的な対応策について、様々なメンバーが参加した会議(協議体など)で検討していきます。</li> </ul>
<p>区社会福祉 協議会</p>	<p>日頃のつながりを通して 継続的な話し合いの場を 広めていきます！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地区社協のネットワークを活かし、まちの課題について話し合う場づくりを支援していきます。</li> <li>■ 支え合いマップの作成だけではなく、継続的な情報交換が行えるよう支援していきます。</li> <li>■ 地域ケアプラザと連携し、地域ケア会議から協議体への発展を区役所とともに進めます。</li> <li>■ 福祉保健活動拠点の利用団体とのつながりを活かして、一人ひとりの困りごとを地域で受けとめる大切さを広めていくため、利用団体調整会議の場を活用し話し合う機会をつくります。</li> <li>■ 区社協「助成金」を活かし、話し合いの場づくりが広がるように支援します。</li> </ul>
<p>区役所</p>	<p>まちの困りごとについて 継続的に話し合う場が 開催されるよう 応援します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちの困りごとや課題解決のためのアイデアを意見交換するための『計画推進会議』などが地区ごとに開かれるよう、区社協や地域ケアプラザとともに支援します。</li> <li>■ 地域ケア会議などを活用し、個別の課題を区域全体で集約し、解決に向けた具体的な仕組みや取組を検討します。</li> <li>■ まちの課題を話し合う各種会議が連動できるようにします。</li> </ul>

**各項目の  
説明**

- ★活動団体：地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」という。)、連合町内会、自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、シニアクラブ、ふれあい活動員など
- ★各種施設：福祉施設、区民利用施設(図書館、地区センター、スポーツセンター)など
- ★関係機関：地域子育て支援拠点、生活支援センター、基幹相談支援センター、学校、保育園、企業、医療機関、福祉サービス事業者など
- ★地域ケアプラザは、地域包括支援センター 若竹苑も含めて記載しています。
- ★地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の説明は、P136を参照してください。

## 若い世代も参加しやすい話し合い場の工夫 ～羽沢子育て支援ネットワーク～

羽沢子育て支援ネットワークは、毎月定例会を開催しており、地区社協、地区民協、地域で活動している方など様々な方がメンバーになっています。メンバーの中には、子育て中の方も多くいるので、今の困りごとを共有しながら、活発に意見交換をしています。現在は、SNSを活用した子育て情報や地域のイベント情報を配信したり、子育て講座を開催したりするなど、話し合いをしてきたことが地域の活動につながっています。

### 今後に向けて

活動開始から1年半、徐々にネットワークが広がっています。地域行事に出て来られる方だけではなく、身近なつながりや助け合いの中で、全ての親子に必要な支援が届く関係づくりを目指しています。今後は、学校などとも連携し、情報共有も進めていきたい。

(若竹苑)



SNSを活用した若い世代への  
情報発信

## 地域の子どものための継続的な話し合いの場 ～<sup>かん</sup>神ちゃん家<sup>ち</sup>～

神大寺小学校に通う子どもたちのホッとできる居場所(神ちゃん家)をつくるために、神大寺地区センターに地区社協と主任児童委員などが集まり、地域の大人と子どもたちとの関わりについて定期的に話し合う場が設けられています。また、『子どもの居場所づくり講座』を開催し、子どもの見守りや支援の大切さを意見交換し、子どもたちやその親を取巻く状況について理解を深めています。自宅や学校以外にも子どもの居場所をつくるために、子どもたちの理解者を増やしていく取組を続けています。

### 今後に向けて

今後も、学校などとの連携をさらに深めていき、子どもの居場所を検討していきながら、子どもに優しいまちづくりを進めていきたい。

(片倉三枚地域ケアプラザ)



グループワークの様子

## 地区別計画の実行に向けた継続的な話し合いの場 ～白幡の輪～

白幡地区では、地区社協が旗振り役を担い、地区別計画にある「イベント」「防災」「見守り」「子ども」の4つのテーマを活動の代表者と関係者が具体的な企画や取組について継続的に話し合う『白幡の輪』を開催しています。これまで、見守りをテーマに、関係者同士が情報共有したことで、合同研修の開催に至り、横のつながりができるなど地域の取組がより推進されています。

### 今後に向けて

白幡の輪において、見守り以外のテーマについても具体的に取組んでいくことを検討できるよう、区役所、区社協と連携しながらサポートしていきたい。

(六角橋地域ケアプラザ)



見守り活動合同研修会の様子

## 困りごとの解決に向けた話し合い ～買い物支援～

子安台地区は、高齢化率が高く、坂や階段が多いため、買い物に行くのが難しいという課題がありました。そのため、自治会町内会と地域ケアプラザが協力して、買い物に関するアンケート調査を実施したり、地域の関係者と協議を重ねたことで、「子安台買い物支援プロジェクト」が立ち上がりました。現在は、毎週水曜日に近隣のスーパーまで送迎する買い物支援が始まっています。

### 今後に向けて

地域のみなさんが、一人ひとりの困りごとを共有することで、住民のつながりが強まります。買い物支援だけではなく、困りごと解決に向けて相互に話し合える環境づくりをサポートしていきたい。(新子安地域ケアプラザ)



話し合いの様子



買い物支援の様子

## 基本目標 3-②

地域や個人の困りごとの解決のために、区役所・関係機関や、区内の企業など、様々なチカラがつながり合う仕組みをつくりまます。



- 活動している様々な人たちがつながる仕組みや体制をつくるのが大切。
- “施設や企業”が“地域”と協力することで、地域だけではできない取組ができる。
- 施設や企業として地域に貢献したいが、地域の求めているニーズが分からない。
- 区役所や関係機関から、住民の目線では気づかないような地域の課題を教えてください。
- 何かをやりたいと思っている人が、どんどんつながっていくことで、活動の輪が広がるといい。

## 目指す姿

- ★区内の企業や施設などが地域と伴走することで、地域全体の活動がより一層推進されるまち
- ★地域や個人の困りごとを解決するために、区役所や関係機関がそれぞれの強みを活かして地域に関わるまち

主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
区民の皆さん	身近で活動する団体、まちにある施設や企業が日頃どんな活動をしているのか 関心を持ちます！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■まちにある団体、施設、企業が自分たちにどのように関わるのかを考え、活動内容についても関心を持ちます。</li> <li>■まちの各団体、施設、企業などのイベントや活動に参加してみます。</li> </ul>
活動団体・各種施設・関係機関など	自分たちの団体の特性を活かし、まちづくりに主体的に関わります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分たちの活動をまちに対して積極的に発信していきます。</li> <li>■団体の強みを活かした活動を行い、他の団体と協力しながらまちづくりに取り組みます。</li> </ul>
	施設・企業として、まちのニーズを知ります！	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設利用者やその家族が、まちの住民と交流する場を設けることで、まちが求めていることを理解します。</li> <li>■職員・社員研修でまちの活動に積極的に参加することで、まちとの関係づくりを行います。</li> <li>■施設や企業とまちが連携することでどのようなことができるのか、まちの住民がどのようなことを求めているのかを一緒に話し合う場を設けます。</li> </ul>



主体	取組の方向性	具体的に行うこと(例)
<p>地域 ケアプラザ</p>	<p>地域のチカラを大きな ネットワークにします！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちで活動するチカラをつなぎ、それぞれが強みを活かして連携した取組ができるようにします。</li> <li>■ 保育園やグループホームなど、まちにある各種施設や企業をまちの活動につなげます。</li> <li>■ まちで活動する様々な取組を関係機関へ情報提供することで、適切なサービスが行き届くようにします。</li> </ul>
<p>区社会福祉 協議会</p>	<p>福祉施設・企業と 地域活動とを引き合わせる コーディネートを 推進します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ あんしんセンター業務について福祉関係者に正しく理解を進めるため、研修の機会をつくります。</li> <li>■ 障害者やその家族と地域をつないでいくために、後見的支援制度のあんしんマネジャーなどの障害福祉関係者との連携を強化します。</li> <li>■ 福祉施設や企業、事業所のメリットとなることを増やし、地域貢献活動を進めます。</li> <li>■ 食支援を通じて区役所と連携するなど、個人やまちのそれぞれの困りごとに応じて、区役所各課と協働していきます。</li> </ul>
<p>区役所</p>	<p>関係機関や企業などと まちのネットワークを 強化します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 見守り協力店・商店街など、区内の企業や各種施設と連携することで、住民個人や団体単独ではできない取組を展開できるような環境をつくります。</li> <li>■ まちと企業・施設との協力や連携が広がるよう、好事例を広くPRします。</li> </ul>
	<p>区社協や地域ケアプラザと 連携して、より良い まちづくりを支援します！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区社協や地域ケアプラザとの定期的な打合せの場(地域別グループ)を持つことで、まちの状況や困りごとなどを随時共有します。</li> <li>■ 日頃のまちの皆さんとの関わりや各種統計データなどから見えてきた情報をまちの皆さんと共有し、より良いまちづくりに向けて、一緒に考えます。</li> <li>■ まちの困りごとをふまえ、支援の方向性を検討し、区域で取り組むべき内容については、各団体や機関につないでいきます。</li> </ul>

## 地域のお店との連携 ～認知症見守り協力店の推進～

神奈川区では、「認知症サポーター養成講座(厚生労働省認定)」を受講した人が1名以上いるお店・事業所に対して、「神奈川区みまもり協力店」の専用ステッカーを配布しています。地域住民がお店・事業所に働きかけたことで、みまもり協力店が増えて、見守りの輪が広がっています。お店・事業所が、見守りの一員となり、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりの一役を担っています。

### 今後に向けて

地域住民と共に、地域で働く人や若い世代へ認知症の正しい知識と最新の情報を提供し、地域全体にネットワークを広げ、一緒に取組ができるよう進めていきたい。

(片倉三枚地域ケアプラザ)



ステッカーとみまもり協力店

## 地域資源のつながり ～まち×学生プロジェクト～

平成27年10月に発足した、まち・商店街と神奈川大学の学生が協働して「まちづくり」を考え創るプロジェクト「まち×(かける)学生プロジェクト(まちかけ)」が発足しました。このプロジェクトでは、地元農家さん等と共に神奈川区の魅力を学生に知ってもらうための「神大マルシェ」など、まちのあらゆる人がつながり、大きな協力の輪が生まれています。

### 今後に向けて

1つの団体では「難しい」ことも他の団体の協力で「実現できる」ことも多くあります。今後も、人と人とのつながりを大切にしながら相互の関係が末永く継続するよう支援していきたい。

(六角橋地域ケアプラザ)



まち×学生プロジェクトの活動報告書(表紙)とネットワーク

## 地域にある施設との連携 ～青空防犯パトロール～

神奈川区内の福祉施設の多くが菅田町・羽沢町に集中しています。施設の車両は、普段から送迎や訪問等で地域を回ることが多く、神奈川区全域を対象に「青空防犯パトロール」という巡回を実施しています。防犯はそれぞれの地域で取り組んでいるところですが、福祉施設も地域の一員として、防犯活動を行っていくことで、より地域との一体化が図られています。

### 今後に向けて

福祉施設を地域の中で身近に感じてもらえるよう、施設と地域との橋渡しをするのも地域ケアプラザの役割であり、今後も新しい活動を模索していきたい。

(菅田地域ケアプラザ)



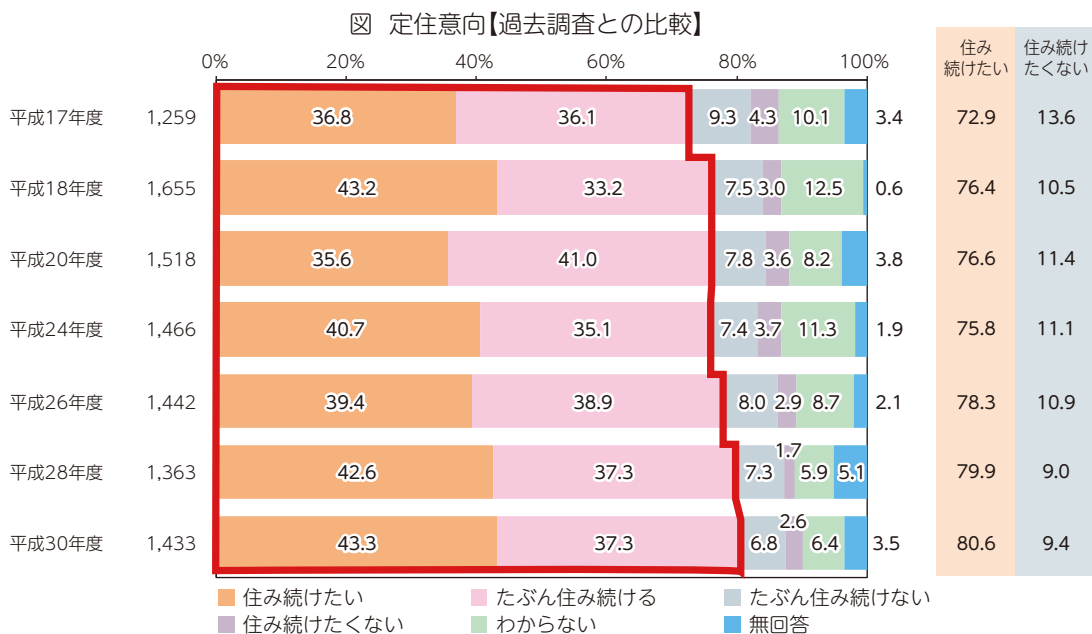
青パト発足式



青パト出発風景

## データからみる区民の声② – 神奈川区 区民意識調査 –

質問:あなたは、現在お住まいの地域(あるいは周辺の地域)に住み続けたいですか。《神奈川区》



過去の調査結果と比較しても、「住み続けたい」が増加傾向にあります。より多くの方にこれからも「住み続けたい」と思ってもらえるよう、区全体でより暮らしやすいまちづくりを目指していきます。

### ③5年かけて各地域で目指すこと(地区別計画)

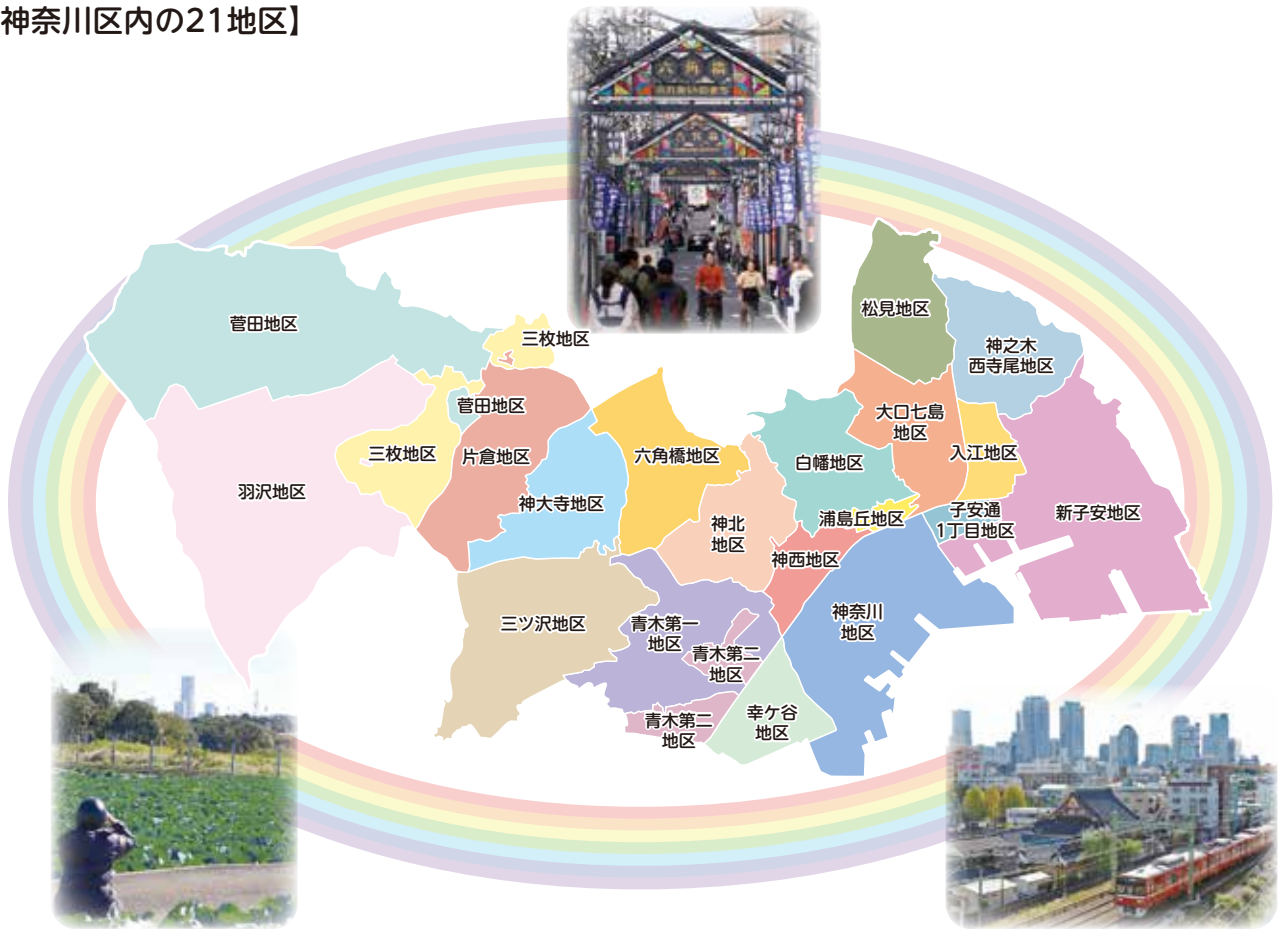
神奈川区には、21の地区連合町内会エリアがあり、各地区ごとに計画を策定しています。地区ごとの計画を策定するにあたって、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、なかなか集まって検討することが難しい状況でしたが、アンケートなどにより、できるだけ多くの方に意見を聞くなどして、自分たちのまちを「こんなまちにしたい」という思いを込めています。皆さまがお住いの地区の計画を是非ご確認ください。



- ① 新子安地区……………P44  
つながり、支え合う、  
笑顔のまち 新子安
- ② 子安通1丁目地区……………P48  
歴史が世代をつなぐまち  
子安通1丁目
- ③ 入江地区……………P52  
隣人との絆と連携から  
笑顔があふれるまち 入江
- ④ 神之木西寺尾地区……………P56  
支え合う「向う三軒両隣」のまち  
神之木西寺尾
- ⑤ 松見地区……………P60  
笑顔であいさつ松見町  
住んでよかった松見町
- ⑥ 大口七島地区……………P64  
みんなで助け合う町 大口七島
- ⑦ 白幡地区……………P68  
つながり 安心 支えあい 白幡
- ⑧ 神奈川地区……………P72  
もっとつながる 広がる 神奈川の『わ』
- ⑨ 幸ヶ谷地区……………P76  
柔らかに、ゆるやかに  
つながるまち 幸ヶ谷
- ⑩ 神西地区……………P80  
向う三軒両隣 笑顔のあふれるまち  
神西～信頼・つながる・お互い様～
- ⑪ 浦島丘地区……………P84  
“みんなが”つながりあって、  
安心なまち 浦島丘



【神奈川区内の21地区】



- ⑫ **青木第一地区**……………P88  
緩やかなつながりで様々な人が  
地域で支え合うまち 青木第一
- ⑬ **青木第二地区**……………P92  
防災を通じた世代間交流のまち  
青木第二
- ⑭ **三ツ沢地区**……………P96  
多世代の多様な人たちが  
ゆるやかにつながって一人ひとりが  
自分らしく暮らせるまち 三ツ沢
- ⑮ **神北地区**……………P100  
みんなが「共に生きる」まち 神北
- ⑯ **六角橋地区**……………P104  
おたがいさまでつなげる 六角橋

- ⑰ **神大寺地区**……………P108  
つながり支え合うまち 神大寺
- ⑱ **片倉地区**……………P112  
見守りから広げよう 安心と  
やさしさのある地区を目指す 片倉
- ⑲ **菅田地区**……………P116  
助け合えるまち  
交流のあるまち 菅田
- ⑳ **羽沢地区**……………P120  
助けられ上手、助け上手な街 羽沢
- ㉑ **三枚地区**……………P124  
みんなできとくむ  
「住みやすい町」三枚



■各地区別計画の主なキーワード

愛着

- 子どもや若い世代が地域のイベント等を通じて地域に愛着が持てるといいな。
- 子どもの頃から地域への愛着を育むことで、若い力を地域で発揮できる機会づくりができたらいいな。

若い世代

- まちの会議等に若い世代も参加しやすくなるといいな。
- 若い世代も生きがい・やりがいを持ち地域活動に参加できるといいな。

いきいきと・健やかに

- 誰もが自分にできる事を楽しんで取り組めたらいいな。
- 地域の行事に参加することで、心と身体の健康づくりができるといいな。

つながり・交流

- 身近な場所で集える機会をつくり、顔見知りの関係を広げていけるといいな。
- 世代や障害の有無に関係なく、様々な人たちが交流できる機会が増えるといいな。
- 子どもや子育て世代が地域の中で孤立しないようなつながりができたらいいな。

声かけ・見守り

- 日頃からご近所同士で声かけをすることで困った時に助け合えるといいな。
- サロンや食事会等を通じて、日頃からまちで見守れる体制ができるといいな。
- 要援護者支援マップの作成・更新などにより、いざという時に助け合えるといいな。

防災

- 幅広い世代が参加する防災訓練などを通して、いざという時に助け合えるといいな。

■地区別計画の構成

1 ページ

地区内にある施設等の情報が 地図内に掲載されているほか、人口や世帯数の概況が記載されています。



2 ページ

地区内で行われてきたこれまでの活動が紹介されているほか、転出入による年齢別移動人口のデータや人口と平均世帯人員の推計データを掲載しています。



3 ページ

5年間で各地区が目指すこと(目標)や具体的に取り組むことを掲載しています。



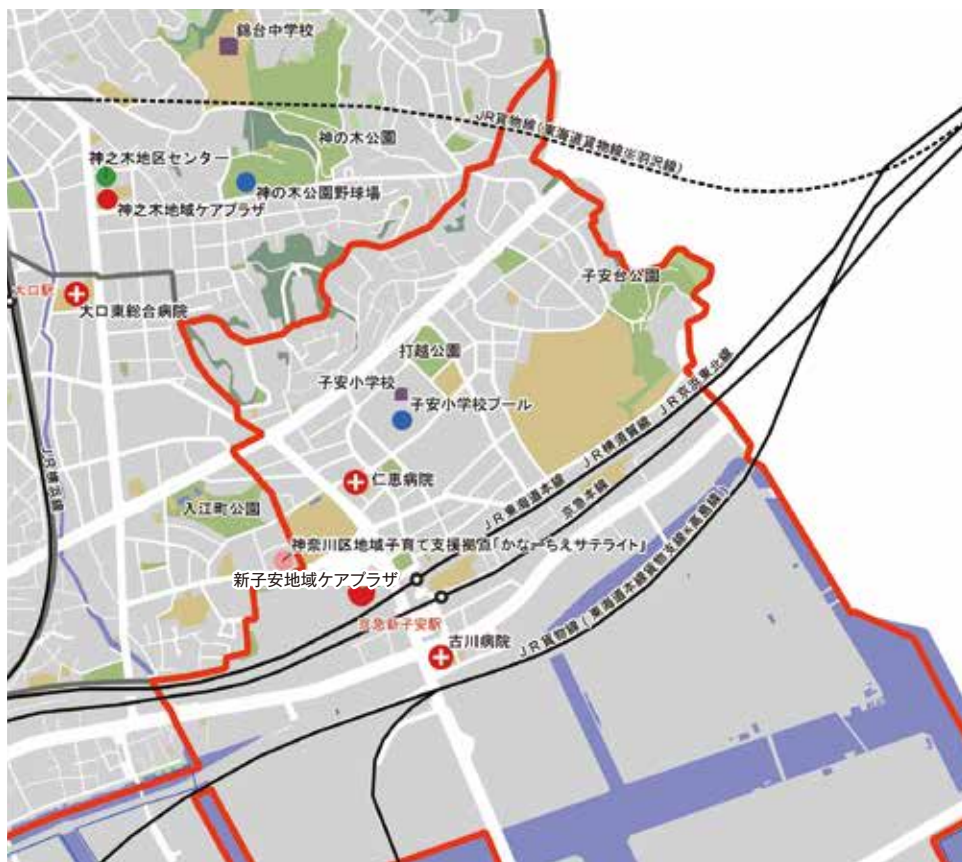
4 ページ

高齢者や未就学児童の分布を表したデータや町丁別の人口増加率のデータを掲載しています。



# つながり、支え合う、 笑顔のまち 新子安

- 地区センター・公会堂・集会所等
  - スポーツ施設
  - 地域子育て支援拠点
  - 病院
  - 地域ケアプラザ
  - 小学校
  - 中学校
- 
- 樹林地
  - 農地・農業施設用地
  - 都市公園
  - 文教厚生用地



## 地区概要

JRと京浜急行の駅を中心に海側と山側に広がる地域です。海側には工場が多くみられます。さらに第一京浜国道と第二京浜国道が東西に渡り、交通の便がよく、古くから発展したまちです。近年、マンションの建設が増え、長年居住している住民に加え、転入者の数も増えています。また、地区内には、住民から親しみを持たれている、歴史ある子安小学校があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	新子安地区	神奈川区
総人口	15,392人	241,561人
0～14歳	2,185人(14.2%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	11,011人(71.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,196人(14.3%)	53,136人(22.0%)

	新子安地区	神奈川区
総世帯数	8,109世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.90人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	790世帯 (9.7%)	18,089世帯 (14.0%)

※新子安地区の総人口には、公表されていない一部の町の人口は含まれていません。

## これまでの取組

新子安地区では、まちで暮らす住民同士の“交流”や“集い”をととても大切に様々な取組を行っています。

毎年多くの住民が楽しみにしている「夏まつり 盆踊り大会」や「社会福祉大会」は、まちの誰もが交流することのできる一大イベントです。また、それぞれの町内会で実施している「防災イベント」を通じて、子どもから高齢者まで、幅広い世代間の交流を図っています。

「なべの会」は、まちの中での居場所づくりや見守りを目的に、民生委員・児童委員とボランティアが協力して行っているひとり暮らし高齢者を対象とした食事会です。30年以上長く続いていることで、参加者にとってなくてはならない“集いの場”となっています。

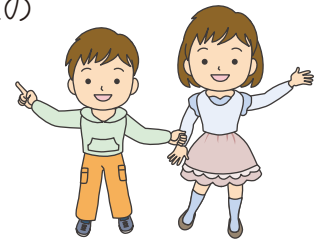


▲なべの会



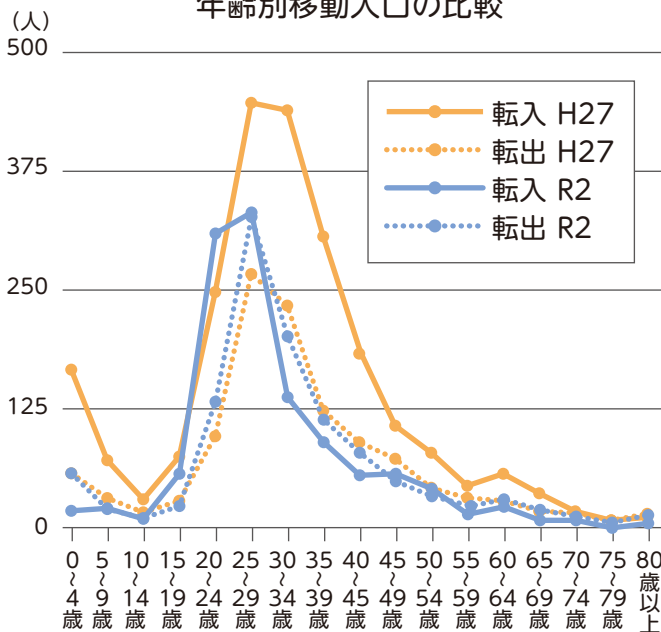
▲フラワープロジェクト

さらに、平成30年には子どもたちが安心して過ごせるまちづくりを目指し「こどもみらい会議」がスタートしました。この会議をきっかけに発足した「フラワープロジェクト」では、『花の種まきから、みらいのたねまき』を合言葉に、まちの公園や沿道などに花を植え、環境美化だけでなく、子どもたちとの顔の見える関係づくりを行っています。



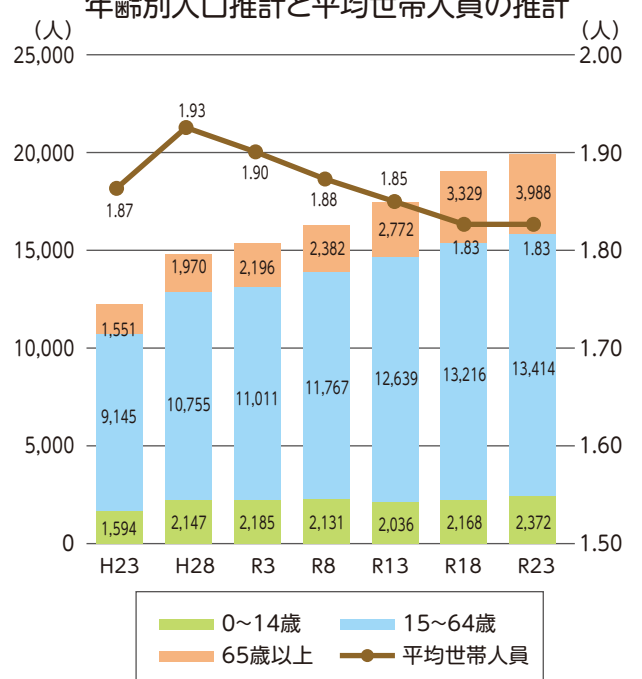
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



## 目標1

ご近所同士の見守り・支え合いにより、  
つながりづくりを進めます!

### 【まちの声・想い】

- お互いの挨拶や声掛けが大切。
- 食事会などの取組を通じて、日頃からまちで見守れる体制ができる  
と良い。
- ちよいボラを通じて、  
ほんの少しの支え合い  
を進めていきたい。など

困りごとをほんの少し  
支え合う「子安隊」▶



## 目標2

こどもみらい会議などを活用して、  
子どもたちが笑顔になれるまちをつくります!

### 【まちの声・想い】

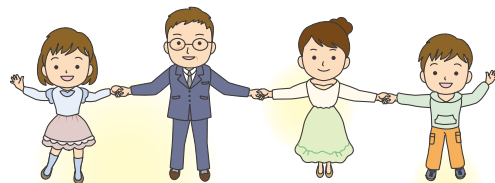
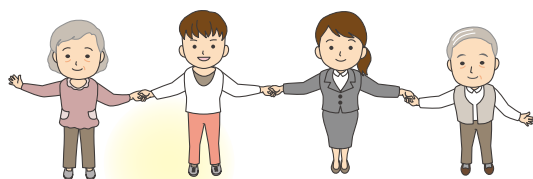
- 子どもをまち全体で育て、見守れると良い。
- 子ども会などと連携し、野外企画や子ども目線のイベントを企画しよう。
- 子どもたちが、成長のなか  
でたくさんの思い出がで  
きるまちになると良い。  
など

新子安で育つ  
子どもたちのための会議  
「こどもみらい会議」▶



# つながり、支え合う、笑顔のまち

## 新子安



## 目標3

誰もが集い・交流することができるよう、  
工夫します!

### 【まちの声・想い】

- なじみの人間関係を大切に集いの場が大切。
- スポーツなどを通じて、世代・文化を越えた交流  
ができるとう良い。
- まちの小中学生を交えた  
音楽フェスや働き世代でも  
参加しやすいイベントが  
あると良い。 など

まちのみんなが楽しみにしている  
「夏まつり 盆踊り大会」▶



## 目標4

つながりづくり・情報発信の新たな方法を  
検討します!

### 【まちの声・想い】

- スマホ・インターネットなどを活用して、防災や  
まちのイベント情報などを共有することが大切。
- さまざまなイベント情報を発信することで、より  
たくさんの人の参加に  
つながる。
- 人が動かななくても、情報  
が動いてまちの活動を  
支えられると良い。 など

「スマホ講座」で、情報を伝える  
新しい方法を体験▶



## 取組の進め方

- それぞれの目標における具体的な取組について、各単位町内会を中心に進めていきます。
- 目標を実現するために、みんなで話し合える場づくりを進めます。

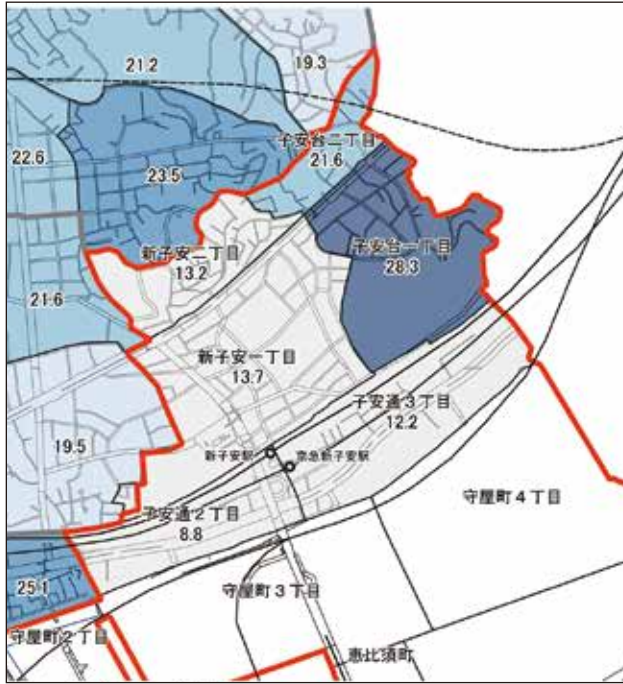
地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

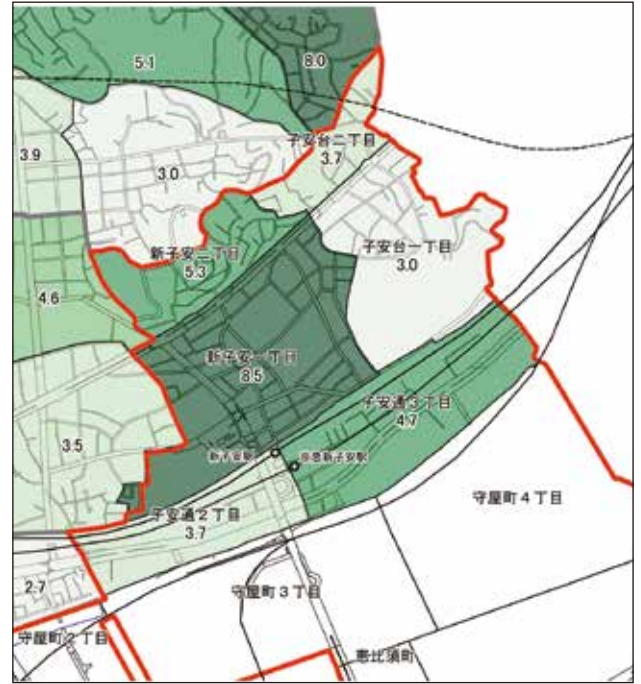


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



人口増加率

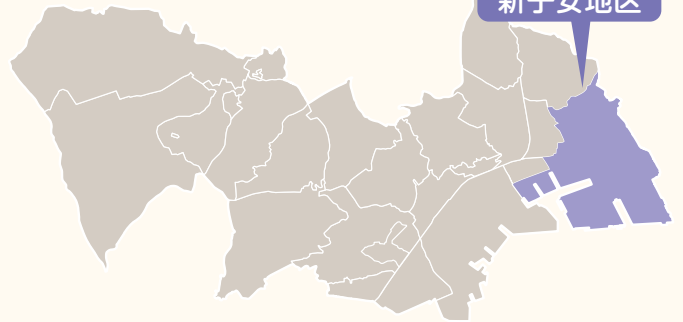
住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上



新子安地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁目別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 歴史が世代をつなぐまち 子安通1丁目

- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
  
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

京急線の海側の地区で、地区内に京急線の子安駅があります。  
地区の中央を東西に国道15号線が通っており、沿道に共同住宅もみられます。国道の海側は戸建て住宅が密集しています。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	子安通1丁目地区	神奈川区
総人口	2,162人	241,561人
0～14歳	138人(6.4%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	1,481人(68.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	543人(25.1%)	53,136人(22.0%)

	子安通1丁目地区	神奈川区
総世帯数	1,431世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.51人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	231世帯 (16.1%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

5町内会すべてが参加する毎年恒例の「グランドゴルフ大会」は、大きな盛り上がりを見せています。

その他、地区連合全体の防災訓練や、新年餅つき大会など、様々なイベントを通じて、住民同士の交流を図っています。

また、平成30年度～令和元年度には、「防災マップ」を作成するためにまち歩きを実施し、完成したマップをもとに、こども会とも意見交換・情報共有を行いました。



▲令和元年度マップをもとに、まちについて意見交換(子ども会も参加)



▲子安浜の風景

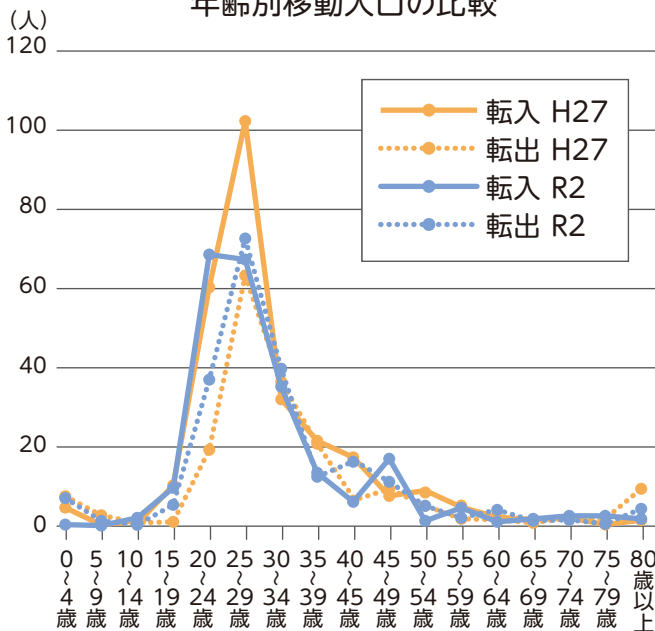
## 知ってますか、子安浜…

「子安浜」と呼ばれる入江川(第2派川)に面している浜通りの周辺は古くから漁業が行われ、江戸時代には幕府お抱えの漁場として栄えていました。

名産品であった「子安浜のシャコ」や貝などの加工に用いるために設けられた井戸が、いまでもまちの中に点在し、昔ながらの漁師町の風景を色濃く残しています。

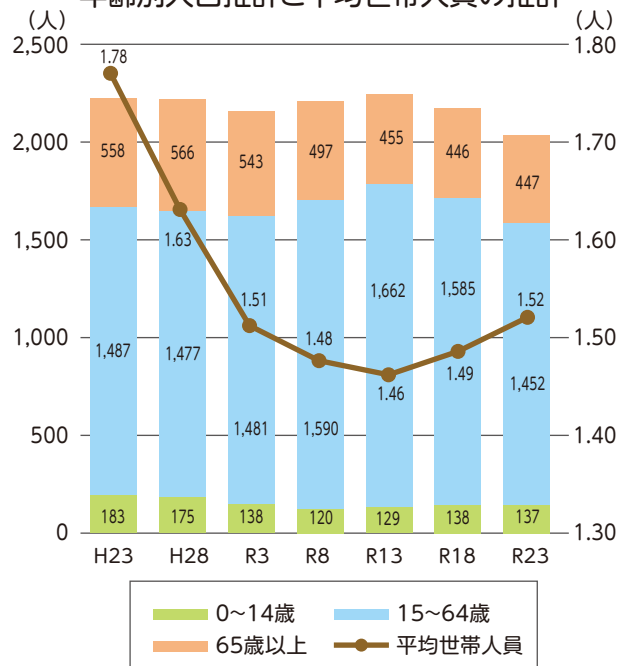
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 歴史が世代をつなぐまち 子安通1丁目

～まちの歴史や想いを大切に継承していきます～

夏祭り



誰もがつながる、  
きっかけづくり

グランドゴルフ大会



防災訓練



## 目標1 住民同士が交流する場を通じて、まちのつながりを広げます!

### 【具体的に行うこと】

- まちで暮らす次世代に地域のことを知ってもらうきっかけをつくり、つながりを広げていきます。
- 行事・イベントなどの参加者の輪を広げ、様々な世代の人たちが交流できる場にします。
- 保育園など、周辺の各種施設と協力・連携することで、多世代・多文化交流のきっかけとします。



## 目標2 日頃からのお付き合いを通じた「みまもり」により、災害時にお手伝いが必要な方の把握をすすめます!また、災害への備えを強化します!

### 【具体的に行うこと】

- 民生委員・児童委員、ふれあい活動員、友愛活動員など、まちの「みまもり」に関わる人たちが、それぞれ持っている情報を共有します。
- まちの様々な人の声を集め、「支えあいマップ」や「防災マップ」の活用などに取り組みます。
- まちにある企業や関係団体とが連携し、引き続き実践的な防災訓練を行います。



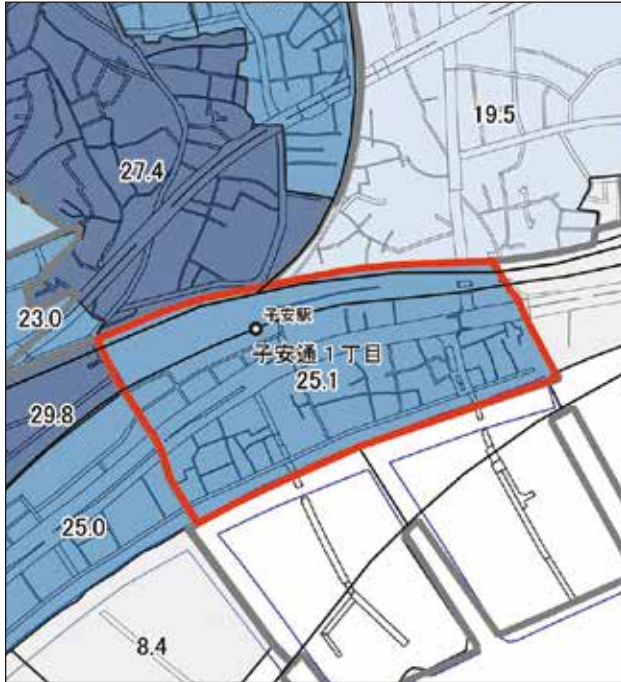
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

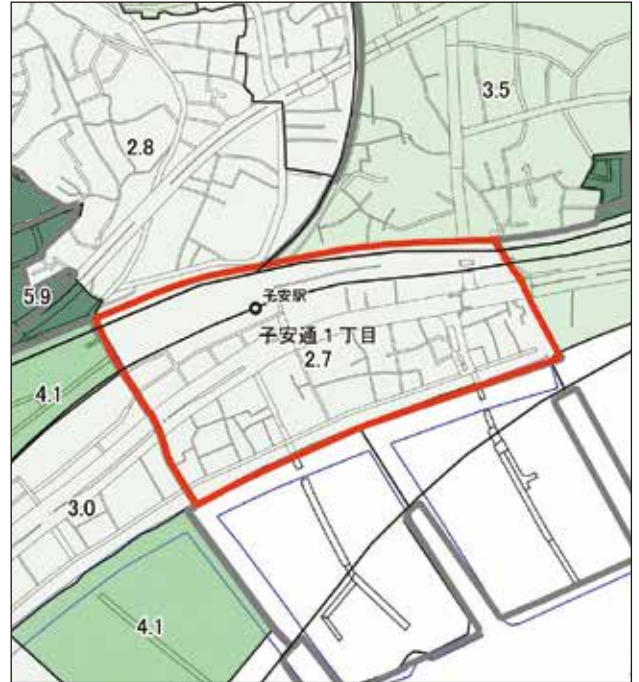


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



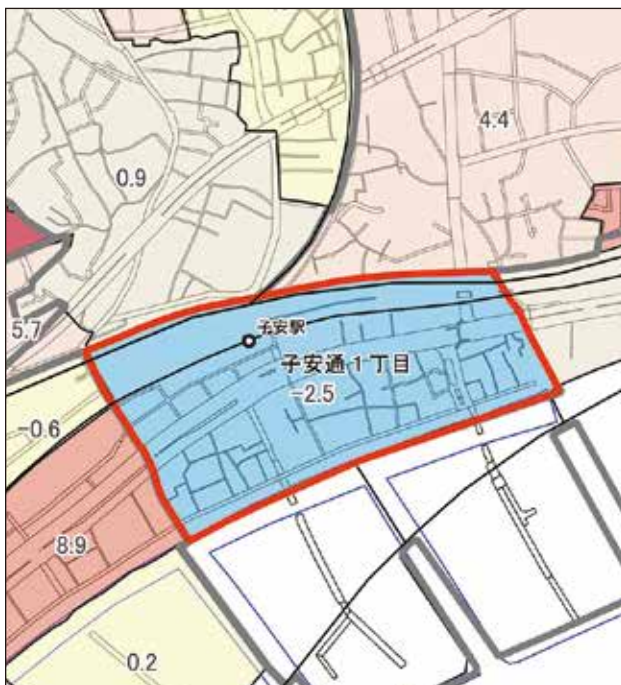
### 人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減  
↑  
↓  
人口増



### 子安通1丁目地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 隣人との絆と連携から 笑顔があふれるまち 入江

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 小学校
- 中学校
  
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

入江川に沿った、平坦な住宅地で、隣接地区には商業施設が多くあります。地区の西側は入江川、JR横浜線、南側はJR東海道線・横須賀線、京急線に接しており、地区に近接してJRの大口駅、新子安駅、京急線の子安駅、京急新子安駅があります。

地区中央を東西方向に国道1号線が通っています。戸建て住宅が中心で共同住宅も混在しています。地区の中央に入江町公園があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	入江地区	神奈川区
総人口	5,344人	241,561人
0～14歳	551人(10.3%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	3,701人(69.3%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	1,092人(20.4%)	53,136人(22.0%)

	入江地区	神奈川区
総世帯数	2,848世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.88人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	362世帯 (12.7%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

入江では、餅つき大会、ウォーキング、グランドゴルフ、サロン、食事会などふれあいの場所が多くあり、パトロール、清掃などの活動が盛んです。

また、災害時要援護者支援の仕組みづくりを考えたり、防災訓練、防災講演会などにより、災害に備えた自助、共助の意識を高めています。



▲夏休みラジオ体操



▲かめっこクリスマス会



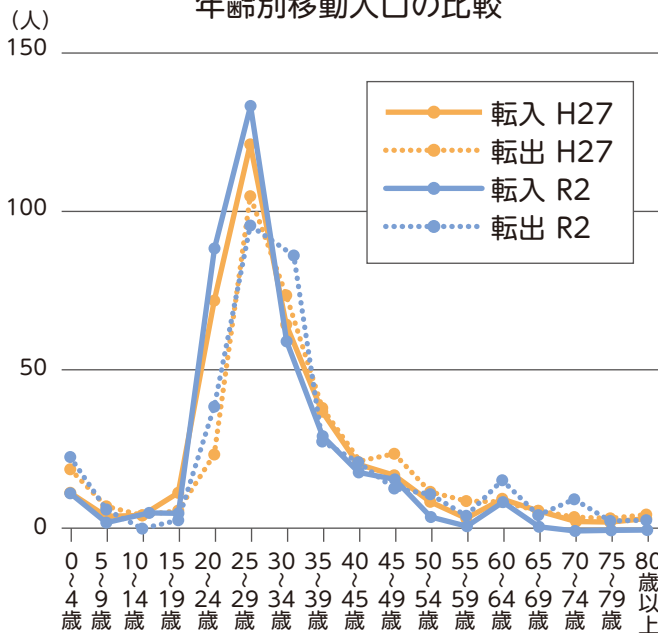
▲健康ウォーキング



▲健康体操

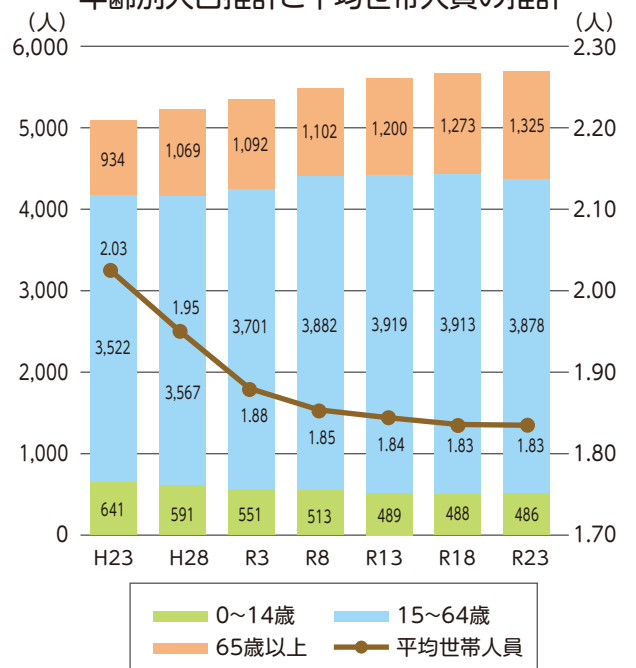
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# 4町内会で目指す3つの目標



## ささえあい

入江2丁目

入江1丁目  
東部

### 目標1 声を掛け合い、 安心、安全の関係をつくる。

- 世代を超えて誰もが参加しやすい行事を計画
- 4町内会での協力関係強化と、各子ども会・老人会とのネットワークづくり
- 気軽に立ち寄れる身近な場所づくり



### 目標2 災害時の組織をつくり、活用し、見直す。

- 防災訓練や防災講演会による意識の向上
- 要援護者名簿づくりと支援体制づくり
- 各家庭の防災力が高まるような防災行事のPR



### 目標3 子育ての楽しいまちづくりを進める。

- 子どもの自主的な行事への参加や計画を応援
- 地域にある施設等との連携による子育て世代へのサポート
- 地域による登下校の見守りなどのお手伝い



入江1丁目  
西部

入江1丁目  
中部

い入江は  
り隣人との絆と連携から  
え笑顔があふれるまち



いりえ

地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

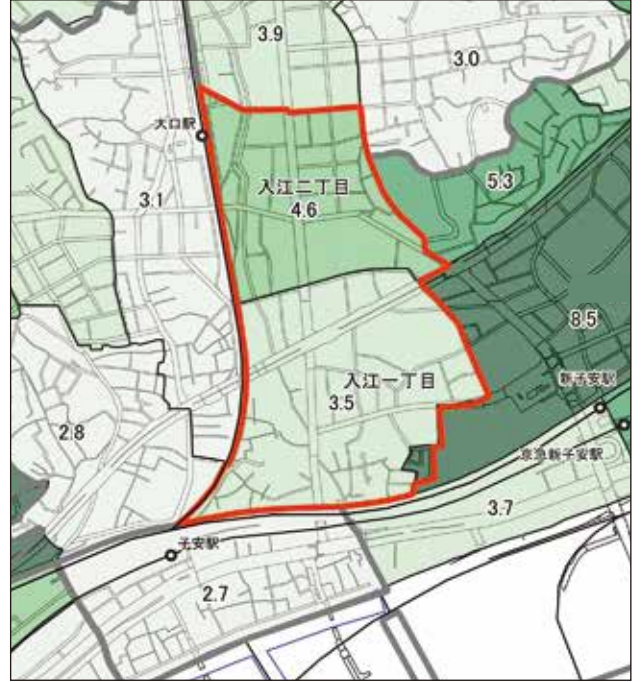


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



人口増加率

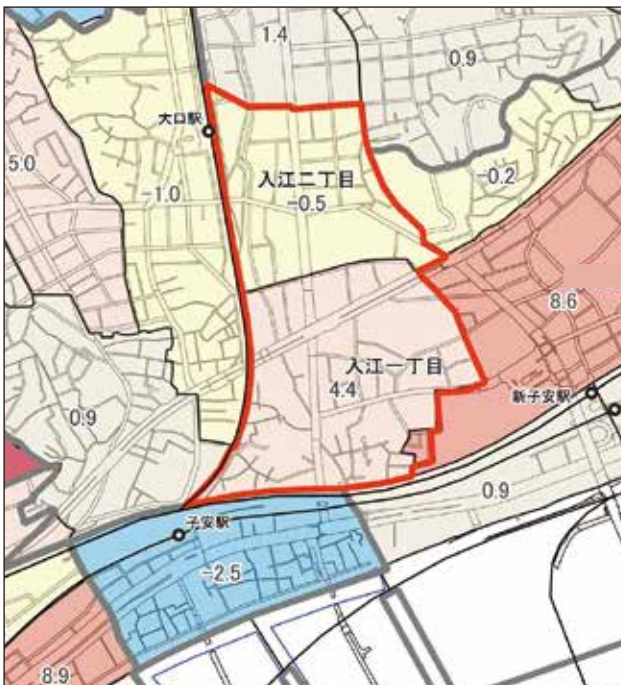
住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



入江地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 支え合う「向う三軒両隣」のまち 神之木西寺尾

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 小学校
- 中学校
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

起伏のある丘の上の住宅地で、戸建て住宅、集合住宅が混在しています。地区の西側はJR横浜線に接しており、区域に近接して大口駅があります。丘の上には、西寺尾の丘公園、神之木公園などがあります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神之木西寺尾地区	神奈川区
総人口	17,547人	241,561人
0～14歳	2,293人(13.1%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	11,406人(65.0%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,848人(21.9%)	53,136人(22.0%)

	神之木西寺尾地区	神奈川区
総世帯数	8,346世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.10人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,235世帯 (14.8%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

区内初の子ども食堂をはじめ、ふれあい地域清掃、地域交流まつり、防災拠点訓練や「(高齢者)おたのしみ会」など多彩な地域行事を開催しています。「小学生・中学生を地域につなげるしくみづくり」を目指して「あいさつ運動」を展開し、学校・地域・家庭が一体となって、場づくり・絆づくりを進めてきました。



▲地域交流まつり



▲あいさつ運動

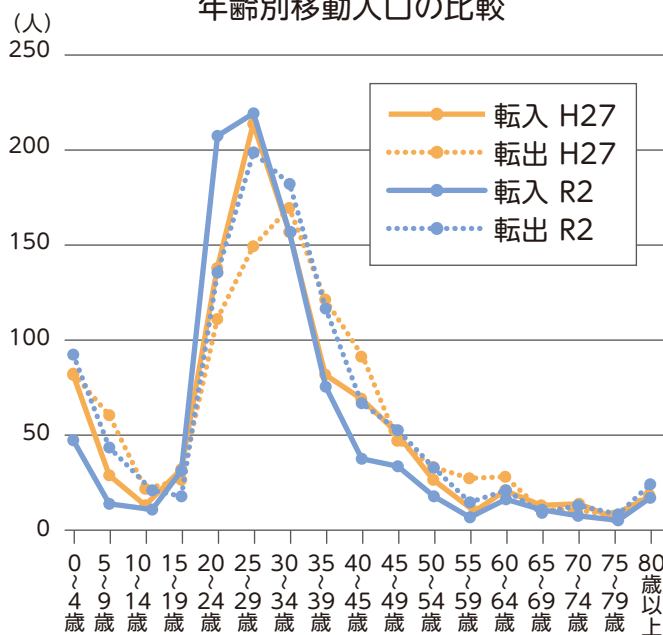


▲花火大会

また、民生委員・児童委員、ふれあい活動委員、シニアクラブなどの見守り活動を「声かけ隊」として一体で行うことで、横のつながりができるようになり、各活動がより綿密にできるようになりました。コロナ禍には、祭りなどの行事ができなくなったことを受け、花火大会を開催しました。

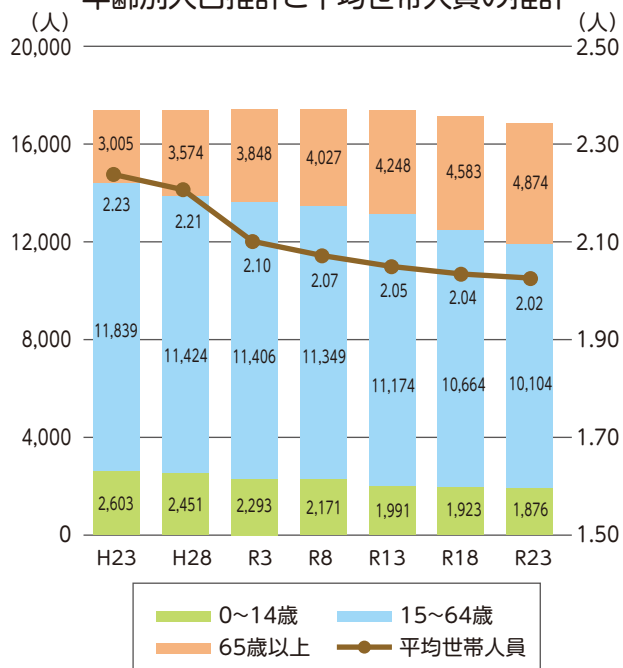
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 支え合う「向う三軒両隣」のまち 神之木西寺尾

## 目標① 日頃から顔の見える関係づくりを充実させよう

住民同士が互いに信頼関係を築き、地域のつながりを強化します。また、地域の活動を身近にし、活動の担い手や日頃の見守り活動などを充実させます。

### 【取組】

- 地域の活動を身近に感じられるように、活動の場づくりやICTを活用した情報発信を工夫する。
- 自治会・町内会や地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員をはじめ、さまざまな団体が話しあい、連携して取組を推進する場づくりを進める。
- 「声かけ隊」「あいさつ運動」などを通じ、日頃からの見守りを充実させ、孤立予防などにつなげる。
- 要援護者支援マップの作成・更新、安否確認の手段や防災備蓄の整備、防災訓練の充実などにより、いざという時に助け合える仕組づくりを行う。



▲ふれあい地域清掃



▲すすすくかめっこ



▲(高齢者)おたのしみ会

## 目標② 地域と子どもの交流の機会を増やそう

子どもたちが地域の一員として、まちに愛着を持ち、まちを大切にするきっかけづくりを進めます。地域と学校が情報を共有して、地域と子どもの交流の機会を増やします。

地域全体で子育てを進められるように、子どもや子育て世代が地域の中で孤立しないような取組を企画します。

### 【取組】

- 地域で行われる美化活動やお祭り、防災訓練などの行事について、学校の協力を得ながら、子どもたちに周知する。
- 行事を行う際は、子どもが参加しやすいよう工夫する。また、地域の大人と子どもたちが一緒に活動できる機会を増やす。
- 子どもや子育て世代が地域の中でつながりを持てるよう、すすすくかめっ子の充実などに取組む。



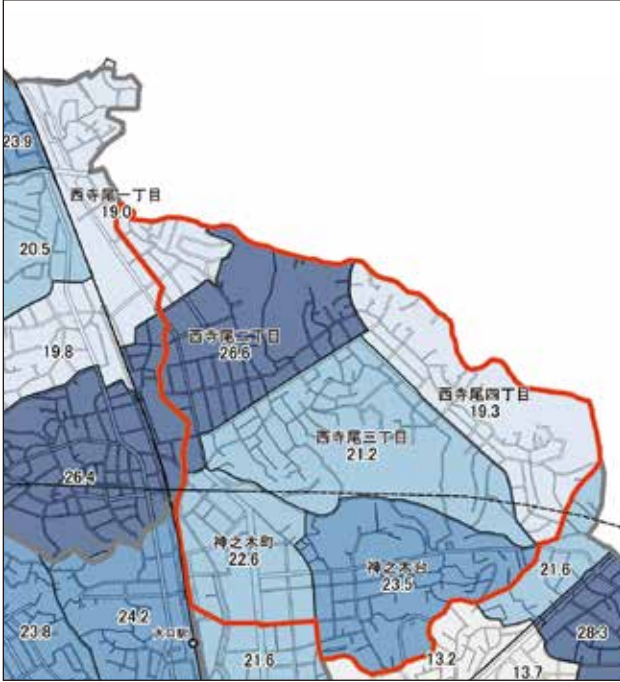
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

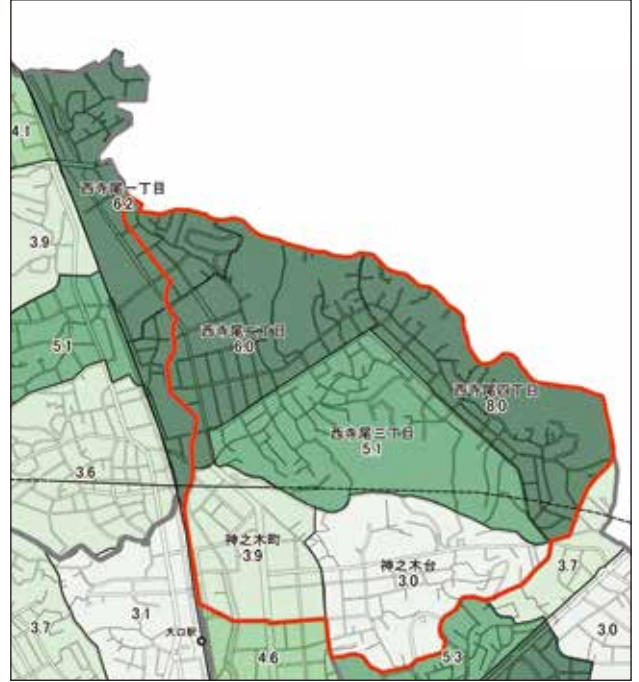


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

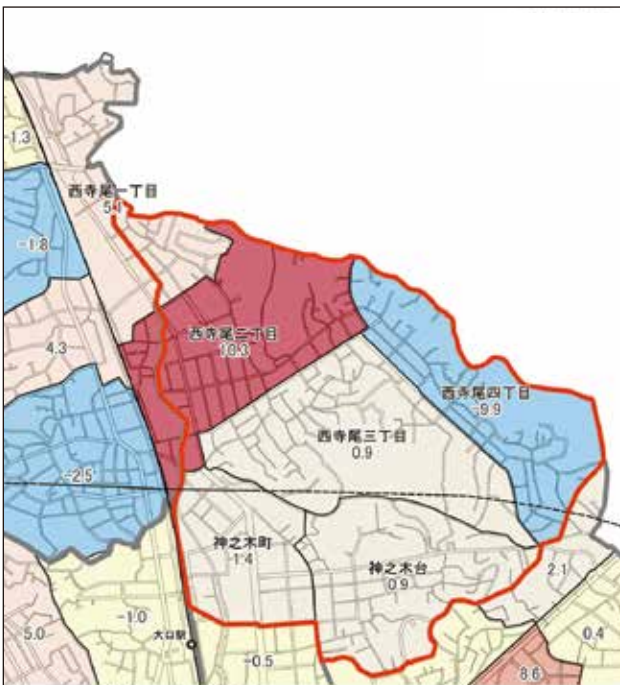
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

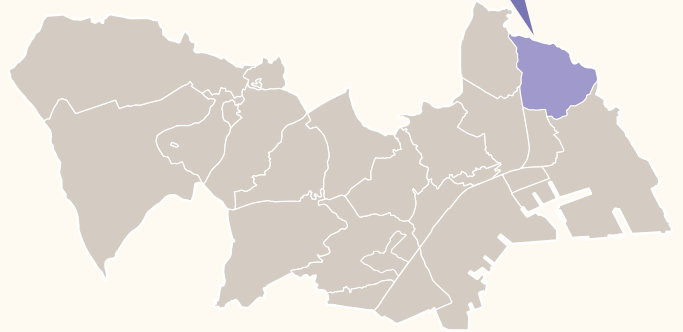
- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



### 神之木西寺尾地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 笑顔であいさつ松見町 住んでよかった松見町



## 地区概要

起伏のある住宅地です。地区内を横浜線が通っており、西側は港北区に接しています。戸建て住宅が多い地区です。地区の南側に、横浜市立盲特別支援学校があります。

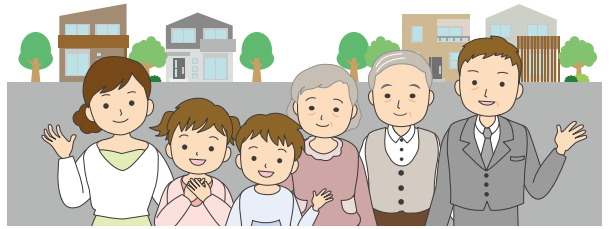
## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	松見地区	神奈川区
総人口	11,792人	241,561人
0～14歳	1,350人(11.5%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	7,776人(65.9%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,666人(22.6%)	53,136人(22.0%)

	松見地区	神奈川区
総世帯数	6,118世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.93人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	859世帯 (14.0%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組と今後に向けて

- 地域のボランティア活動による支え合い活動が活発に行われており、助け合いの仕組みづくりがすすめられています。
- 食事会やサロン、各種行事などが盛んに行われ、地域に根差した交流が継続しています。
- 災害時要援護者支援やふれあい活動を通じて、いざという時に備えた取組を各地域がすすめています。
- 今後は、住民の入れ替わりや世代交代も踏まえ、これまでの取組を継続、拡充していくために「顔の見える関係づくり」を改めて意識しながら地域の担い手を発掘していきます。
- これまで地域ケアプラザや区社協、行政など関係機関とも連携して地域活動を行ってきました。今後も引き続き協力して活動していきます。



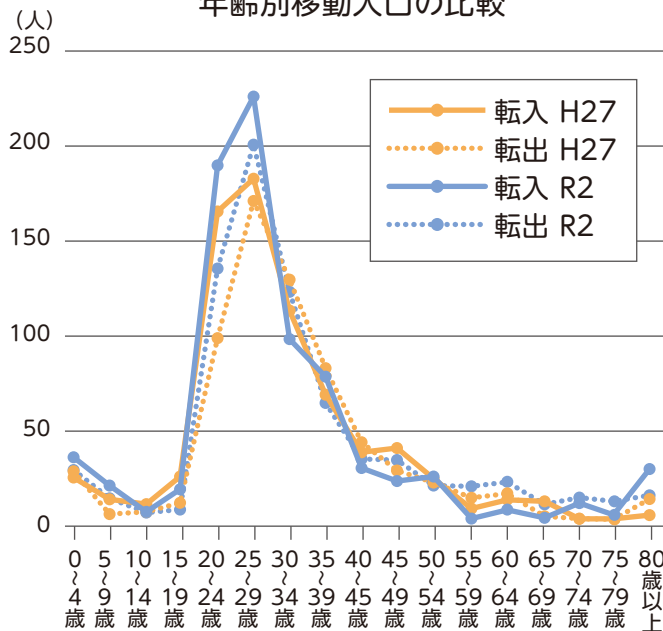
▲令和3年8月に開催した絵画展



▲絵画展が開かれた八幡神社

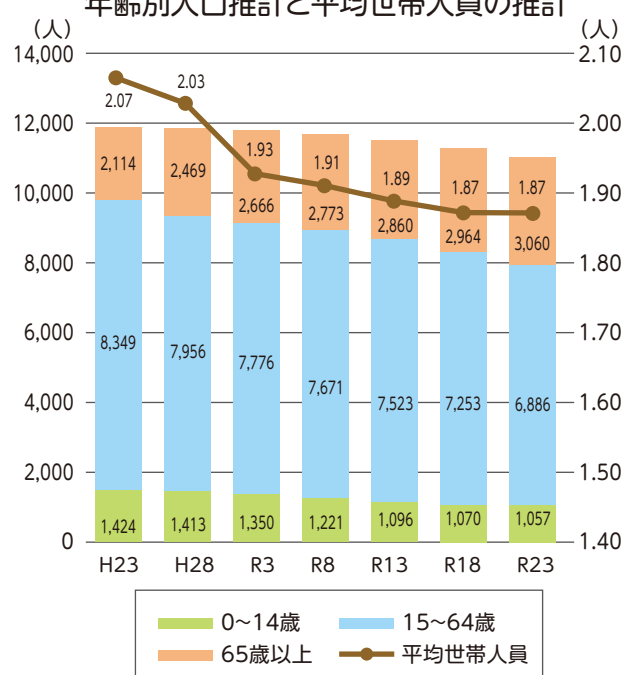
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# 笑顔であいさつ松見町 住んでよかった松見町

## 目標1 支え合いの仕組みと場をつくる

ちょっとした困りごとを地域のボランティアで支え合い、身近な隣近所・班の普段の付き合いから助け合える仕組みをつくる。

- 地域ニーズに沿った活動となるために、住民の困りごとに関する現状把握を丁寧に行う。
- ボランティア活動が地域に浸透するよう、継続的に住民へ情報提供を行う。
- 新たな担い手を発掘し、活動に生かせる知識を継承しながら、世代交代をスムーズにすすめていく。



▲ボランティア活動

## 目標2 災害時の対応を 充実させる

単町レベルでの自主防災組織の活動をさらに活性化させ、災害時の共助の仕組みをより一層充実させる

- 地域の「災害時要援護者支援事業」「一人暮らし高齢者地域で見守り推進事業」等の活動を通じて、要援護者の把握を行い、発災時に備えた体制づくりを整える。
- 単町ごとに「共助」が機能するよう、普段から身近な人同士、顔の見える関係づくりをすすめる。



▲安否確認訓練

## 目標3 魅力ある行事を通じて 地域の絆を強める

松見地区に深く根付いた3大行事(福祉演芸大会・盆踊り・ふるさとまつり)を継承しながら、単町での魅力的な行事をさらに充実させる。

- 食事会やサロン、お楽しみ会、趣味サークル等の活動を企画・運営し、多様な世代が交流できる場づくりが提供できるよう、地域でバックアップをする。
- 行事を通して、住民が地域活動に触れる機会を増やし、松見地区への愛着を持ってもらう。



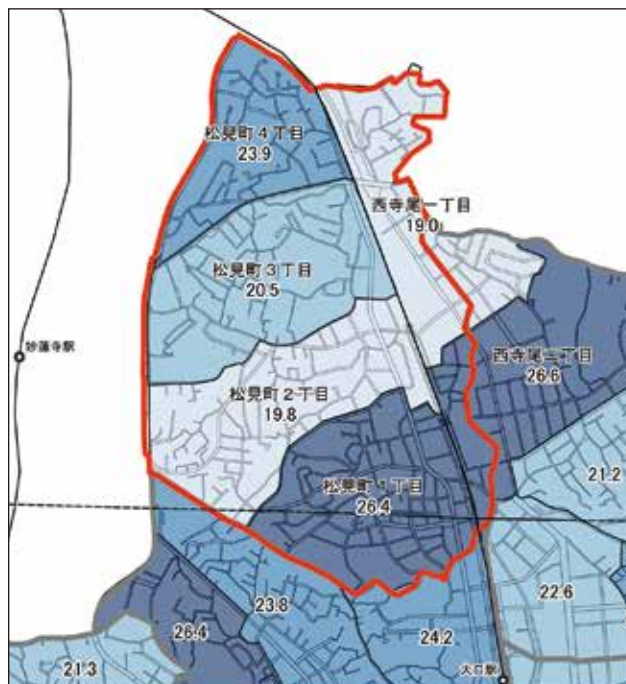
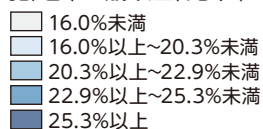
▲松見地区福祉演芸大会

## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

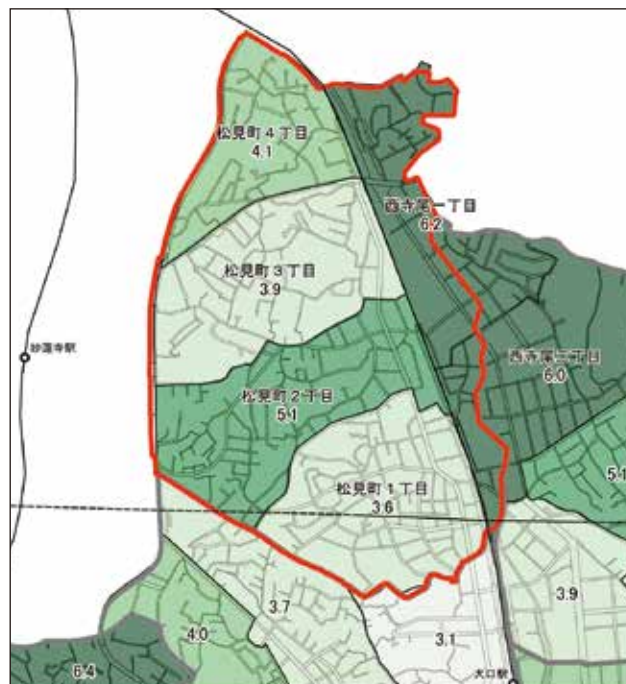
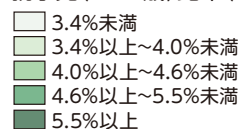
高齢者(65歳以上)比率(%)



### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

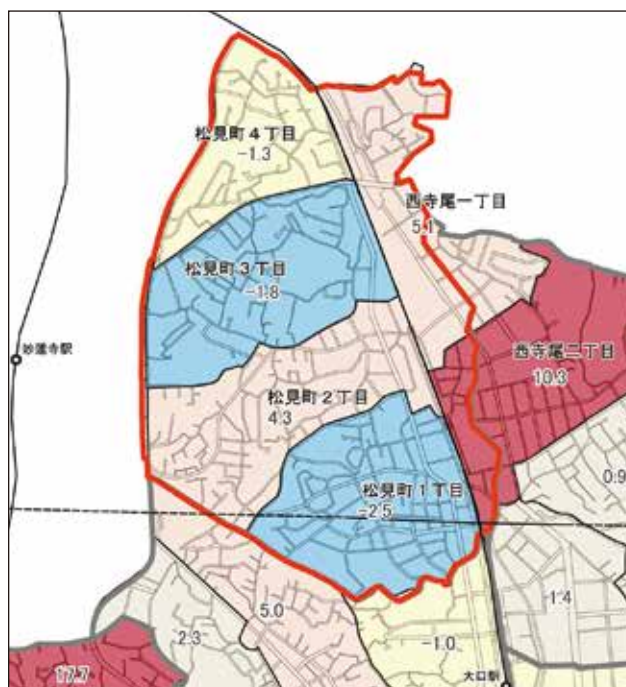
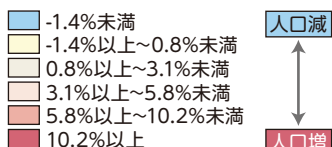
未就学児(0~5歳)比率(%)



### 人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)



松見地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

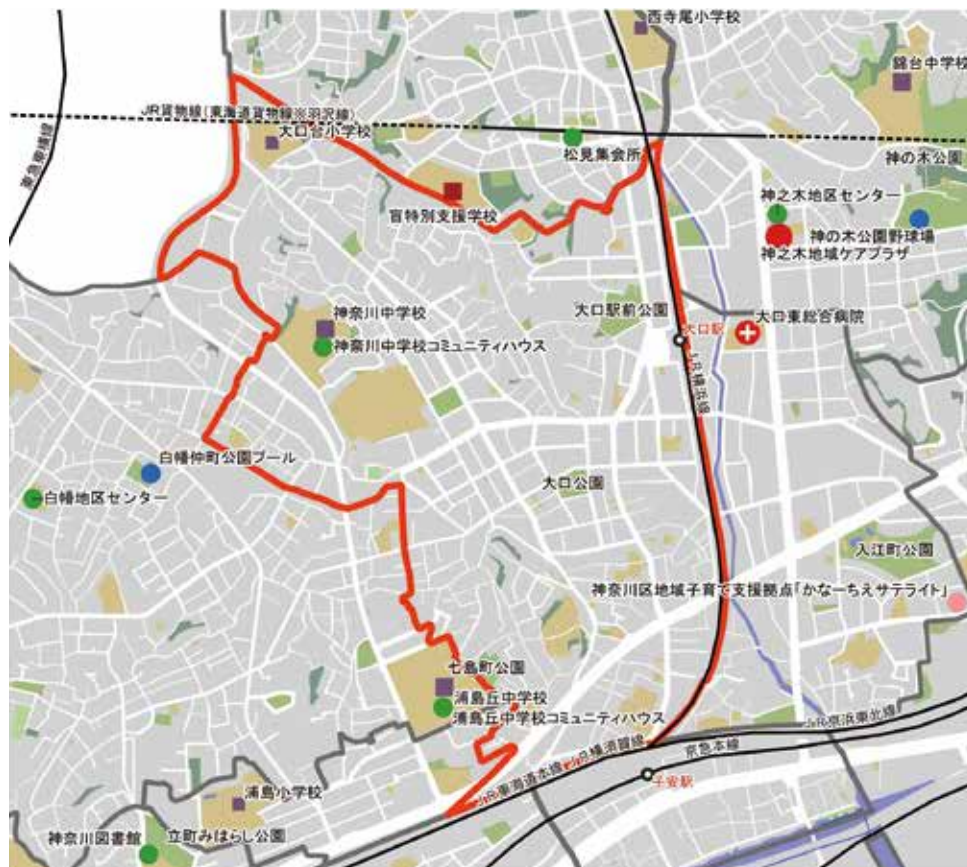
※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# みんなで助け合う町 大口七島

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 小学校
- 中学校
- 盲特別支援学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

JR横浜線大口駅の西側に広がる住宅地です。北側は起伏のある丘になっています。戸建て住宅が多い地区です。

地区の東側はJR横浜線に接しており、大口駅があります。大口駅と子安駅を結ぶように大口通商店街があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	大口七島地区	神奈川区
総人口	14,716人	241,561人
0～14歳	1,303人(8.9%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	9,714人(66.0%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,699人(25.1%)	53,136人(22.0%)

	大口七島地区	神奈川区
総世帯数	8,410世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.75人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,324世帯 (15.7%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組と今後に向けて

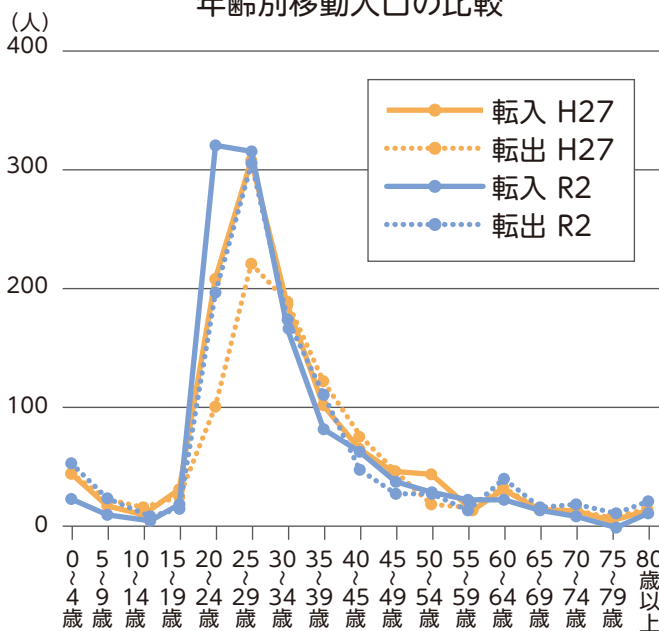
- 地域ボランティアによる支え合い活動を活発に行い、助け合いの仕組みづくりが進んでいます。
- 食事会やサロン、各種行事を盛んに行い、地域に根差した交流が継続しています。
- 災害時要援護者支援やふれあい活動を通じて、いざという時に備えた取組を自治会町内会が進めています。
- 地域交流まつり、盆踊り大会、運動会に多くの住民が参加し、交流・つながりづくりができています。
- 今後は、住民の入れ替わりや世代交代も踏まえ、これまでの取組を継続、拡充していくために「顔の見える関係づくり」を改めて意識しながら地域の担い手を発掘していきます。
- これまで地域ケアプラザや区社協、行政など関係機関と連携して地域活動を行ってきました。今後も引き続き連携して活動していきます。



▲御輿パレード

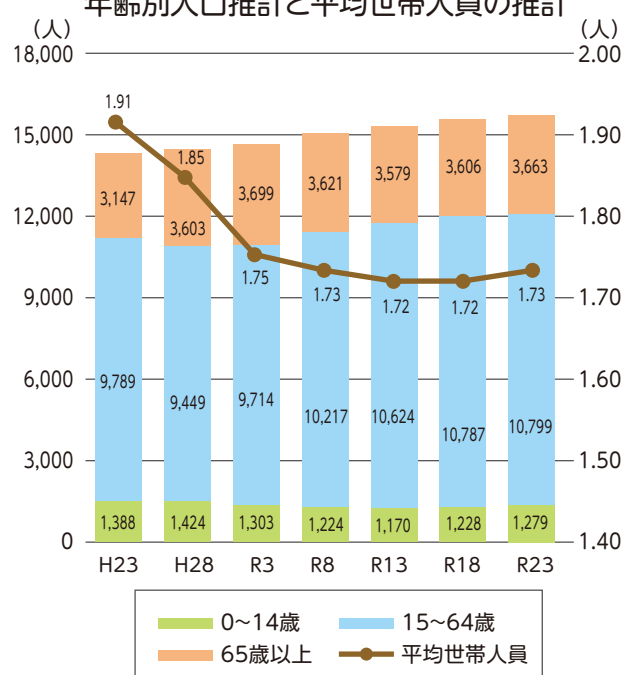
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# みんなで助け合う町 大口七島

「安心・安全な街」を作るために、「共助」を強化することを目標に  
把握、見守り、支え合いを各自治会町内会が重点的に取り組む

これまでは高齢者支援・世代間交流・防災を3本柱として、地区連合と地区社協が車の両輪となり活動を展開してきました。第4期計画では、5つの目標から自治会町内会がそれぞれ重点目標を設定し活動します。地区連合と地区社協は自治会町内会を支援します。



▲地区盆踊り大会

## 目標1

### 高齢者・要援護者 支援

- ふれあい訪問や年賀状事業で地域と高齢者のつながりを作ります
- サロンや昼食会を開き高齢者の外出機会を作ります



▲地区運動会

## 目標5

### 子育て支援・ 青少年見守り

- すくすくかめっ子の増設や高齢者の参画を目指します
- 小学生の登下校を見守ります

## 自治会・ 町内会

支援

## 連合町内会 地区社協

## 目標2

### 防災・減災への 取組

- 大地震や風水害に備えて、防災訓練や備蓄に各自治会町内会が自主的に取り組みます

## 目標4

### 健康づくり

- ラジオ体操、ウォーキング大会、運動会、料理教室など、多くの人が少しずつ取り組める機会を作ります

## 目標3

### 世代間交流

- 七夕、盆踊り、クリスマス、餅つき等の子どもから高齢者までが参加できる行事で交流を深めます
- 挨拶と声かけから交流を始めます

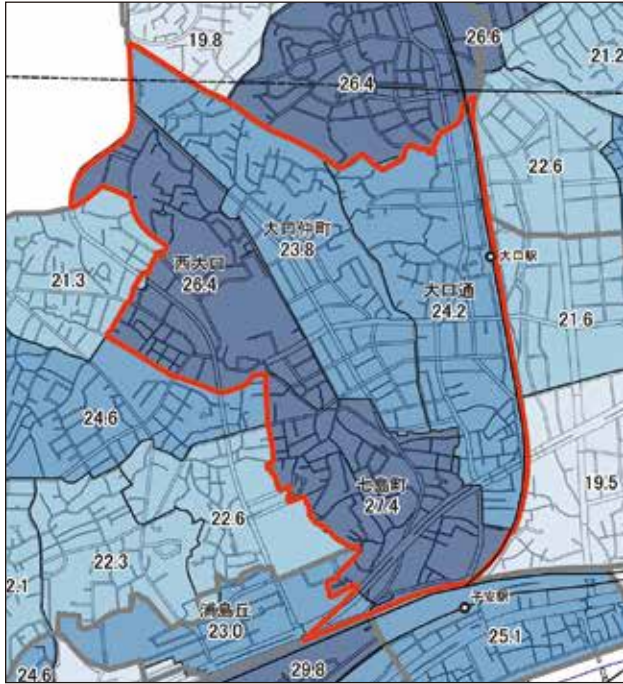
地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

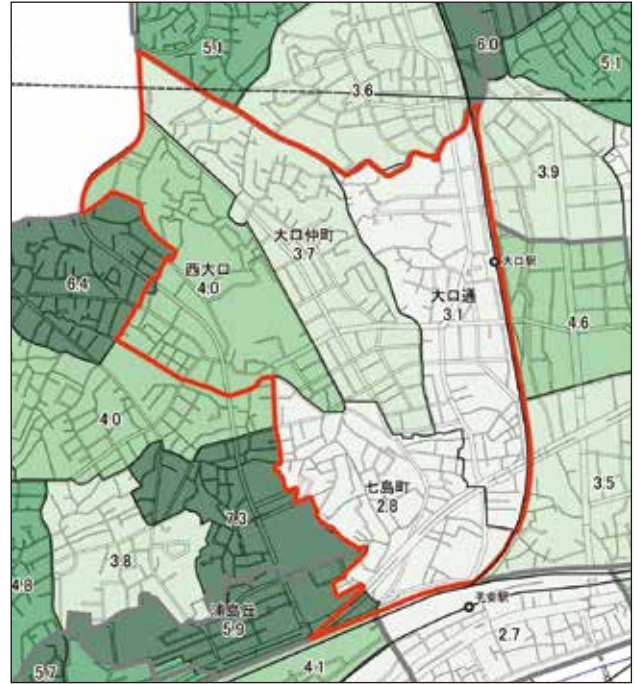


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



人口増加率

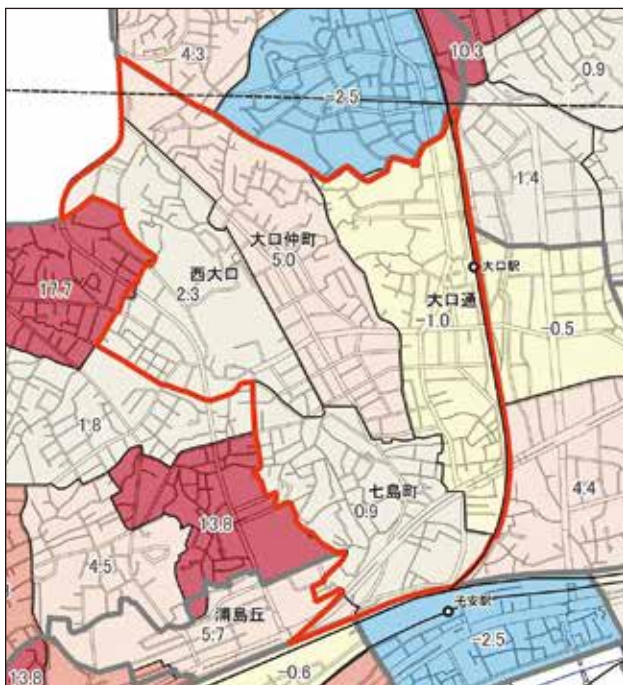
住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

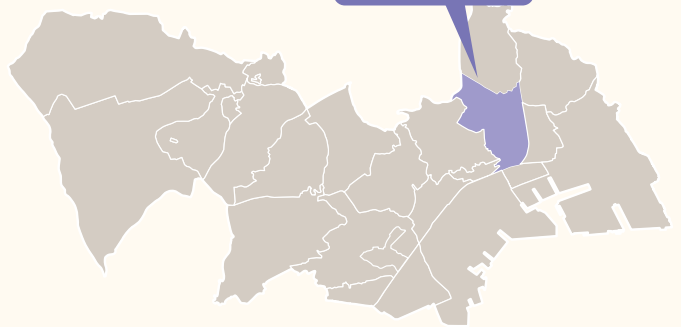
- -1.4%未満
- -1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



大口七島地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# つながり 安心 支えあい 白幡

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

起伏に富み、戸建て住宅が多い住宅地です。

地区の北側を東急東横線が通っており、地区の西側に近接して白楽駅、東白楽駅があります。地区内の道路幅は狭く、車でたどり着けない場所もあります。

地区の大部分が、大規模震災時の火災の延焼拡大抑止に向けた対策が必要な地域とされています

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	白幡地区	神奈川区
総人口	13,913人	241,561人
0～14歳	1,655人(11.9%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	9,068人(65.2%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,190人(22.9%)	53,136人(22.0%)

	白幡地区	神奈川区
総世帯数	7,374世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.89人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,046世帯 (14.2%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

食事会やお祭りなどのイベントや防犯パトロール、防災対策など、町内会活動はとても活発に行われています。

### イベント

#### 【今、実施されている取組】

- 白幡福祉まつり(ときめき白幡)
- オーケストラがやってくる
- 演芸大会 など

#### 【最近の地区動向】

- イベントへの参加が難しい方への移動支援の取組を試行

### 防災

#### 【今、実施されている取組】

- 町会間での防災器具の貸し借り
- 防災マップの作成

#### 【最近の地区動向】

- 町会毎の防災訓練の充実を図る



### 見守り活動

#### 【今、実施されている取組】

- 食事会、お茶会
- ふれあい活動
- 元気づくりステーション

#### 【最近の地区動向】

- 地域カフェ、サロンなどの居場所を立ち上げ

### 子ども支援

#### 【今、実施されている取組】

- お楽しみ会(うらしま荘)
- 冬休み子ども書き納め会

#### 【最近の地区動向】

- 宿題ひろば(学習支援)を開催
- 他地区との協働ネットワークを構築

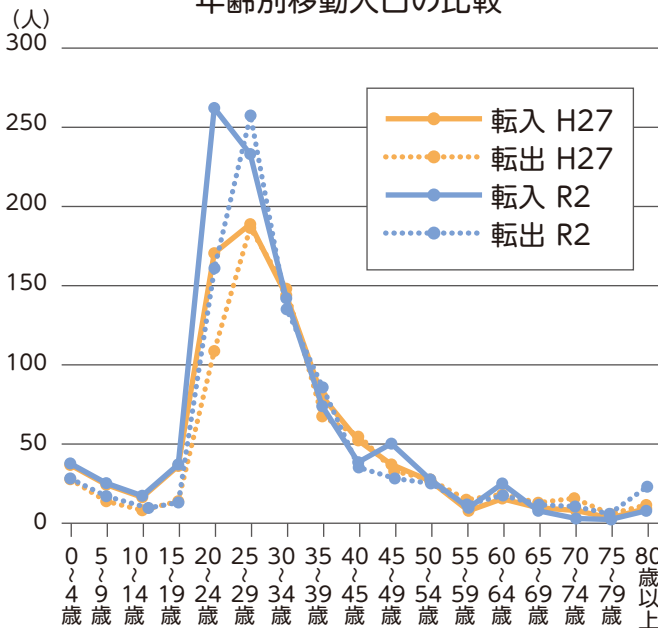


## ～取組を進めるための体制～ 白幡の輪

白幡地区では、各テーマの関係者が集い、情報共有、企画立案する場を設け、それぞれの取組を推進しています。

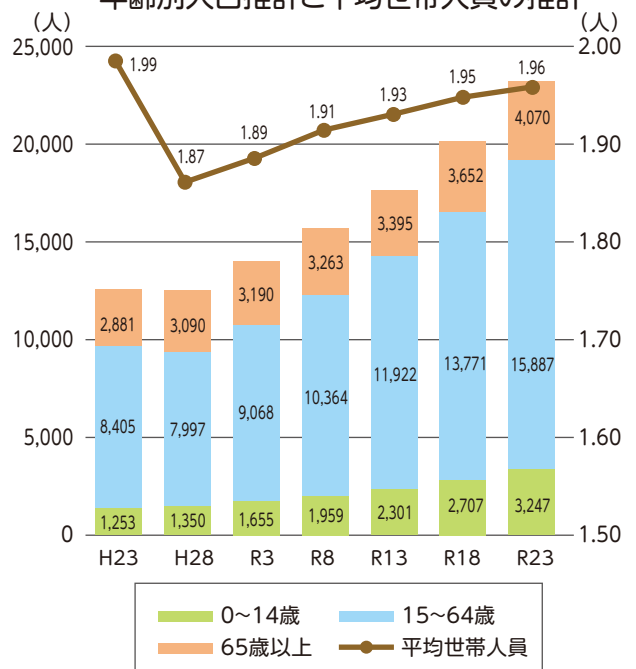
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# つながり 安心 支えあい 白幡

## 町会の枠を越えた取組

### 【目標】

町会を越えてイベントに参加できる体制をつくります!

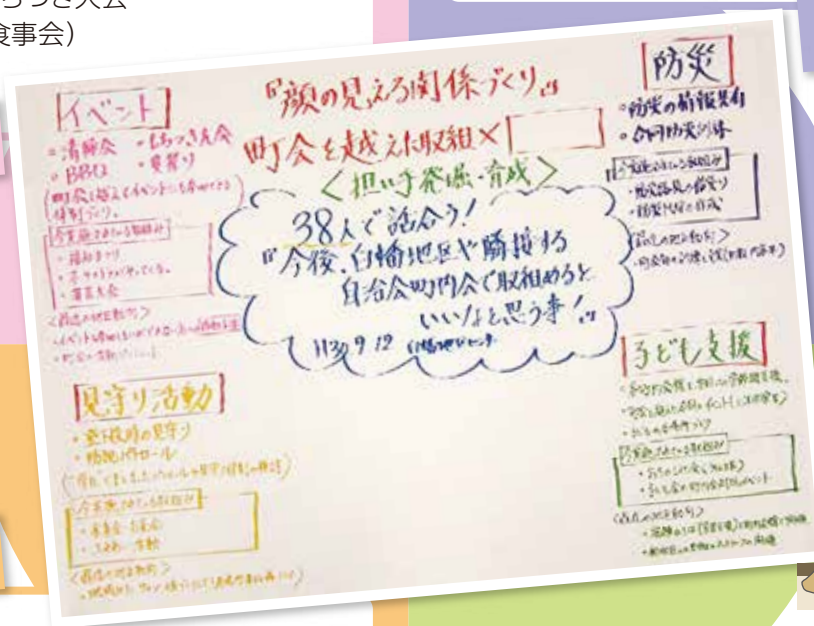
- 清掃会 ● もちつき大会
- バーベキュー(食事会)
- 夏祭りなど

### イベント

### 【目標】

町会間で防災の取組を共有し、連携した防災訓練を実施します!

### 防災



### 見守り活動

### 【目標】

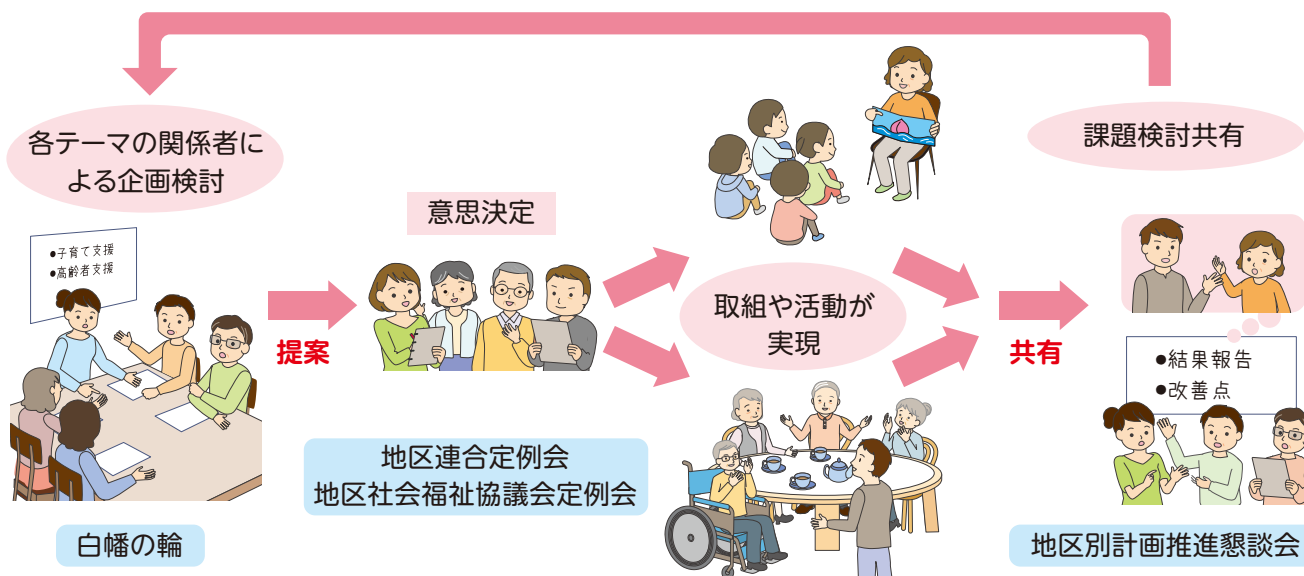
- 学区でまとまった、登校時の見守り、防犯パトロールを実施します!
- 誰もが参加できるカフェや食事会を開催します!
- 民生委員、友愛活動員、ふれあい活動員等の情報共有の仕組みづくりをします!

### 子ども支援

### 【目標】

町会を越えた合同イベント(ラジオ体操など)、子どもの居場所、学習支援などの場をつくります!

## 取組の進め方(イメージ)



地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

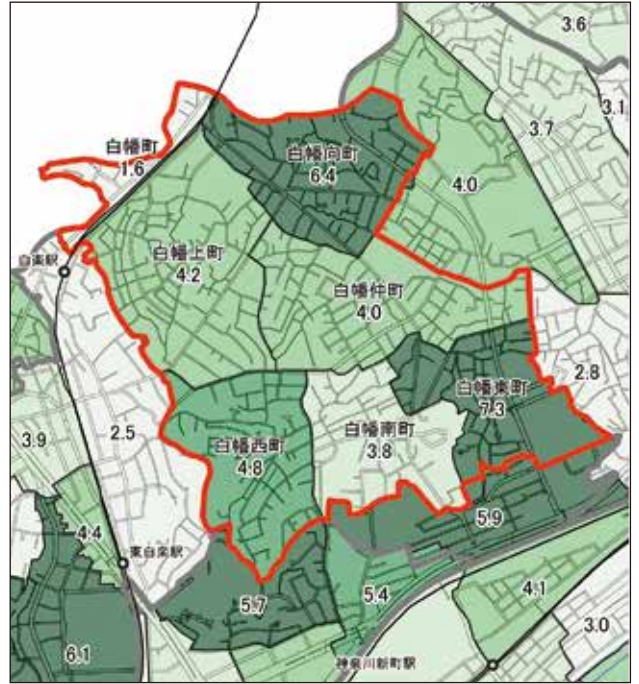


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

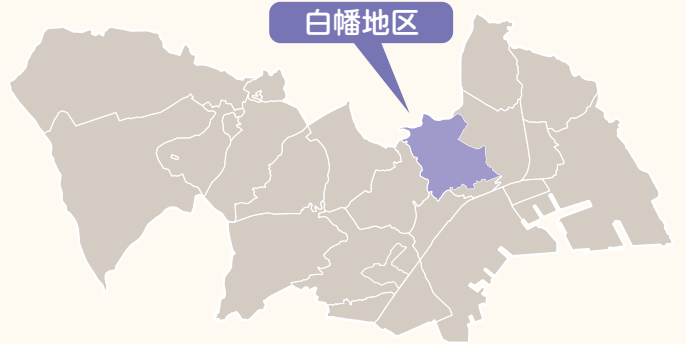


人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- -1.4%未満
  - -1.4%以上~0.8%未満
  - 0.8%以上~3.1%未満
  - 3.1%以上~5.8%未満
  - 5.8%以上~10.2%未満
  - 10.2%以上
- ↑ 人口減  
↓ 人口増



※区の高齢人口比率は、22.0%です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、4.5%です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、2.9%です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# もっと つながる 広がる 神奈川の『わ』

- 神奈川区役所
- 社会福祉協議会
- 地区センター・公会堂・集会所等
- 地域子育て支援拠点
- 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 公立高校
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

区内最大の17町内会で構成され、臨海部に位置して、京浜東北線・横浜線・京浜急行線の鉄道が通り、地区の中央を第一京浜国道が貫いています。「神奈川」の県名発祥地として知られ、幕末には勝海舟設計の神奈川台場が築かれ、寺院の一部は各国の領事館などに充てられたほか、浜通りの浦島太郎伝説など様々な歴史を有する地区です。

また、ハマの台所である中央卸売市場があるほか、東高島駅北地区では、まちづくりが進められており、都市臨海部にふさわしい複合市街地が形成される予定です。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神奈川地区	神奈川区
総人口	15,156人	241,561人
0～14歳	1,747人(12.0%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	10,338人(70.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,530人(17.3%)	53,136人(22.0%)

	神奈川地区	神奈川区
総世帯数	8,199世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.85人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,020世帯 (12.4%)	18,089世帯 (14.0%)

※神奈川一丁目の年齢別人口(541人)が非公表になっているため、総人口(15,156人)と年齢別人口(14,615人)の合計は一致しません。  
 ※神奈川地区の総人口には、公表されていない一部の町の人口は含まれていません。

## これまでの取組

平成30年度から実施している「神奈川地区フェスタ」は、幅広い世代が楽しむことのできるレクリエーションイベントです。神奈川小学校を会場にブースやテントを設置し、交流や体育向上を目的として、様々な企画を行っています。

また、エリア内に4箇所開催している、住民の集いの場(サロン)には、交流を楽しみに多くの参加者が集まっています。

さらに、民生委員・児童委員が中心となり神奈川小学校4年生を対象に行っている「認知症サポーター養成講座」では、認知症を子どもたちに分かりやすく啓発しています。

こうした様々な取組により、まちに住むみんながつながりあえる神奈川地区を目指しています。



▲「神奈川地区フェスタ」で、子どもたちが大活躍



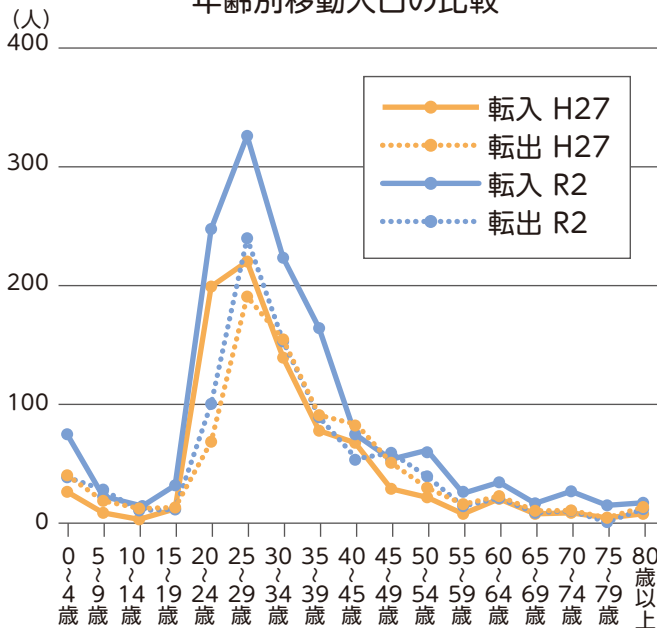
▲「サロンにくじゃが」



▲「認知症サポーター養成講座」(神奈川小学校4年生)

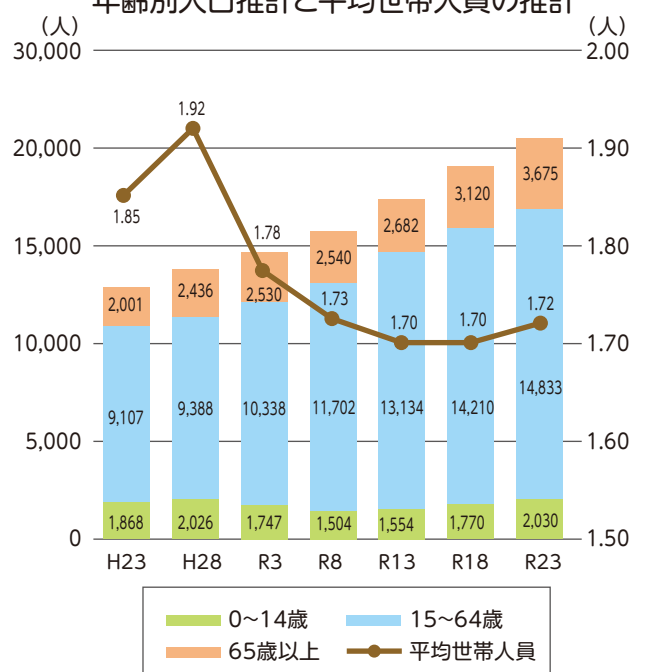
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



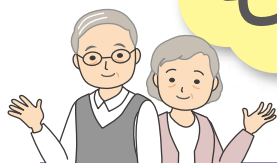
※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# もっと つながる 広がる 神奈川の『わ』



神奈川の『わ』を“もっと”広げていくために…

これまで行ってきた「目標①」・「目標②」の取組をさらに進めていくとともに、特に第4期計画では、『子ども子育て世代』にやさしい神奈川地区を目指します!!

## 目標①

地域の見守り、  
支え合いを  
広げていこう!

■これまで行ってきた取組を  
大切に継続していこう!

- 日頃からの挨拶、  
近所同士の声掛け
- ふれあい活動など、  
見守りの取組
- 食事会、サロン  
(身近な居場所づくり)
- 買い物のお手伝い など



■「協力」して  
見守りを行おう!

- 自治会、民生委員、  
ふれあい活動員、  
シニアクラブなどの  
連携を強化
- ふれあい活動連絡会などを  
活用した、勉強会や見守り  
情報の共有



▲まちのちよっとした  
困りごとをお手伝い  
(神奈川地区支え合いチーム)

NEW!

## 目標③

子どもたちや子育て世代に  
やさしいまちをつくらう!

■子どもたちや子育て世代が  
安心して暮らせるまちをつくらう!

- 登下校時の見守り
- 子どもたちのための  
居場所づくり
- パパ、ママ同士の  
つながりが中学、高校生に  
なっても続く仕組みづくり



■子どもたちのことを  
もっと知ろう!

- 子どもたちの  
想いや考えを  
聞いてみる



■子どもたちが活躍できる  
機会を増やそう!

- まちのイベント(神奈川地区フェスタ、  
グランドゴルフ大会など)の中での、  
子どもたちの活躍できる場面づくり
- 保育園や小中学校との連携、協力



グランドゴルフ  
大会▶

## 目標②

様々な世代へ  
つながりと活動の  
担い手を広げていこう!

■まちで暮らす住民みんなに、  
神奈川地区のことを  
もっと知ってもらおう!

- 様々な世代を対象とした  
イベントを通じた、  
まちのことを知ってもらう  
きっかけづくり
- まち全体で行うイベントには、  
各団体が企画段階から参加
- スマホやインターネットなど、  
新たな手段を活用した、  
まちの情報発信や交流の実施

■新たなつながりを  
増やしていこう!

- イベントの開催などを  
きっかけとした、  
「おやじの会」など、  
新たなコミュニティづくり



▲Zoomを利用した、  
LINEの勉強会(オンラインで実施)

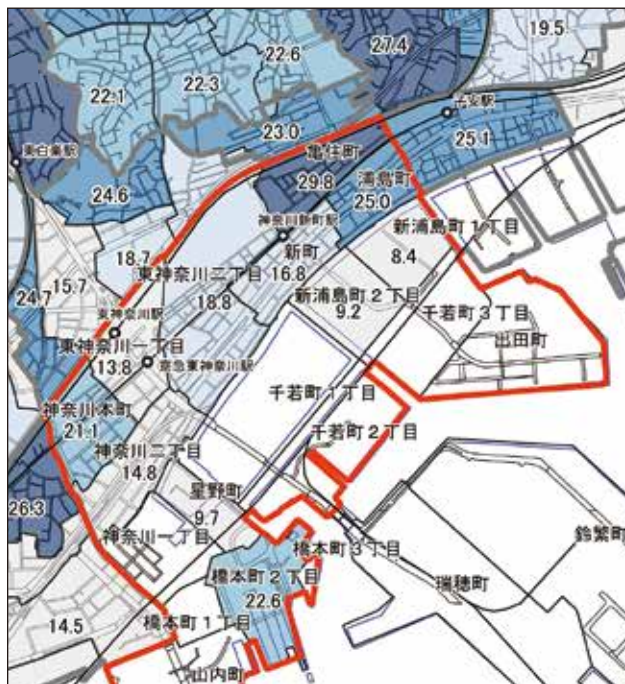
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

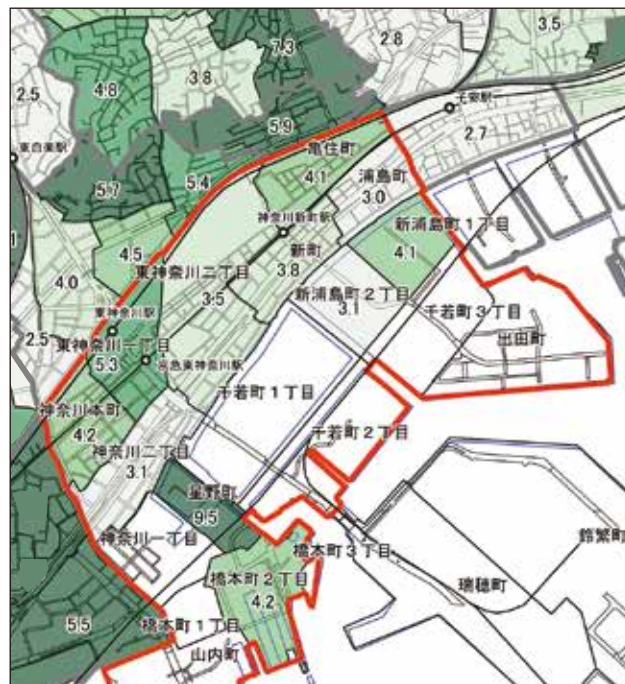


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

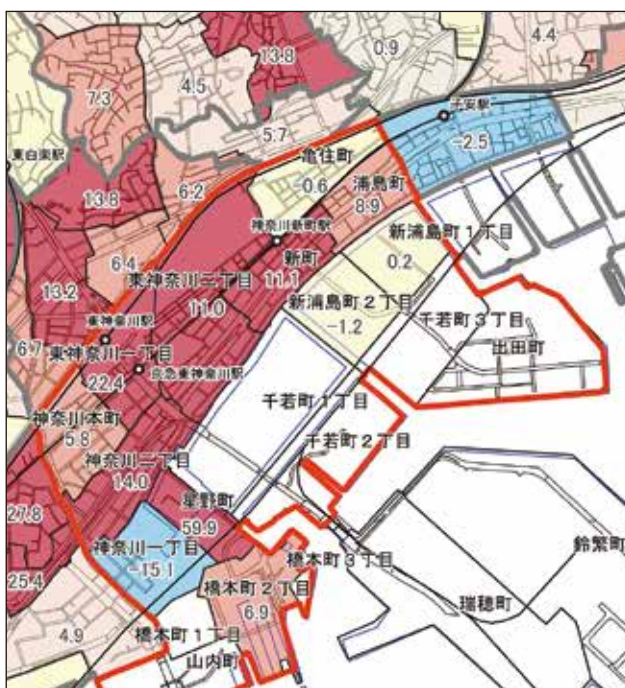
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



### 神奈川地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

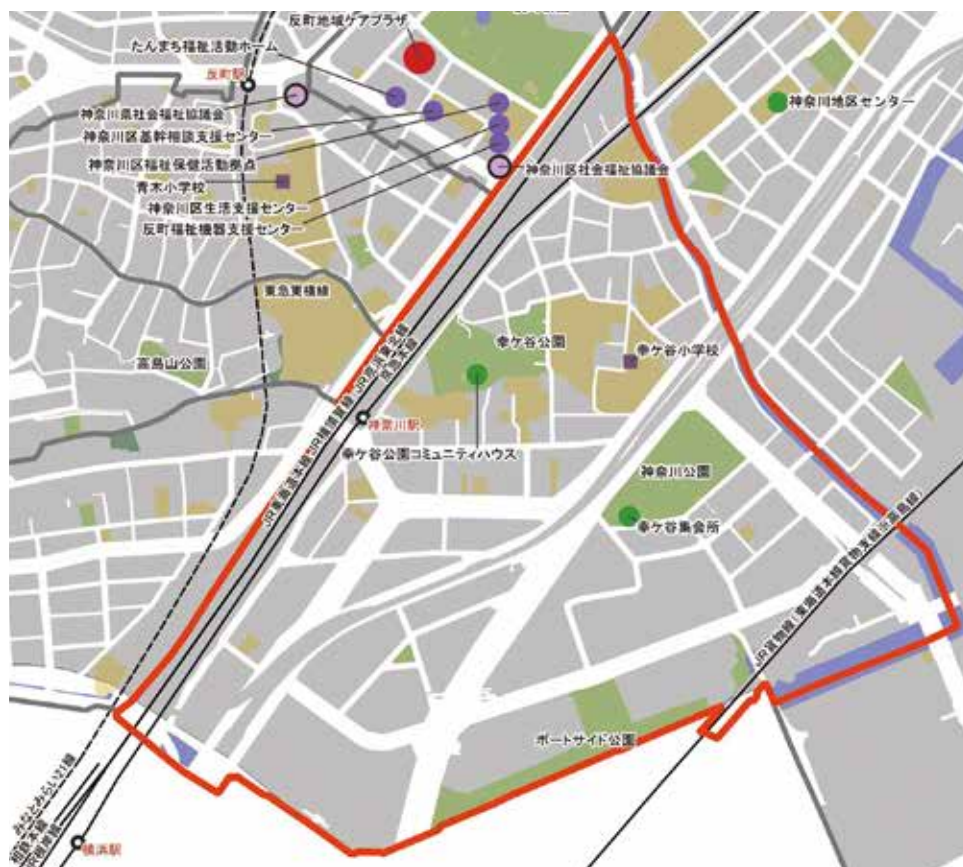
※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 柔らかに、ゆるやかに つながるまち 幸ヶ谷

- 社会福祉協議会
- 地区センター・公会堂・集会所等
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

横浜駅の北東に隣接し、地区内に京急線の神奈川駅があります。交通の利便性が高い地区です。

戸建て住宅が幸ヶ谷周辺に見られるほかは、集合住宅が多い地区です。特に、臨海部に高層大型の集合住宅が多く立地しています。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	幸ヶ谷地区	神奈川区
総人口	10,785人	241,561人
0～14歳	1,429人(13.2%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	7,765人(72.0%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	1,591人(14.8%)	53,136人(22.0%)

	幸ヶ谷地区	神奈川区
総世帯数	5,839世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.85人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	544世帯 (9.3%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組と今後に向けて

近所同士で柔らかく見守り合う「み守りたい」活動を地道に継続し、充実させてきました。高齢者の交流の場として「幸ヶ谷お楽しみ会」を開催するほか、子どもが多い地区でもあるので、ハイキングやグランドゴルフ大会など、三世代交流が図れる活動にも取り組んできました。さらに、新しいマンション住民を含めて地区全体で一体感をはぐくむことを目的に、「幸ヶ谷地域まつり」を開催するほか、幸ヶ谷小学校「幸ヶ谷共育倶楽部」などの地域学校協働活動を通じて、子どもと保護者だけでなく地域住民との様々な交流の機会が設けられています。

これらの取組により、世代間交流はもとより、従来から幸ヶ谷に住んでいた住民と新しいマンション住民との交流が生まれ、行事は年々にぎわいが増しています。幸ヶ谷地区は企業のほか、中央卸売市場、さらには幼稚園・保育園・小学校・専門学校など様々な社会資源がある地区です。今後は、従来から積み重ねてきた自治会町内会を基本とした活動を着実に広げていくことに加え、地域の企業や関係機関も巻き込んで、これまで以上に「幸ヶ谷色」の出る取組になるよう目指していきます。



▲幸ヶ谷お楽しみ会



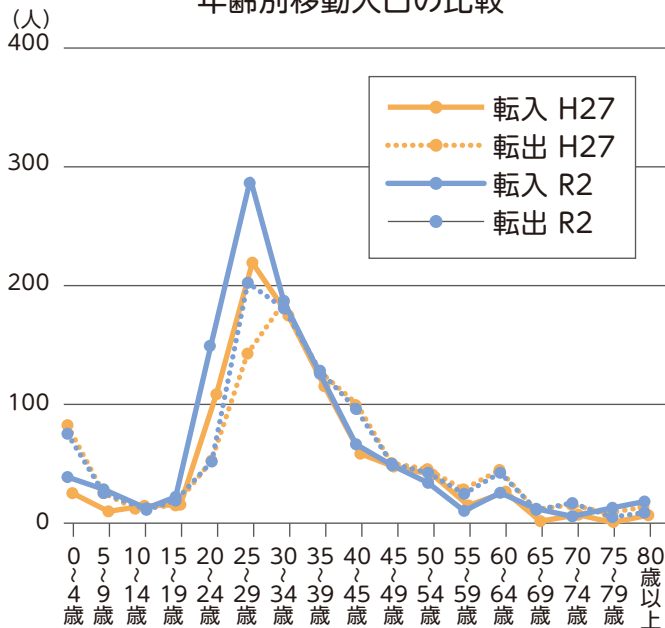
▲ハイキング・バーベキュー



▲三世代グランドゴルフ大会

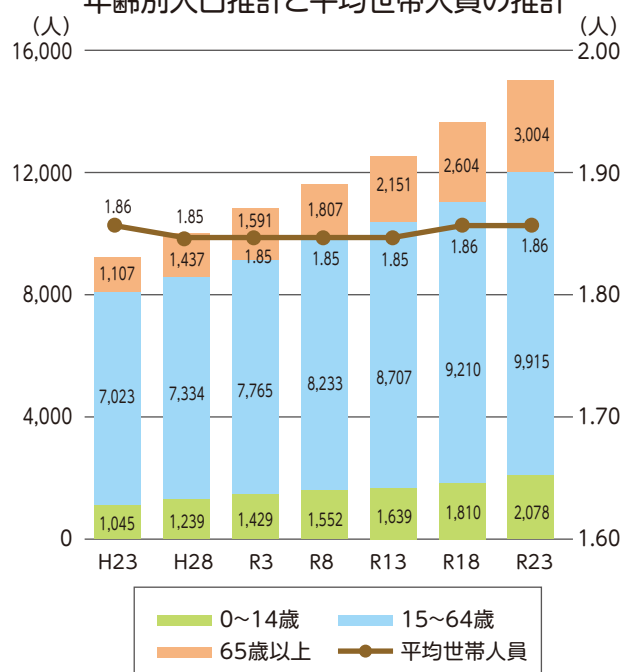
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# 柔らかに、ゆるやかにつながるまち 幸ヶ谷

柔らかなつながりでお互いに見守る「み守りたい」の活動、地域の垣根を超えた行事、三世代交流などの取組を通して、幸ヶ谷地区のつながりづくりをこれからも進めていきます。

## 目標 1

### 「さりげない見守り」を定着させよう

#### 【具体的な取組内容】

- 「み守りたい」研修を充実する
- 日常的に見守りあえる仕組み（「み守りたい」の隊員を増やす等）を充実する
- マンションならではの見守りを進める



▲「み守りたい」バッジ



▲幸ヶ谷地区「み守りたい」研修会

## 目標 2

### 地域のつながりを広げよう、深めよう

#### 【具体的な取組内容】

- サロン、講演会など、誰もが自分の興味にあわせて気軽に参加できる場、顔を合わせる機会を増やす
- これまでの取組を活かし、地域の垣根を超えた行事等（お祭りなど）を継続し、内容を充実させる
- マンション・戸建てを問わず新しい住民が地域に関心を持ち立ち寄れる居場所をつくり、声かけしていく



▲とん汁大会



▲幸ヶ谷地域まつり

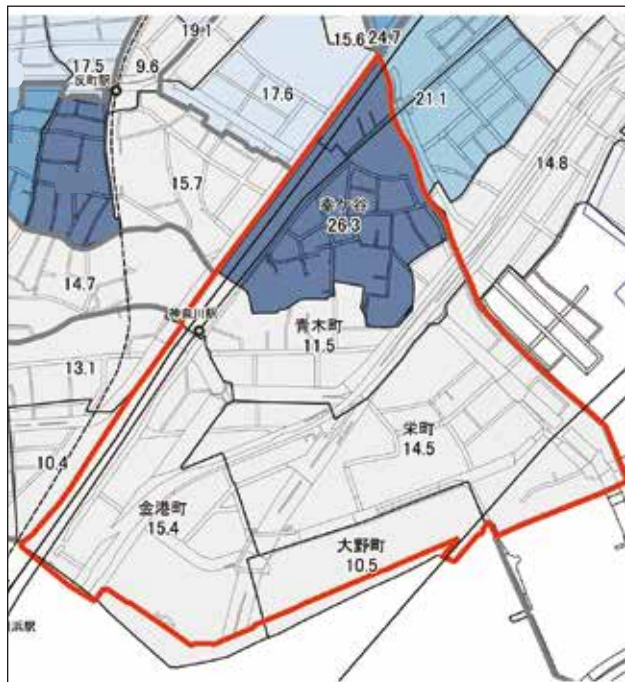
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

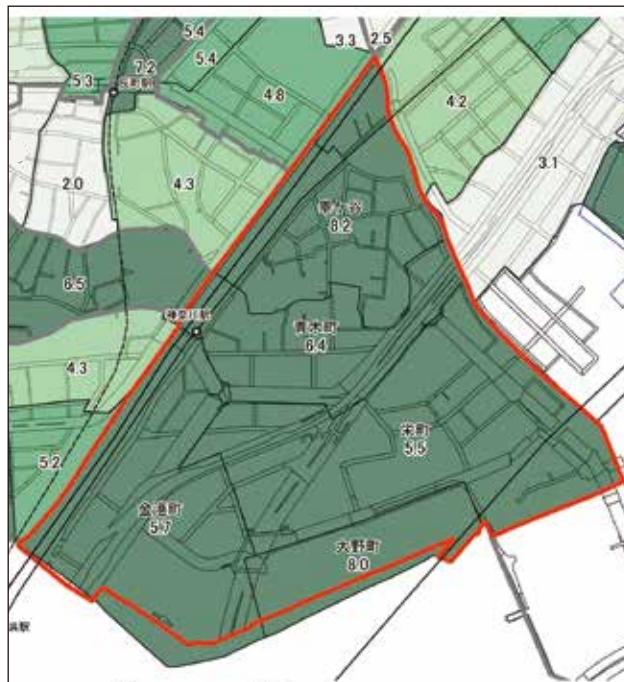


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

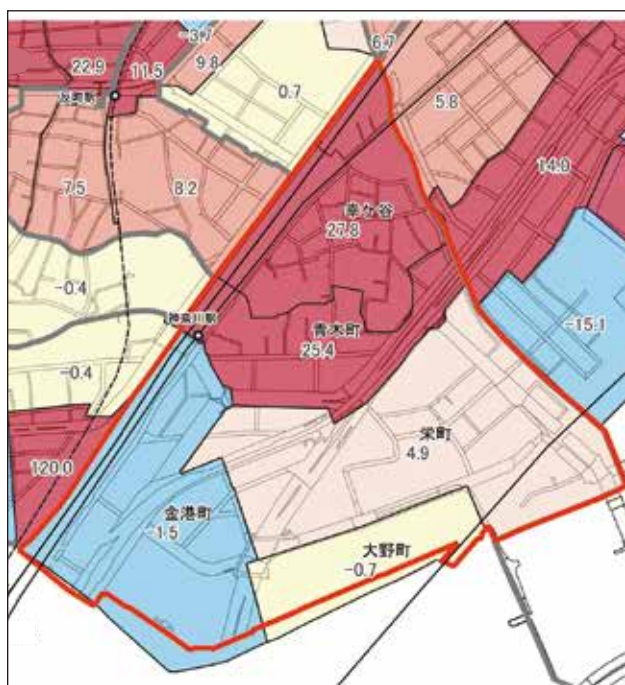
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



### 幸ヶ谷地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 向う三軒両隣 笑顔のあふれるまち神西 ～信頼・つながる・お互い様～

- 神奈川区役所
- 地区センター・公会堂・集会所等
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

JR東神奈川駅の西側に広がる地区です。地区内で国道1号と横浜上麻生線が交差しています。駅前や幹線道路の沿道には、商業施設、病院、専門学校があり、マンションも多い地域です。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神西地区	神奈川区
総人口	6,378人	241,561人
0～14歳	594人(9.3%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	4,578人(71.8%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	1,206人(18.9%)	53,136人(22.0%)

	神西地区	神奈川区
総世帯数	3,909世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.63人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	465世帯 (11.9%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組と今後に向けて

### これまでの取組

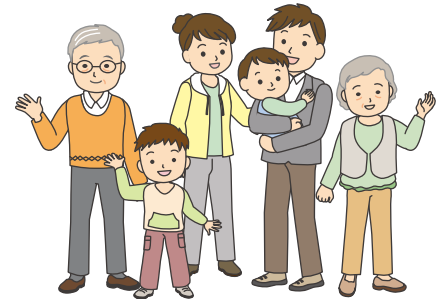
神西地区では、災害時の要援護者への支援、防災訓練、高齢者が気楽に参加できるサロンの運営、支え合いマップの作成、ふれあい活動を通して地域の見守りを広げてきました。また、マンションなどへ町内会加入の働きかけ、住民が交流できる行事(バス旅行、グラウンドゴルフ大会、ウォーキング等)を行ってきました。

### これからに向けて

私たち神西地区は、鉄道駅が近く商業地域や病院があり、利便性が良い地域です。また、長く居住する高齢者が多い一方で、若い世代の転出入が多いことが特徴です。

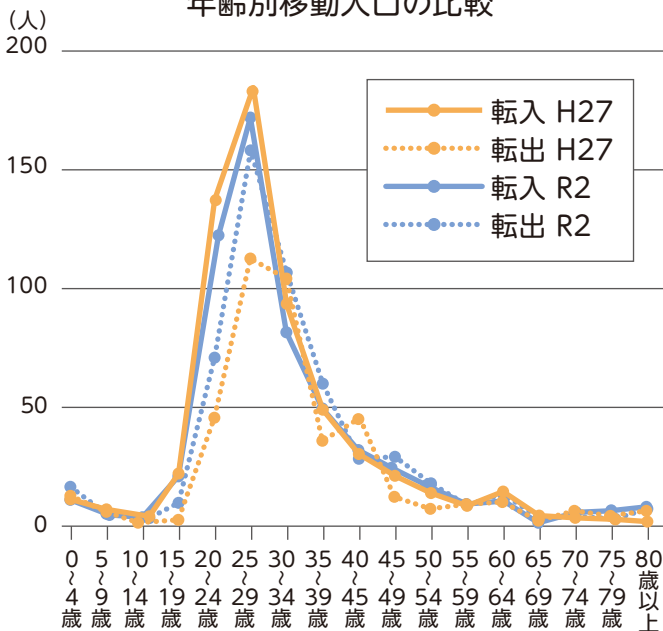
様々な地域の課題に対応するためには、互いに必要な情報を伝え合える関係となるように、普段からの関わり・関係づくりを進めていくことが重要と考えます。そのため、今までの取組を継続するとともに、新しい住民や若い人たちに町内会の情報を届けるためホームページを作成し広報活動を活発にします。また、緊急事態に対応するインターネット環境を構築し、非接触型の会議(ZOOM等)を活用します。

これらの環境整備を進めるための講習会等の実施を通して、顔の見える関係づくりを進めて、安心して安全な笑顔のあふれるまちを目標としていきます。



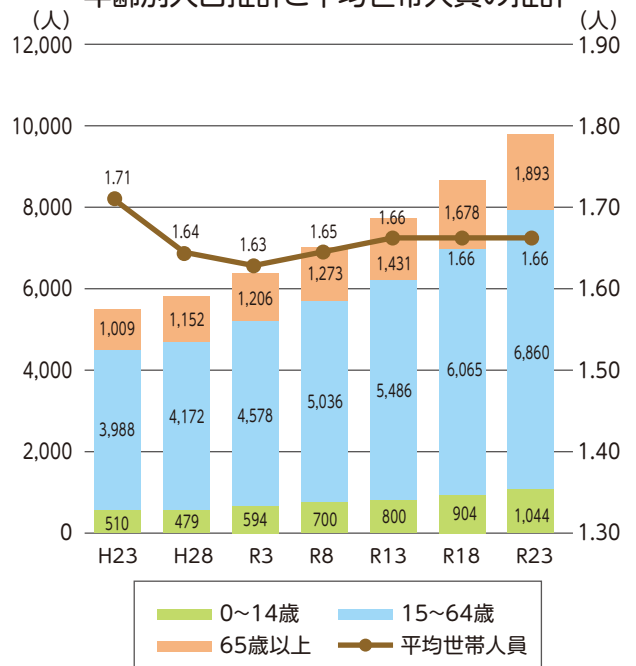
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 向う三軒両隣 笑顔のあふれるまち 神西 ～信頼・つながる・お互い様～



▲東神奈川駅 1968年



▲2021年

## 目標① 安全・安心な街づくり(防災・防犯)

### 【取組内容】

- 防災訓練に多くの人に参加してくれる工夫を行うとともに、一人ひとりの防災意識・共助の意識を高める。
- 災害時通信環境の整備を進める。(インターネット等)
- 防犯パトロールを行い、まち全体の犯罪抑止を行う。



## 目標② いつまでも誰でも地域で住み続けられる街づくり(高齢者などの見守り)

### 【取組内容】

- 地域福祉の担い手を増やし、リーダーのもとチーム一体になり行動していく。
- 普段からの見守りのため、各町内会で支え合いマップの更新を行う。
- サロンや食事会を活用して、見守り・支え合いの輪を広げる。



## 目標③ 子どもから大人までみんなで参加する街づくり

### 【取組内容】

- 町内会の役割や活動を理解してもらうためのホームページを作成しPRを行う。
- 地区内のマンションに対しイベント等の参加を促進し町内会活動の理解を深める。
- 地区内の数多くの学校なども含め、若い人も地域活動に参加しやすくなるようなイベント等を企画し、顔の見える関係づくりを進める。
- 子ども会と連携した取組を拡充し、地域内の多世代間の交流、つながりの場を広める。



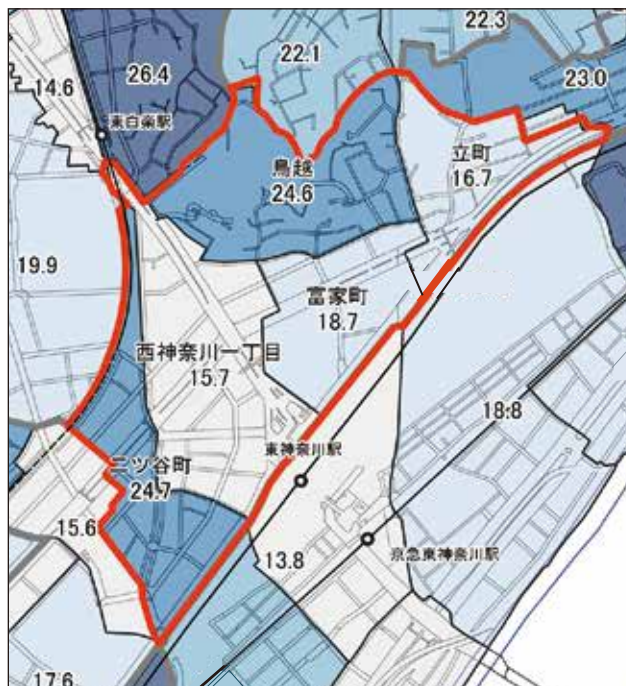
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

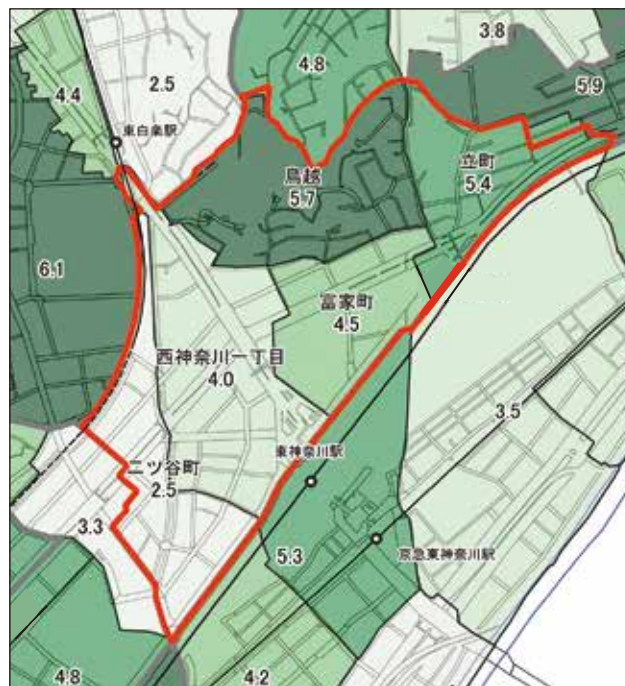


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

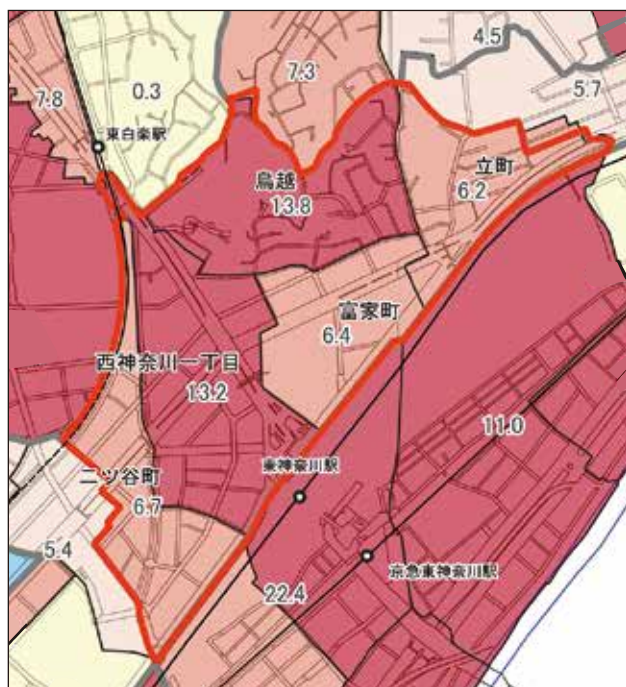
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- -1.4%未満
- -1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



### 神西地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# “みんなが”つながりあって、 安心なまち 浦島丘

- 地区センター・公会堂・集会所等
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校
  
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

斜面上にある住宅地です。区域の南側は国道1号線に接しています。  
戸建て住宅の他、県営住宅の団地などがあります。  
地区に近接して、京急線の子安駅、神奈川新町駅があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	浦島丘地区	神奈川区
総人口	1,664人	241,561人
0～14歳	222人(13.3%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	1,060人(63.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	382人(23.0%)	53,136人(22.0%)

	浦島丘地区	神奈川区
総世帯数	799世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.08人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	129世帯 (16.1%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組



浦島丘連合自治会  
田中 康治 会長

まちのつながりを大切に「夏祭り」や「クリスマスお楽しみ会」などを行っていますよ。令和元年度にはまちのみんなの趣味を披露する「作品展」を初めて開催し、子どもたちを含め、幅広い年代からの出展がありました！



浦島丘連合自治会  
塚田 國男 副会長

毎年浦島小学校で実施する「防災訓練」では、子どもたちが楽しいと感じられるような企画を考えています。



浦島丘地区社会福祉協議会  
前原 郁子 会長

浦島丘中学校生を対象に、高齢者の疑似体験ができる「福祉体験」なども行っています。



神西浦島丘地区  
西山 智香 主任児童員

近隣地区の主任児童委員と協力し、「子どもおたのしみ会」を開催しています。みんな、遊びにきてね！



▲「夏祭り」



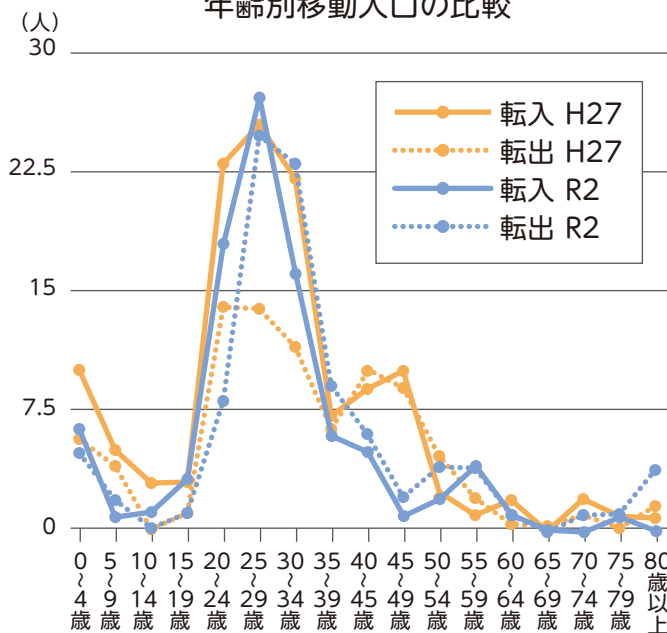
▲「趣味の作品展」



▲「子どもおたのしみ会」

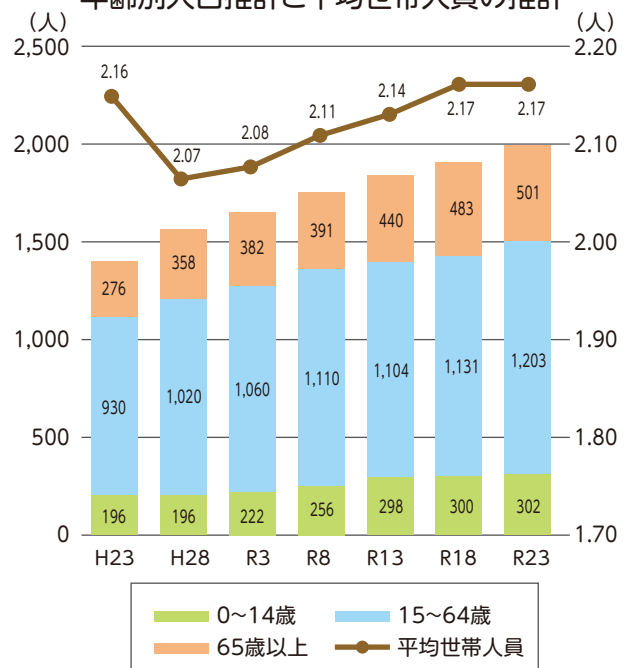
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



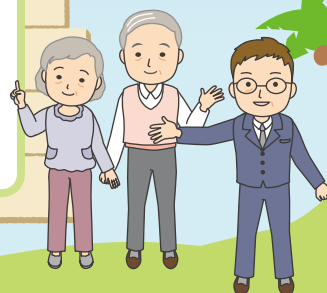
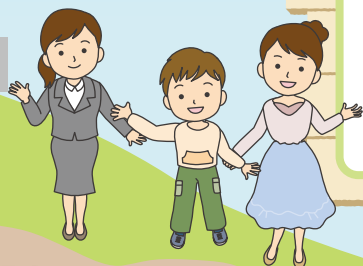
※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# “みんなが”つながりあって、 安心なまち 浦島丘

## こんな浦島丘って、いいな

- ①誰もが安心して暮らせるまち
- ②災害に強く安心なまち
- ③誰もがつながりあうまち



### 帆1(目標①)

住民同士で支え合える  
仕組みづくりや、  
誰にでもできる“気づき”と  
“見守り”活動をすすめます!

- 身近な場所で集える場や機会をつくり、顔見知りの関係を広げていきます。
- 挨拶や声掛けなどを行うことで、ご近所のことを気に掛け合う関係をつくります。
- 子ども会やかめっ子への参加を呼びかけるとともに、子どもたちが安心して集える機会や場所をつくります。

### 帆2(目標②)

防災・減災体制を強くし、  
防災意識を高める  
取組をすすめます!

- 浦島丘地区防災・減災対策委員会の取組を継続します。
- 災害が起きたときにお手伝いが必要な方を支援するための体制づくりを検討します。
- 防災に対する住民の意識を高めるために勉強会や研修会などを実施します。

### 船体(目標③)

子どもから高齢者まで、浦島丘で暮らす全ての住民がつながるための工夫をします!

- 防災訓練に子どもが楽しむ企画を盛り込むなど、子どもや子育て世代が行事に参加したくなる工夫を行います。
- 小・中学生がまちの活動に参加できるよう、学校に働きかけを行います。
- 行事やイベントを行う情報は、口コミ・ポスティング・SNSなど、様々な伝え方を工夫し、たくさんの住民が参加できるようにします。

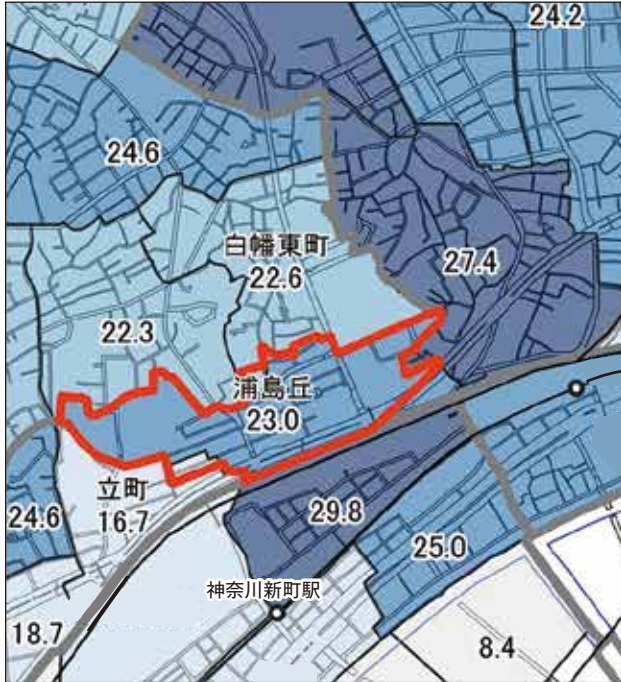
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

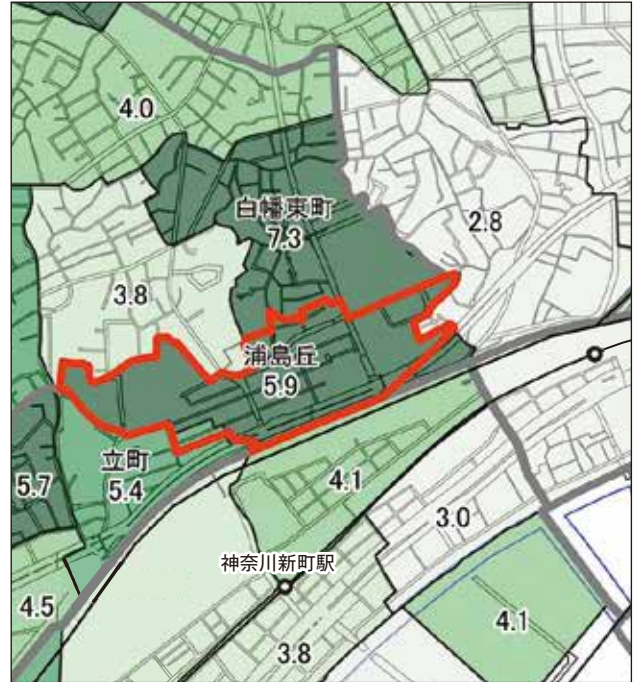


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減  
↑  
↓  
人口増



### 浦島丘地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

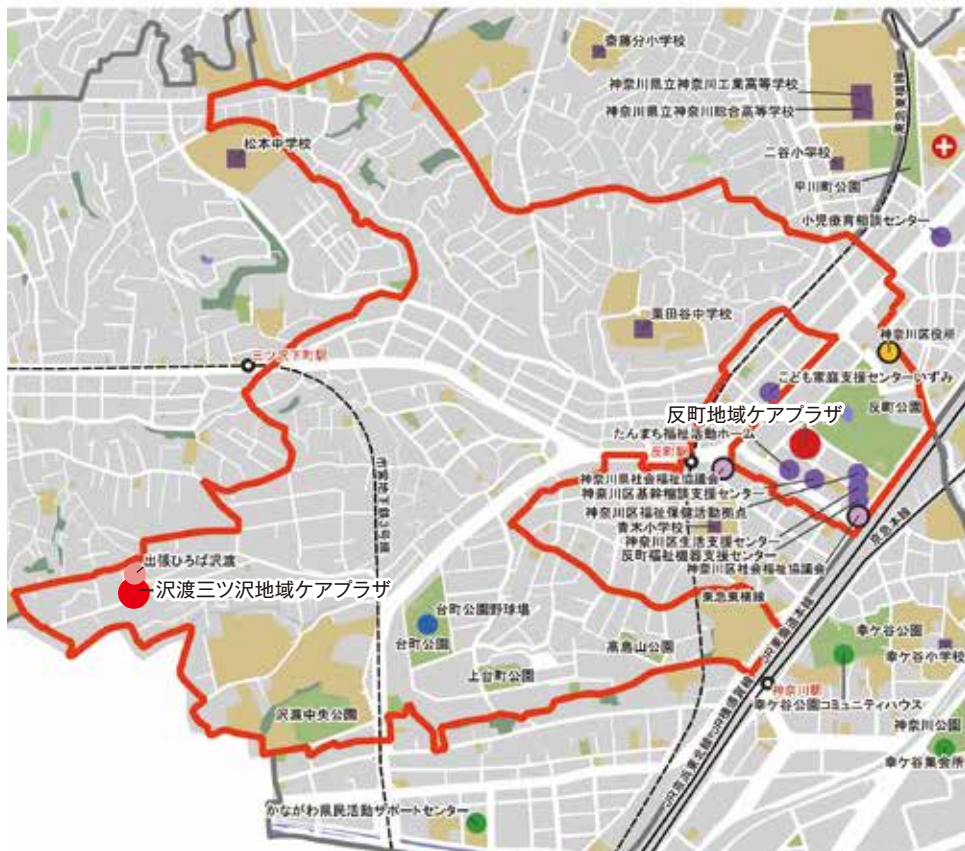
※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 緩やかなつながりで 様々な人が地域で支え合うまち 青木第一

- 神奈川区役所
  - 社会福祉協議会
  - 地区センター・公会堂・集会所等
  - スポーツ施設
  - 地域子育て支援拠点
  - 病院
  - 地域ケアプラザ
  - 福祉施設
  - 小学校
  - 中学校
  - 公立高校
- 
- 樹林地
  - 農地・農業施設用地
  - 都市公園
  - 文教厚生用地



## 地区概要

横浜駅に近く、地区に隣接して東急東横線反町駅、京急線神奈川駅、市営地下鉄三ツ沢下町駅があります。丘の上は戸建て住宅が多く、幹線道路の沿道や公園の周辺には集合住宅も立地しています。地区の北部は、大規模震災時の火災の延焼拡大抑止に向けた対策が必要な地域とされています。地区内には反町公園、台町公園、沢渡中央公園などの公園があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	青木第一地区	神奈川区
総人口	17,283人	241,561人
0～14歳	1,870人(10.8%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	11,995人(69.4%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,418人(19.8%)	53,136人(22.0%)

	青木第一地区	神奈川区
総世帯数	9,693世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.78人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,269世帯 (13.1%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組とこれからに向けて

東急反町駅周辺の商業地から、栗田谷、松ヶ丘、高島台等の丘陵地にある住宅まで、さまざまな表情を見せる地域です。



この地域では、高齢者の交流を目的としたサロン活動やふれあい訪問、自治会町内会を中心とした地域住民による援護が必要な方への見守り、「学援隊」「すすくかめっ子」での子ども世代との世代間交流などが積極的に行われています。「ふれあいコンサート」や「グラウンド・ゴルフ大会」を通じて障がいのある方との交流も活発です。

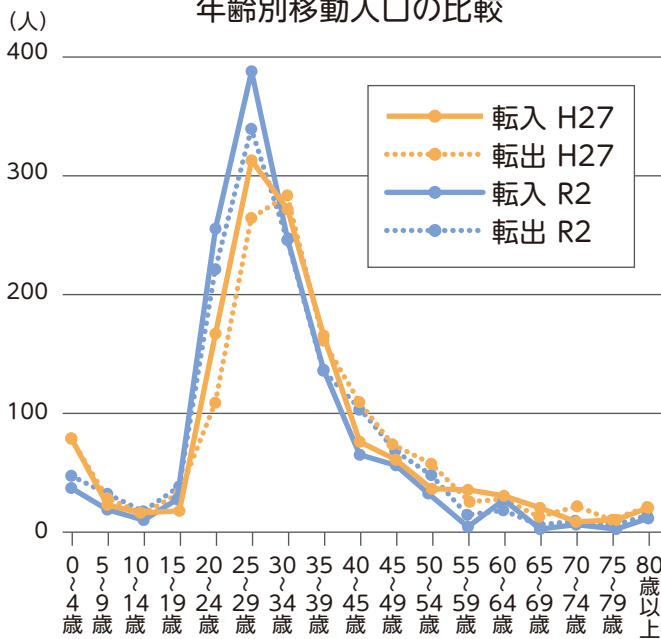


今後は、災害や感染症流行時の助け合い、緩やかに誰もがつながれる場づくり、子どもや若い世代、新しい住民との交流の機会拡大と、更なる地域の一体感の強化をすすめていきます。



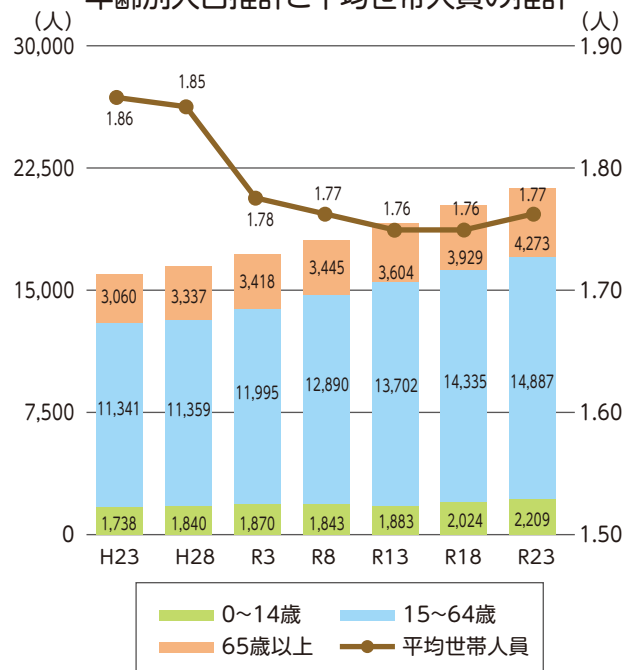
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 緩やかなつながりで 様々な人が地域で支え合うまち 青木第一

目標

1

日常的な見守り・  
支え合いから災害にも強く、  
安全・安心な町をつくろう

## 取組内容

- 地域情報や援護の必要な方の情報を共有できる機会を増やす
- 声かけ・あいさつ運動や防犯パトロールなどを通し、安全・安心なまちをつくる
- ふれあい訪問活動を強化、拡大する
- 援護の必要な方の見守り、助け合いのため、多くの人がかかわる機会をつくる
- 災害時の支援情報や避難ルートなどを、地域住民で共有する
- 災害時や感染症流行時など、どんな時でも相手を思いやり、助け合えるまちをつくる



目標  
2

緩やかに  
つながれる場や  
きっかけをつくろう

## 取組内容

- サロンやお楽しみ会など、地域の中で交流できる居場所を増やしていく
- 町内会同士の交流の機会を確保する
- 「ポッチャ大会」などを通じ、町内会、老人会、子ども会、福祉関係団体など、様々な団体の交流の場を設ける
- 地域のイベントなどへの参加から、段階的に担い手を育成する
- 子ども会を通じて、親との交流機会を拡大し、担い手を確保する



目標

3

子どもや若い世代が  
地域に愛着をもち、自由に  
意見を言い合える場をつくろう

## 取組内容

- 高齢者と子どもなど、異なる世代との接点を段階的に設置する
- 地域活動を継続して担える機会を確保する（子ども会卒業後のかかわりや青年部など）
- 女性の力やネットワークを活かし、親子の集いの広場「すすすくかめっ子」の輪を拡大する
- 子育てへの関わりから、地域を知り、顔見知りの機会を拡大する
- 子どもや若い世代に町の歴史を伝え、地域へ関心・愛着をもってもらう



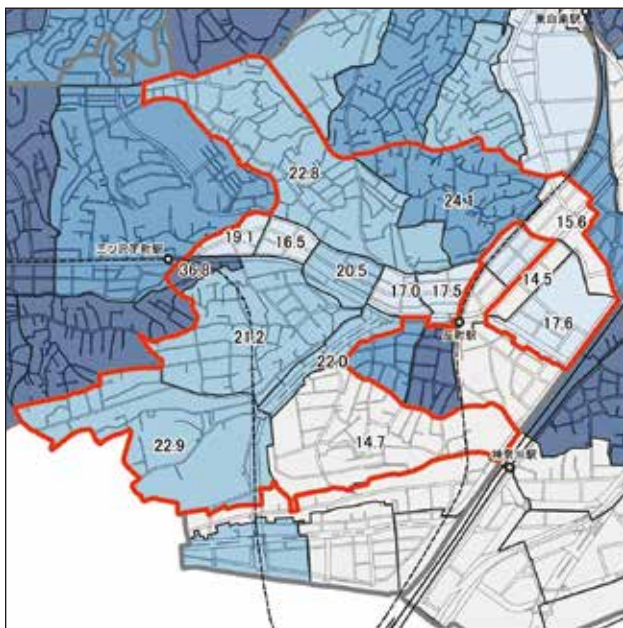
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上



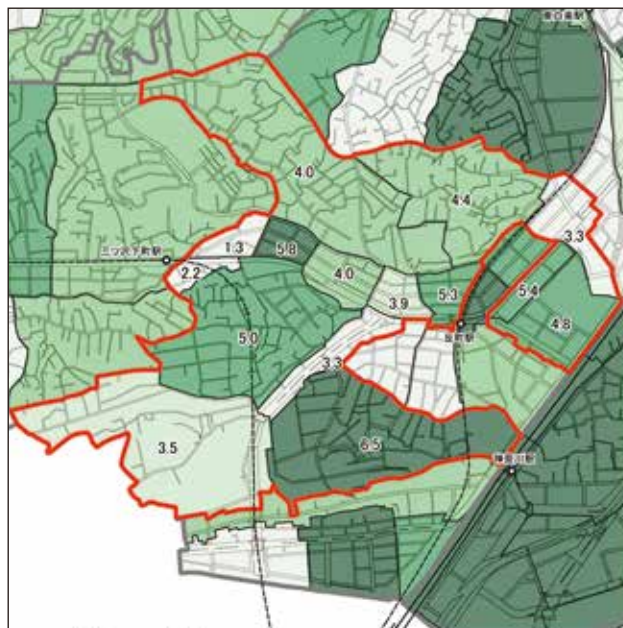
※町名は、人口増加率の地図を参照ください。

### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



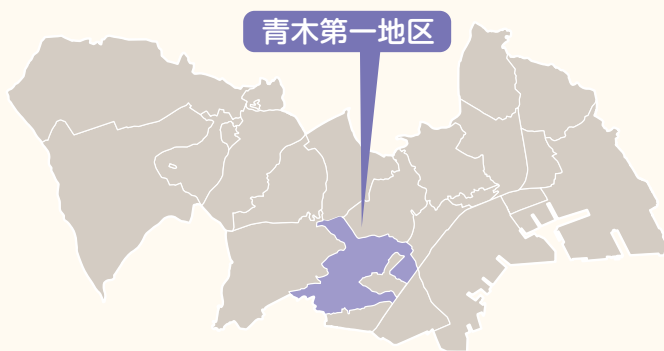
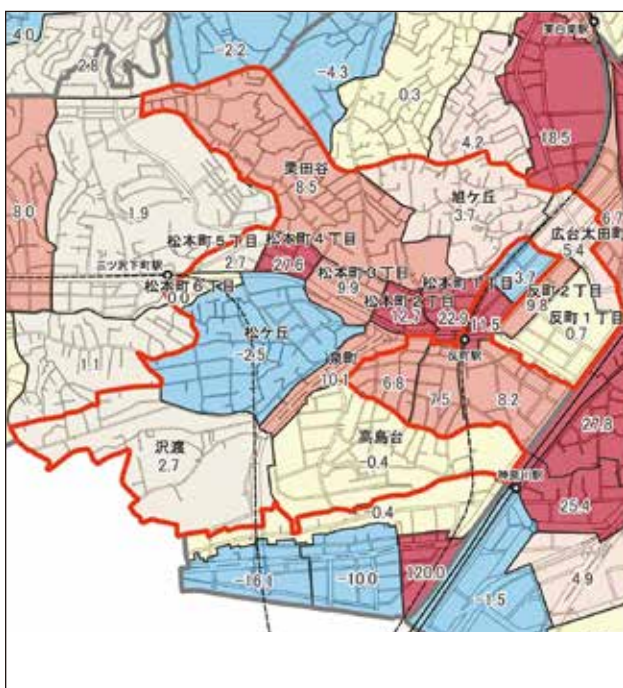
※町名は、人口増加率の地図を参照ください。

### 人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 防災を通じた 世代間交流のまち 青木第二

- 神奈川県役所
  - 社会福祉協議会
  - 地区センター・公会堂・集会所等
  - スポーツ施設
  - 地域子育て支援拠点
  - 地域ケアプラザ
  - 福祉施設
  - 小学校
  - 中学校
- 
- 樹林地
  - 農地・農業施設用地
  - 都市公園
  - 文教厚生用地



## 地区概要

地区内を東急東横線が通っています。

区域は南北に分かれており、北側は反町駅周辺の起伏のある丘の上の住宅地で戸建住宅が多くなっています。南側は、横浜駅に近く、幹線道路環状1号線沿道の市街地で共同住宅が多くなっています。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	青木第二地区	神奈川区
総人口	6,081人	241,561人
0～14歳	595人(9.8%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	4,460人(73.3%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	1,026人(16.9%)	53,136人(22.0%)

	青木第二地区	神奈川区
総世帯数	3,664世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.66人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	419世帯 (11.4%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組とこれらに向けて

東日本大震災の一年前より「世代間交流」をテーマに活動してきました。震災後は防災訓練を通じた見守り活動と世代間交流を毎年積み重ねてきました。

- 安否確認訓練
- 物資運搬訓練
- 親子で参加できる災害体験
- 防災マップづくり(全戸配布)
- 見守り希望世帯アンケート調査

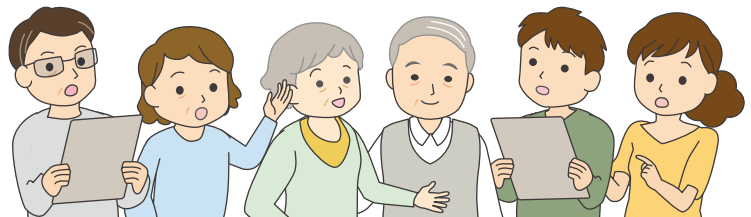


▲安否確認訓練

訓練は日頃の見守り活動を推進するふれあい活動員の皆さんも一緒に行い、災害時に備えた日頃の顔つなぎの機会となっています。

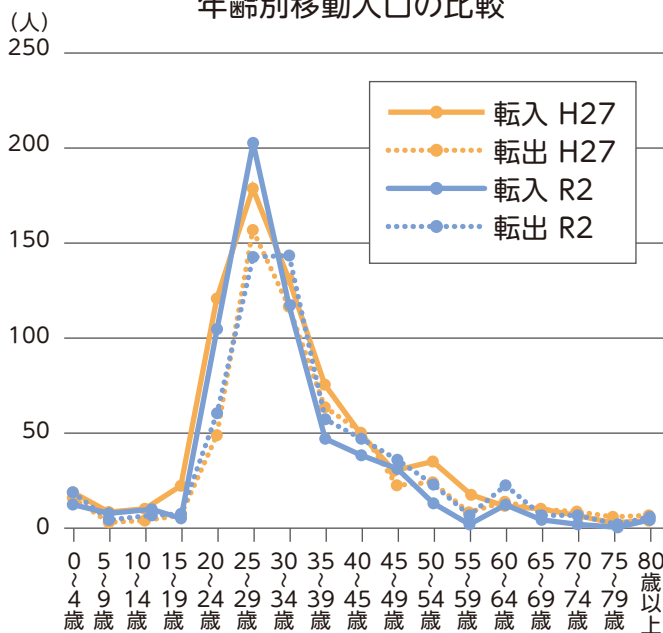
核家族化が進む時代だからこそ、町内で家族のように支えあえるまちづくりを目指します。

そのためにこれからの地区を支える若い世代に、災害時の備えや日頃からの見守りの大切さについて、よりいっそう伝えていきたいと考えています。



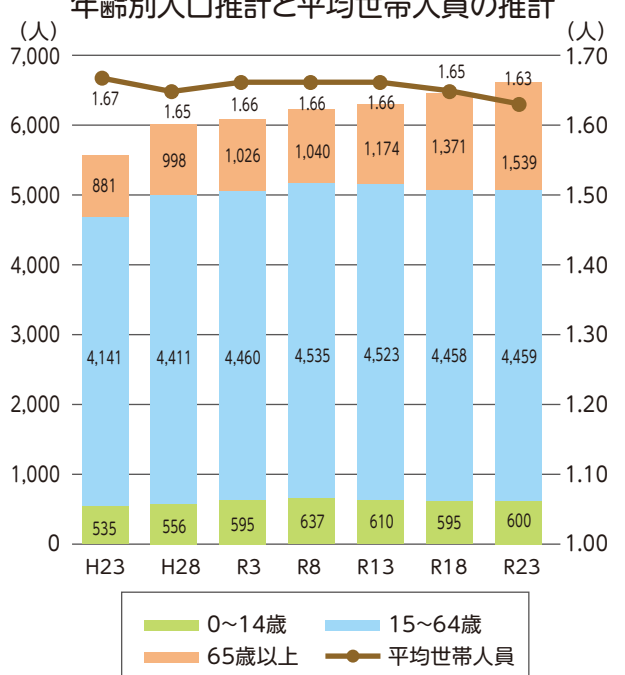
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# 防災を通じた 世代間交流のまち 青木第二



## 目標① (平常時の取組)

### 見守りを進めよう

#### 具体的な取組

- 見守り希望世帯アンケート調査を再実施します。
- 見守りが必要な高齢者等と連絡を取り、顔を合わせる機会を増やし、コロナ禍でも3密を避けた集う場を作る等、外出する機会を作っていきます。
- 世代に関係なく自由に参加できる場を広めていきます。公園清掃など屋外活動を通じた世代間交流の機会を増やします。



▲福祉のつどい



▲反町公園での盆踊り



▲地域防災拠点での訓練



▲防災訓練で物資を仕分ける様子

## 目標② (災害時の取組)

### 災害時を想定した取組を進めよう

#### 具体的な取組

- 食料等の備蓄の呼びかけや継続した防災情報の提供により、住民の防災への関心を高めます。
- 災害時に迅速かつ的確な行動ができるよう、具体的な状況を想定した安否確認訓練を実施します。また、訓練をとおして見守る世帯の数を増やします。
- 安否確認訓練や地域防災拠点などで行われる防災訓練に小学生等、幅広い世代の住民の参加を促します。

## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

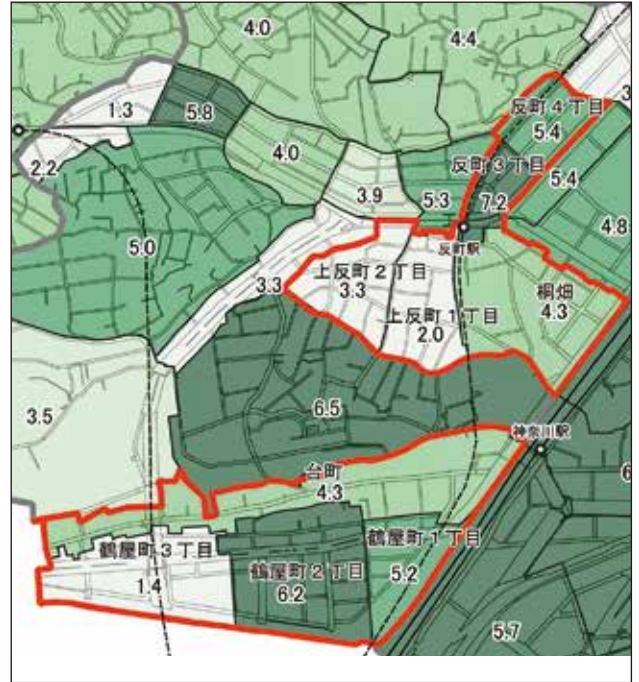


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

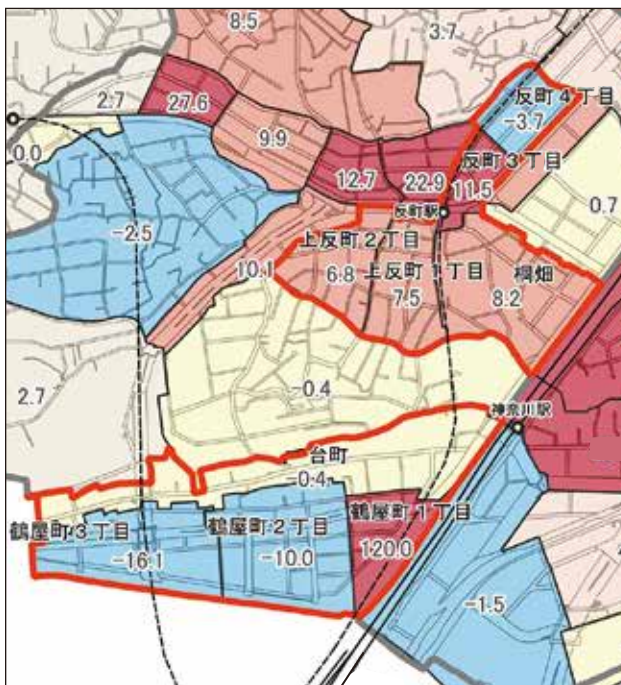


### 人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- -1.4%未満
  - -1.4%以上~0.8%未満
  - 0.8%以上~3.1%未満
  - 3.1%以上~5.8%未満
  - 5.8%以上~10.2%未満
  - 10.2%以上
- ↑ 人口減  
↓ 人口増



### 青木第二地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁目別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号



## これまでの取組と今後に向けて

お花見会、ふれあい交流会の旅、納涼祭、夏祭り、運動会、社会福祉大会、せせらぎ緑道の清掃、ハロウィン、グラウンドゴルフ大会、紙飛行機大会、身近な交流の場「地域カフェ」の運営、子育て支援「すくすくかめっ子」の開催、登下校の見守り、支え合いマップの作成、子ども食堂・みんなの居場所「ふれあいっこ三ツ沢」そしてちよいポラなど、地域で様々な活動が展開されており、あるアンケート調査では87%の人が住みやすいと答えている、住民評価の高い地区です。

一方で、より良い地域づくりを目指して各世代が活発に多様な活動を育み、継続して取り組んでいます。参加者・担い手が固定化される傾向にあります。



▲三ツ沢ハロウィン



▲せせらぎ緑道愛護会

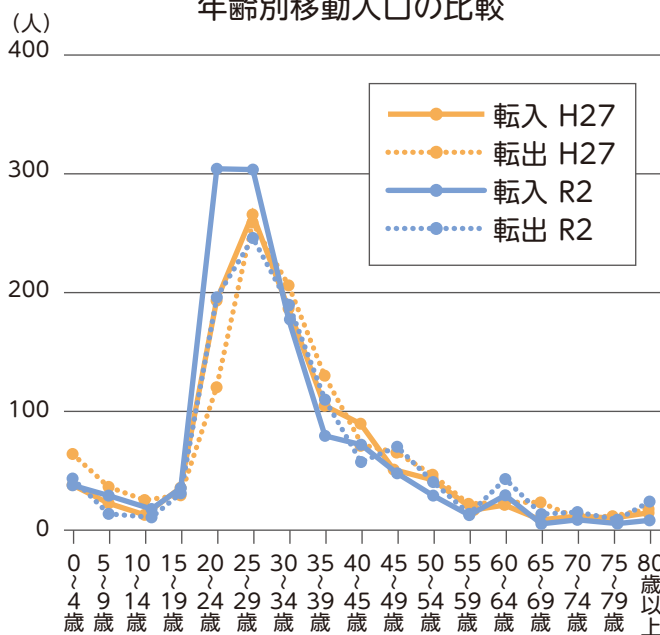


▲クリスマス会

第4期では、更に「つながりを広げる地域づくり」「顔の見える関係づくり」を進めます。お互いが一人ひとりの多様な生き方に関心を持ち、新たな課題へ対応し、「どうしたの?」「お手伝いしましょうか?」と声掛けできる地域づくりを目指します。

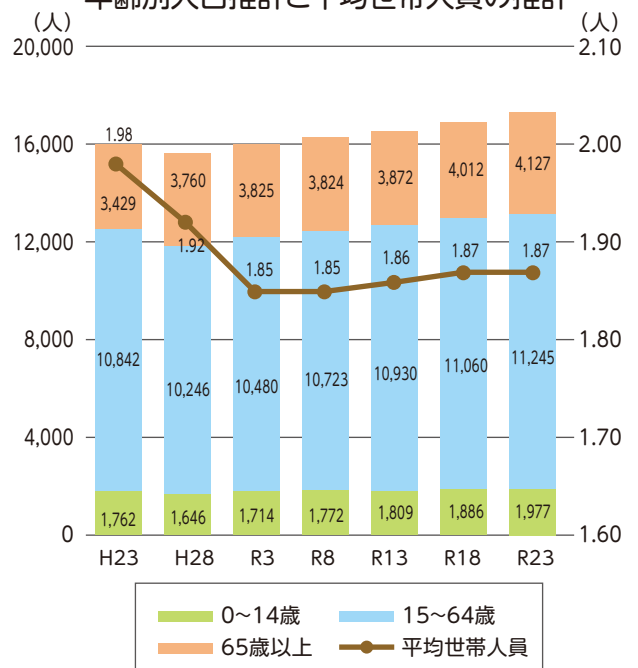
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 多世代の多様な人たちがゆるやかにつながって 一人ひとりが自分らしく暮らせるまち 三ツ沢



▲お楽しみ会(お花見)



▲お祭り



▲三ツ沢連合運動会

## 目標

### 1

誰もが孤立することがないよう、  
豊かな人生が送れる地域を目指そう

- ❖ 多様性のある生き方に関心を持ち、必要な人には支援を届けよう
- ❖ 様々な個性や考え方を認め、一人ひとりの尊厳を守る風土をつくろう
- ❖ 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指そう

## 目標

### 2

交流の機会を増やし、  
つながりのある地域をつくろう

- ❖ 三ツ沢地区全体でみんなが参加できるイベントを工夫しよう
- ❖ 近隣同士が関心を持ち交流の機会を増やそう
- ❖ 町内会活動だけでなく、社会福祉法人、医療法人、企業との連携をはかろう

## 目標

### 3

子どもを大切に、すべての子どもが  
その子らしく育つ環境をつくろう

- ❖ 地域、家庭、学校、行政が連携して子どもの今と未来を見守ろう
- ❖ みんながワクワク楽しめるような各種イベントをつくろう

## 目標

### 4

災害時の災害支援体制の  
仕組みをつくろう

- ❖ 三ツ沢地区全体の防災体制づくりに取り組もう
- ❖ 防災訓練を定期的に実施し、意識を高めよう
- ❖ 災害時に多世代が協力して活動する仕組みを工夫しよう
- ❖ 高齢者、障害者など援護が必要な人との関わりを強めよう



▲三ツ沢福祉大会



▲避難場所運営訓練



▲グラウンドゴルフ大会

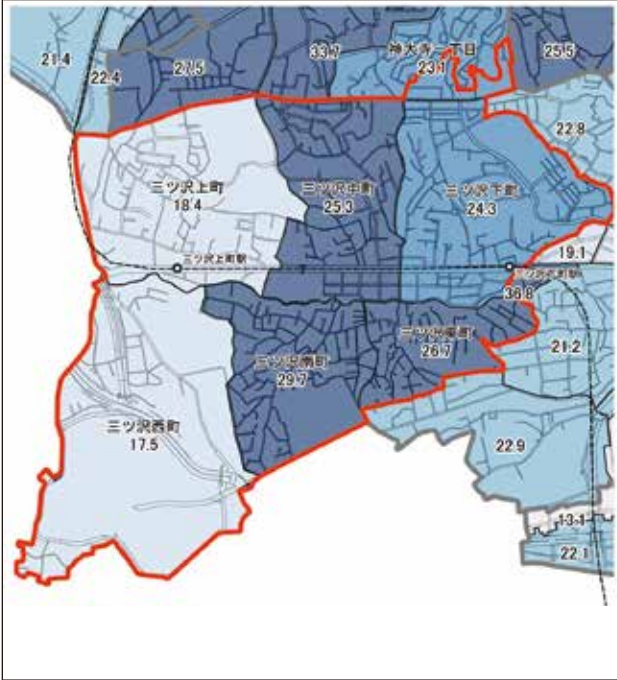
地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

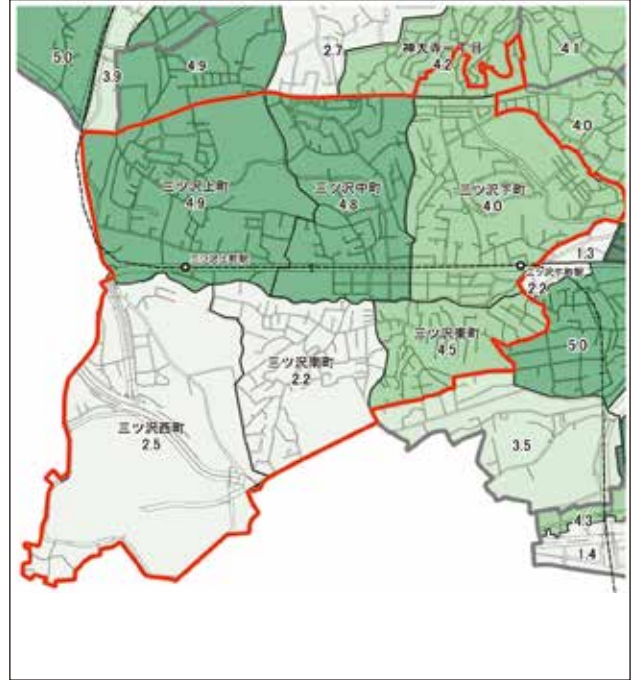


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

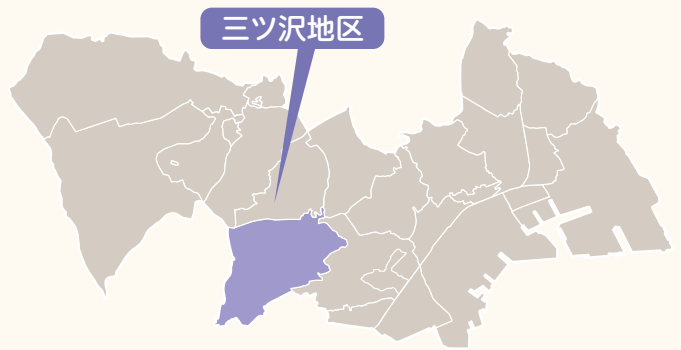
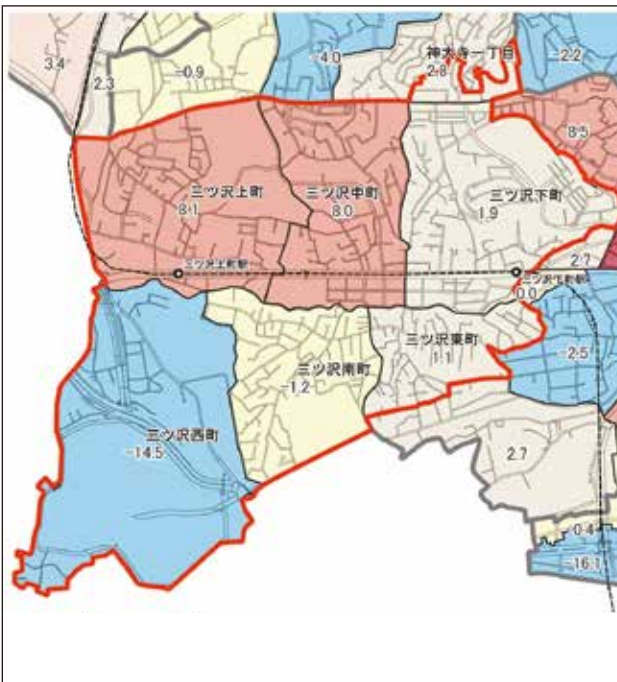


人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# みんなが「共に生きる」まち 神北

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

地区全体が起伏のある丘となっています。

幹線道路横浜上麻生線や東急東横線が南北を縦断しており、白楽駅や東白楽駅が地区内に位置しています。

戸建て住宅が多い地区ですが、小規模な共同住宅もみられます。

北部には商店が、南西部には神奈川県立工業高校の他、教育施設が多い地区です。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神北地区	神奈川区
総人口	11,208人	241,561人
0～14歳	1,100人(9.8%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	7,588人(67.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,520人(22.5%)	53,136人(22.0%)

	神北地区	神奈川区
総世帯数	6,542世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.71人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	913世帯 (14.0%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

連合を中心とした「神北地区エリア全体」での取組のほか、幹線道路横浜上麻生線を挟んだ「山側」と「平地側」で、地形によるまちの特性をふまえて、各町内会が中心となって様々な取組を行っています。

### 山側エリアの取組例

二本榎自治会、斎藤分町北部自治会、斎藤分町南部町内会、中丸町内会

- 地域カフェ
- 地域食堂
- 体操教室
- 登下校パトロール
- 防災訓練 など



▲地域食堂「しきとららら」

※地理的な高低差のみにより、山側と平地側に区別しています。

### エリア全体の取組例

- ふれあい大運動会
- 防災フェア ● ふれあい活動
- すくすくかめっ子 など



▲「防災フェア」

### 平地側エリアの取組例

平川町北部町内会、平川町南部町内会、西神奈川二丁目町内会、西神奈川三丁目通り町内会、西神奈川三仲町内会、白楽町内会

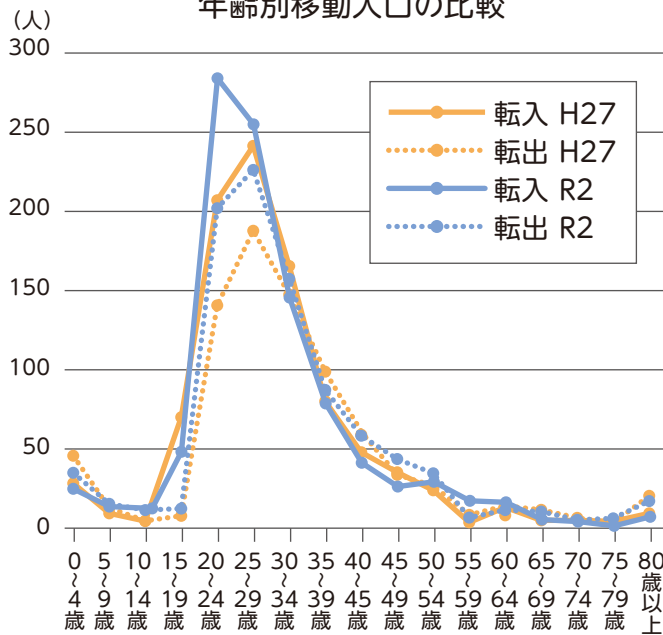
- 地域カフェ
- 町会広報紙の発行
- 健康麻雀 ● 防災訓練 など



地域カフェ「カフェ三仲」▶

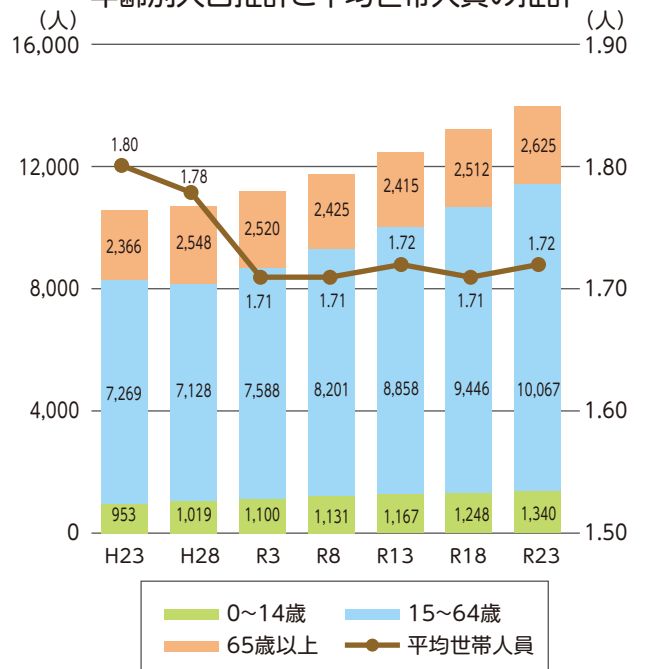
## 地区状況①

### 年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

### 年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# みんなが「共に生きる」まち 神北

## 目標①

いざというときに備え、これまで行ってきた取組を継続し、  
つながりの輪を更に大きくしていこう



### 【取り組むことの例】

- 誰もが孤立しないよう、ふれあい活動の取組を進めます。
- まち全体のイベントや、地域カフェ・地域食堂・体操教室など、誰もがいきいきと集える場を広げていきます。
- こども・学生・働く世代・障がい者・高齢者・外国籍の方など、誰もが自分のできることを楽しんで発揮できる機会を増やしていきます。
- これまでの方法に加え、まちの情報を発信する新たな手段を考えていきます。 など



▲「ふれあい大運動会」で住民同士が楽しく交流



▲認知症の方に対して何ができるか、  
斎藤分小学校生が、神奈川大学生の劇を通じてお勉強



▲見守り活動について啓発「ふれあい活動員研修会」

## 目標②

地理的な困りごとをふまえて、誰もが暮らしやすい神北をつくろう

### 山側の町内会

#### 【取り組むことの例】

- 山坂などにより、外出や買い物が難しい住民の移動をお手伝いする取組を進めます。
- 「共に生きる」仲間として、エリア内にある神奈川大学と協力・連携します。 など



▲「中丸町内会お買い物シャトル」で買い物の移動支援(お店までの交通手段)

### 平地側の町内会

#### 【取り組むことの例】

- 日頃から挨拶・声掛けの実施などにより、マンションなど新たな転入者とまちとのつながりづくりを進めます。 など



▲若い働き世代が活躍する西神奈川二丁目町内会の「防災会議」

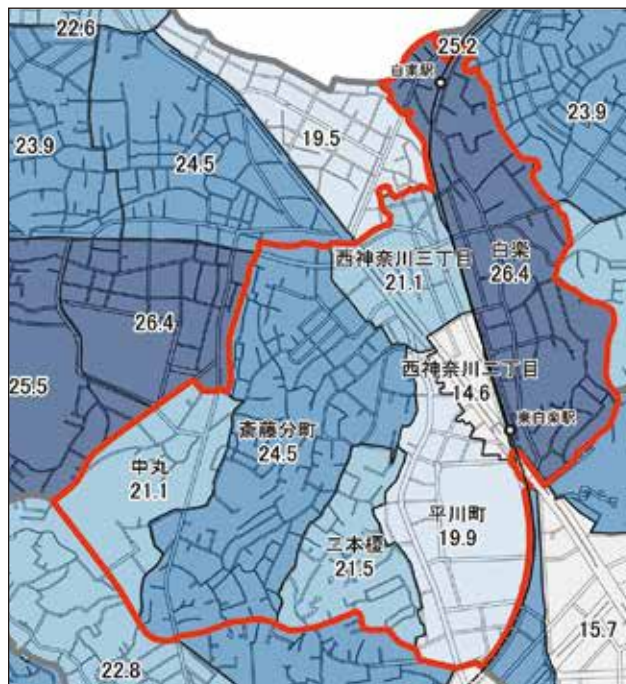
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

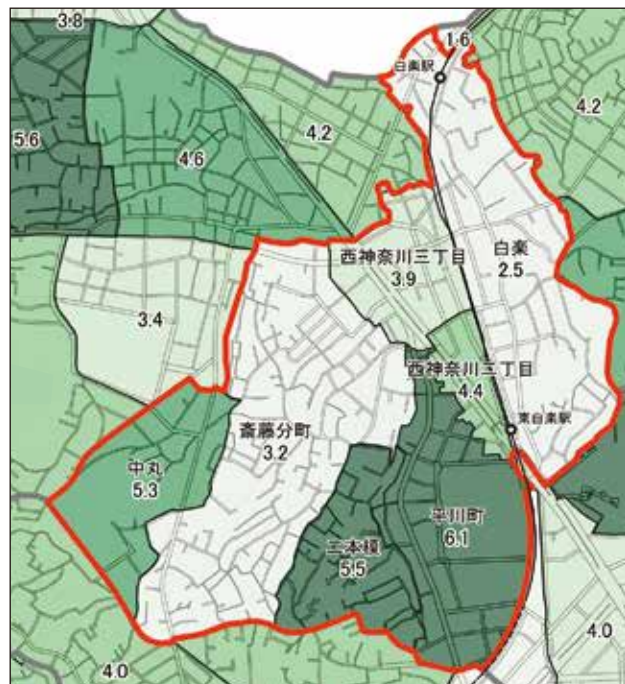


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

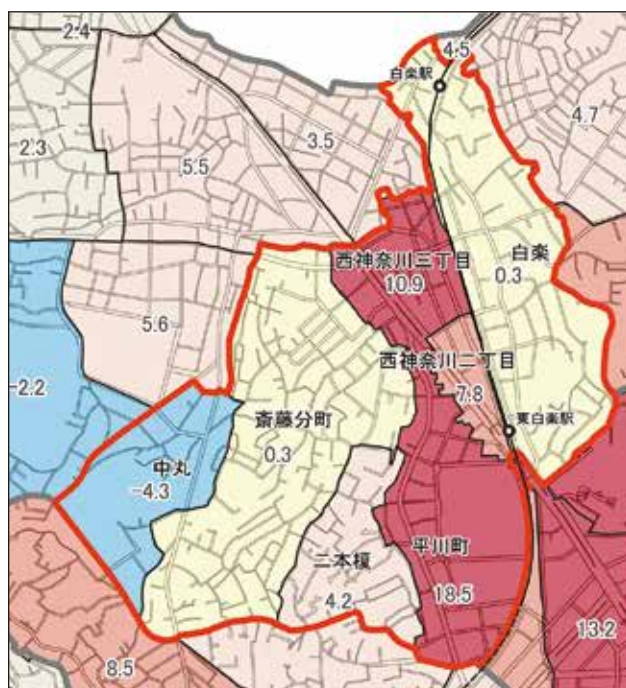


### 人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
  - 1.4%以上~0.8%未満
  - 0.8%以上~3.1%未満
  - 3.1%以上~5.8%未満
  - 5.8%以上~10.2%未満
  - 10.2%以上
- 人口減 ↑  
人口増 ↓



### 神北地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# おたがいさまでつなげる 六角橋

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

地区全体が起伏のある丘となっています。戸建て住宅が多いものの、地区を南北に縦断する幹線道路横浜上麻生線の沿道などには共同住宅もみられ、地区の北側には団地が形成されています。

地区の南側には神奈川大学や、東急東横線白楽駅から南西に伸びる六角橋商店街があります。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	六角橋地区	神奈川区
総人口	13,747人	241,561人
0～14歳	1,376人(10.0%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	9,143人(66.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,228人(23.5%)	53,136人(22.0%)

	六角橋地区	神奈川区
総世帯数	7,925世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.73人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,194世帯 (15.1%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

『おたがいさまでつなげる六角橋』を合言葉に、「①見守り」「②多世代交流」「③地域連携」「④防災」「⑤情報発信」「⑥担い手の育成・発掘」の六つの視点から、様々な取組を進めてきました。

特に第3期計画の期間であった平成28年度から令和2年度までの間では、各町と区役所が「災害時要援護者支援」の協定を締結するなど、発災時に備えて、日頃から住民同士の顔がつながらる取組を進めました。

また、「地域交流活動委員会」や「まち×学生プロジェクト」を中心とする様々な企画を通じ、まちの住民やまちにある各種施設の大きなつながりができました。



▲年齢に関わらず、まちで暮らす沢山の住民と神奈川大学生が大学を舞台に交流！（『六神祭』の様子）



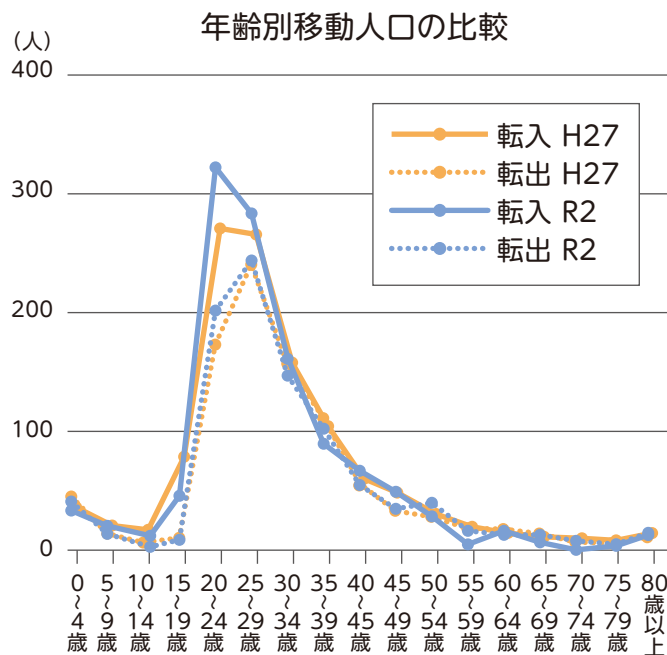
▲六角橋のまちの取組と、プロジェクトメンバーの想いが詰まった模造紙

## 地区別計画に込める想い

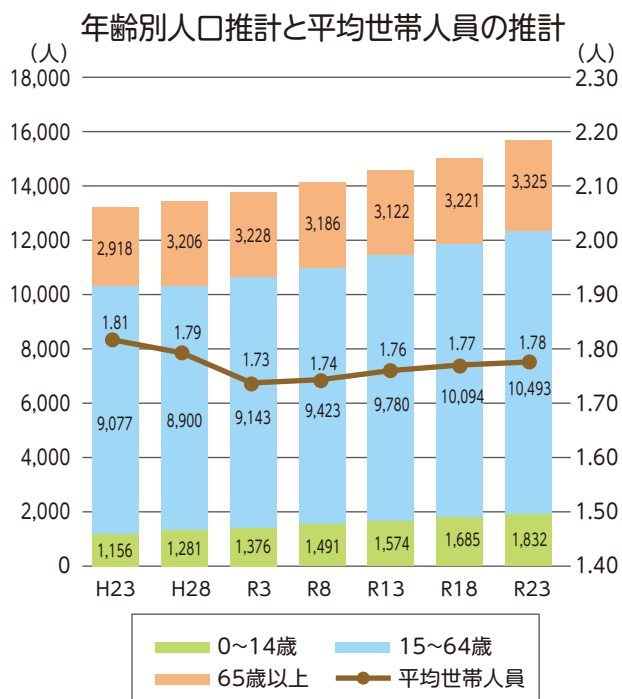
令和元年7月から各町内会の代表をメンバーとして六角橋地区支援愛プラン地区別計画策定プロジェクトを立ち上げ、「六角橋でいま何をしたら、町のみんなが喜んでくれるのか」を検討してきました。

今後は、六角橋で暮らすより沢山の人たちに「まちを知ってもらうこと」を大切にしていきたいと考えています。

## 地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# お た が い さ ま でつなげる、六角橋

## 今後のまちの姿①

第3期計画までの取組の芽吹きが、大きく花開く！

第4期計画で、  
具体的に行うこと

- これまでのまちの取組を継続していきます。
- まちで行っていることを、**六角橋のみんなに知ってもらいます。**



### 【見守り】

- ふれあい活動(誰にでもできる見守り活動)
- みまもり協力店 ● 地域カフェ
- 見守り隊、すくすくかめっ子など

### 【防災】

- 災害時要援護者支援
- 感震ブレーカーの設置
- 地域防災拠点参加者の拡充など

### 【多世代交流】

- 納涼会
- 春のバスツアー
- 作品展、交流フェスタ
- 防災ハロウィンなど

## 第3期計画での 六角橋地区 まちの取組

### 【情報発信】

- ホームページ制作委員会
- タウン情報紙の活用
- 回覧板、掲示板など

### 【地域連携】

- 神大マルシエ
- オレンジプロジェクト(認知症の啓発活動)
- キャンドルナイトなど

### 【担い手の育成、発掘】

- 人材マッチングモデル(担い手発掘のためのアンケート、交流会など)
- みんなの居場所 わいわいなど

## 今後のまちの姿②

**子どもたちが、  
六角橋をもっともっと好きになる！**

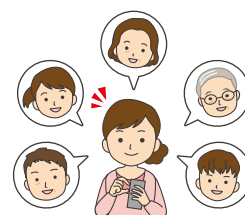


第4期計画で、  
具体的に行うこと

- まちの子どもたちが“外で元気いっぱい遊ぶ”ことのできる機会をつくれます。
- 身近な“みち”に愛称をつけることで、まちに愛着を持つきっかけにします。
- 子どもたちの“学び”を応援する機会をつくれます。

## 今後のまちの姿③

**まちの人や施設などが、  
新たに“まちづくり”につながる！**



第4期計画で、  
具体的に行うこと

- SNSの活用など、まちの中で新たな連絡伝達の手段を検討します。
- まちの会議の開催について、オンラインの活用や、実施時間の見直し、子ども連れの参加をOKとするなど、工夫します。

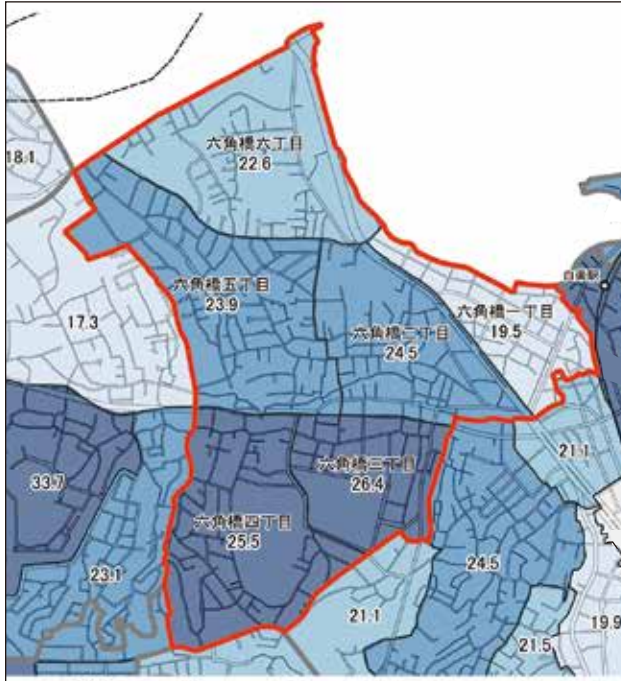
地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

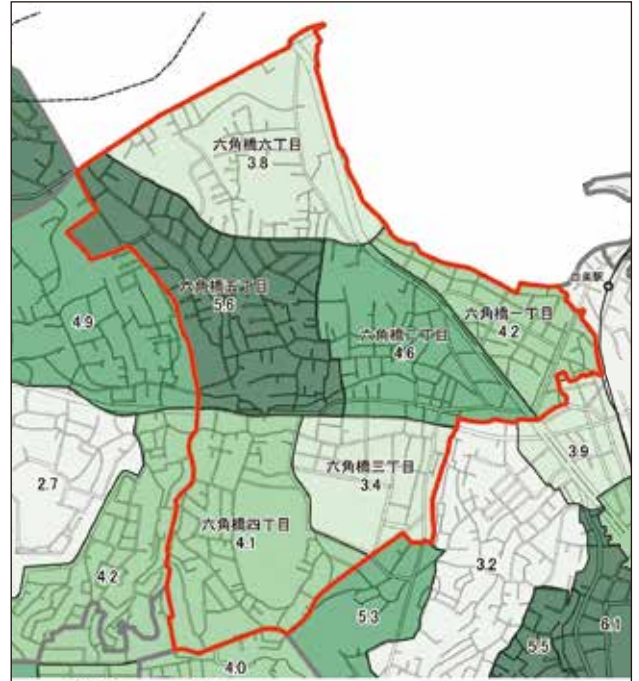


未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

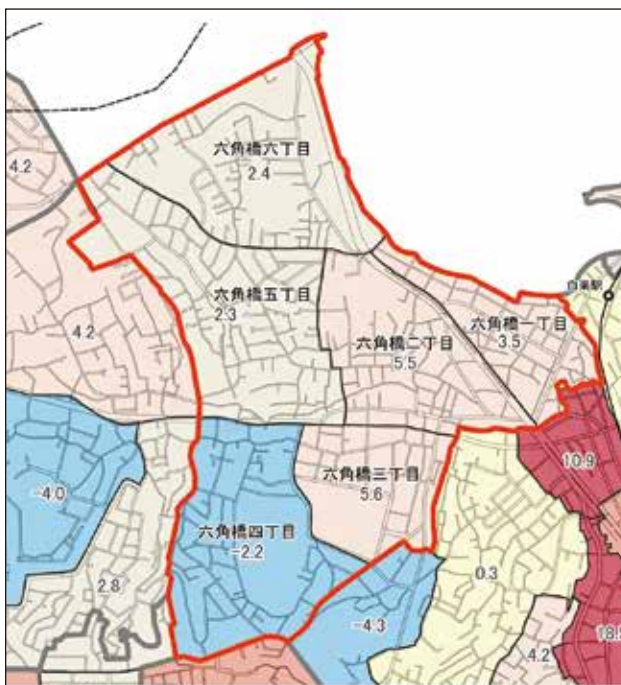


人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
  - 1.4%以上~0.8%未満
  - 0.8%以上~3.1%未満
  - 3.1%以上~5.8%未満
  - 5.8%以上~10.2%未満
  - 10.2%以上
- 人口減 ↑  
人口増 ↓



六角橋地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# つながり支え合うまち 神大寺

- 地区センター・公会堂・集会所等
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

起伏のある丘の上の住宅地です。戸建て住宅が多いですが、集合住宅も多くあります。

地区に近接して、市営地下鉄ブルーラインの片倉町駅があります。地区の北側には農地（市街化調整区域）があります。地区の南側には樹林地や神大寺中央公園があります。

地区の一部が、大規模震災時の火災の延焼拡大抑止に向けた対策が必要な地域とされています。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神大寺地区	神奈川区
総人口	13,326人	241,561人
0～14歳	1,411人(10.6%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	8,328人(62.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,587人(26.9%)	53,136人(22.0%)

	神大寺地区	神奈川区
総世帯数	6,875世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.94人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,169世帯 (17.0%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

神大寺地区では、各地域でさまざまな活動を通して、地域づくりが行われています。

### 目標1

### 心が通い合う 顔の見える関係づくり

- サロン活動 ● つくし会 ● グランドゴルフ大会
- 神ちゃん家(子どもの居場所づくり検討会)
- 神大寺ウォーク



▲神大寺ふれあいサロン

### 目標2

### 地域の特性にあった 安心して暮らせるまちづくり

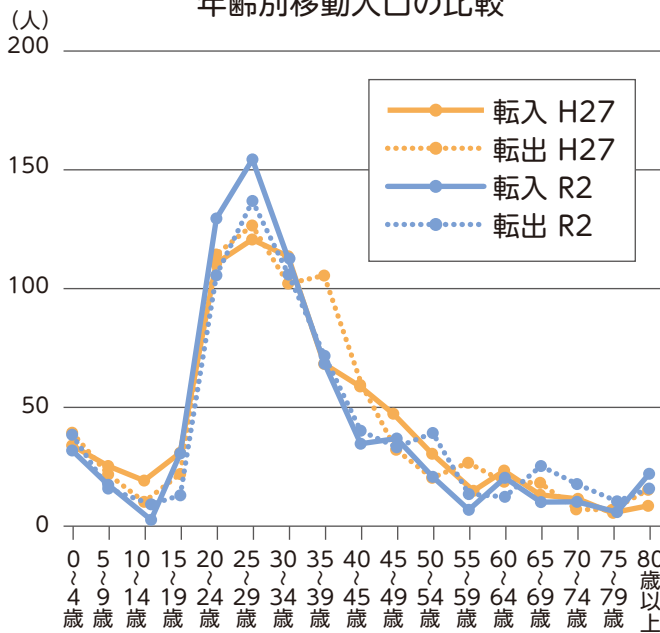
- 子どもの見守り(学援隊) ● 防犯パトロール
- 防災訓練 ● ふれあい活動
- 支え合いマップ作成



▲防犯パトロール

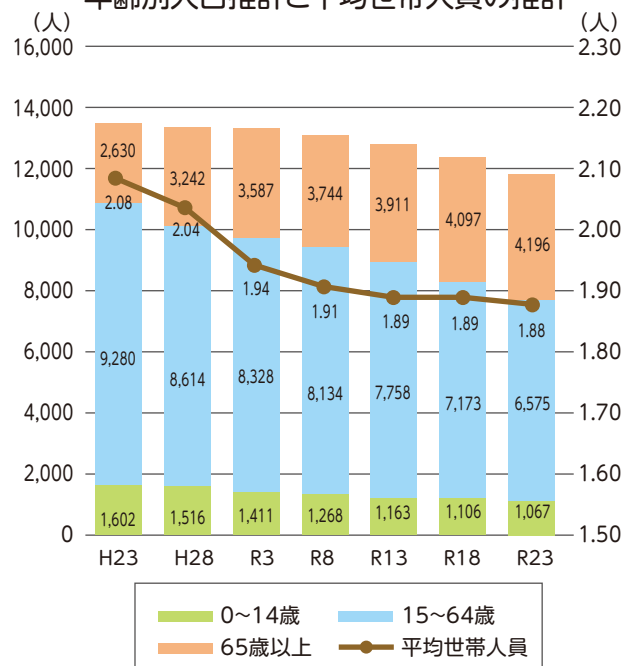
## 地区状況①

### 年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

### 年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# つながり支え合うまち 神大寺

自助・共助・公助それぞれを高め、地域の特性にあった安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。そのために、地域をあげて相互に連携し、世代間の交流の機会やつながりを一層広げるとともに、新しい担い手が登場しやすいきっかけをつくっていきます。



## 目標 1

### 心が通い合う顔の見える関係づくり

#### 取組例

- これまでの世代・住民交流イベントだけではなく、Withコロナでの高齢者の新たな交流の形や直接会えなくても住民同士の見守りや支え合いのつながりを絶やさない取組について検討していきます。
- より身近な(小規模な)隣近所でのつながり、支え合いをつくっていくためのきっかけづくりを進めます。
- 地域にある福祉施設と地域の活動団体が連携し、世代や障がいの有無に関係なく楽しく交流できる機会を検討していきます。
- 新しく転入してくる方々を対象に自治会情報を提供し、地域に参加しやすくなるようなきっかけをつくります。

## 目標 2

### 地域の特性にあった安心して暮らせるまちづくり



#### 取組例

- 子どもや高齢者を見守る人がお互いに横につながり協力できるよう、地区全体で見守りの状況を共有し、より良い見守りの方法(見守り協力店等)を検討し、取り組みます。
- 小規模なまとまりでの支え合いマップの作成・ふれあい活動・さりげない見守り、防災グッズなどの配布を通して、つながりや見守りを充実させます。また、日頃から災害時要援護者を把握し、支援方法を検討します。
- 日常生活のちょっとした困りごとを助け合う仕組みを検討します。
- 防災について、これまでの常識ではなく新しい知識を学ぶ機会をつくります。
- 自然災害、疫病災害などの非常事態に備え要支援者の確認更新作業を進めます。
- 特殊詐欺などの身近に起きた事件情報を地域で共有し、注意喚起を行っていきける仕組みを検討します。
- 子どものうちから地域への愛着を育み、若い世代の力を発揮できる機会づくり、環境づくりを検討していきます。
- 地域の中で行っている活動や取組を地域内に周知するため、従来の広報誌やチラシの発行、掲示板への貼り出しに加え、インターネットの活用など多彩な方法で広く紹介していきます。

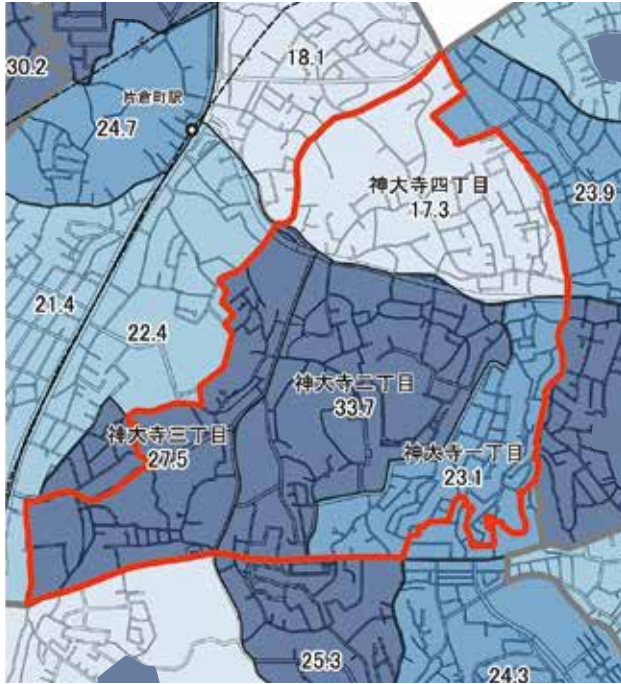
地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

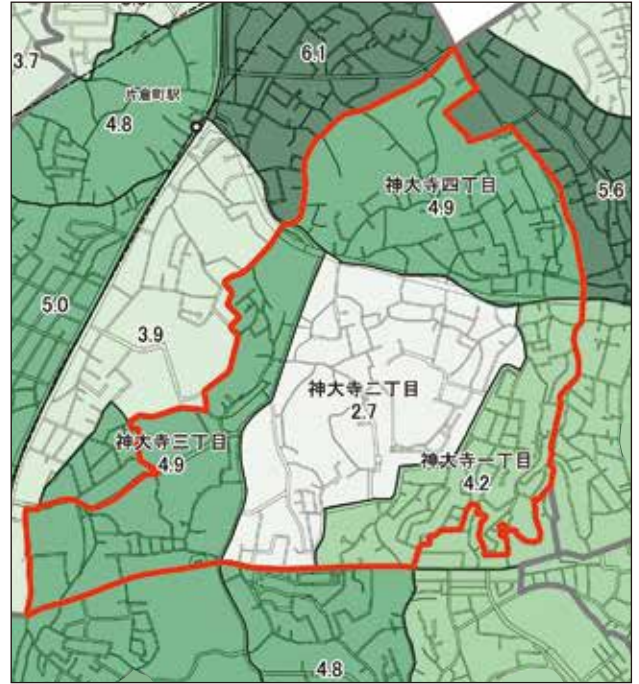


未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

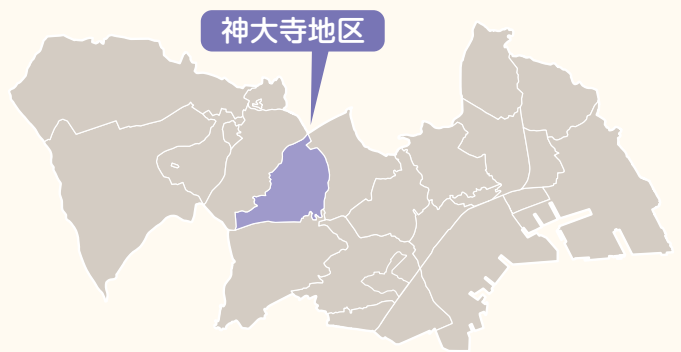
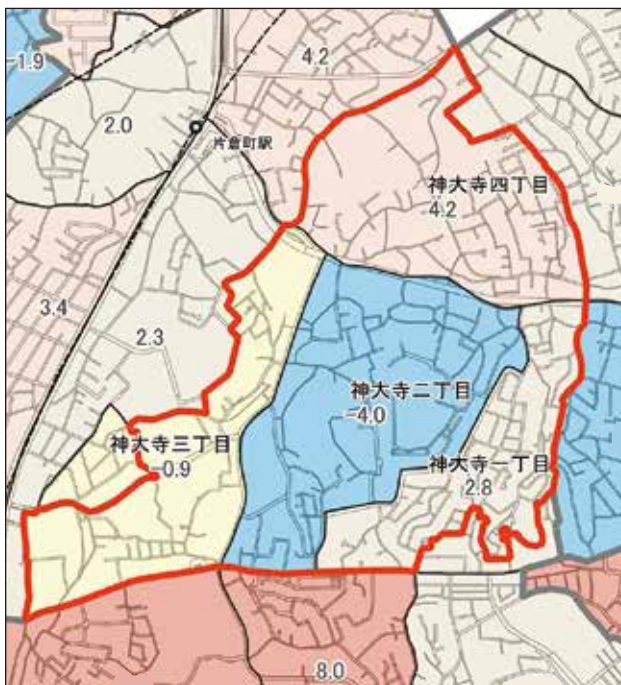


人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
  - 1.4%以上~0.8%未満
  - 0.8%以上~3.1%未満
  - 3.1%以上~5.8%未満
  - 5.8%以上~10.2%未満
  - 10.2%以上
- 人口減 ↑  
人口増 ↓



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 見守りから広げよう

## 安心とやさしさのある地区を目指す片倉

● 地区センター・  
公会堂・集会所等

⊕ 病院

● 地域ケアプラザ

● 福祉施設

■ 小学校

■ 中学校

■ 公立高校

■ 樹林地

■ 農地・農業施設用地

■ 都市公園

■ 文教厚生用地



### 地区概要

起伏のある台地上の住宅地です。地区内を南北に幹線道路新横浜通りが通っており、市営地下鉄ブルーラインの片倉町駅があります。

戸建て住宅が多いですが集合住宅も散在しており、片倉台団地、グリーンヒル片倉などの団地があります。

地区の南には片倉うさぎ山公園があります。

### 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	片倉地区	神奈川区
総人口	13,809人	241,561人
0～14歳	1,813人(13.1%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	9,023人(65.4%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,973人(21.5%)	53,136人(22.0%)

	片倉地区	神奈川区
総世帯数	6,690世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.06人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	896世帯 (13.4%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

見守りのある環境を目指す片倉では、第3期の地区計画で、『お互いの顔が見えて、子どもからシニア世代までのあらゆる人が安心して生活できるまち』をテーマに、3つの目標を定め、様々な取組を行ってきました。3期の取組を踏まえ、さらに第4期計画へとつなげていきたいと思ひます。

### 目標1 見守り

- あいさつ運動
- 支え合いマップ作成
- スマホ勉強会
- サロン活動(かたから茶房など)、ふれあい活動
- 認知症サポーター養成
- かたからんど
- すくすくかめっ子



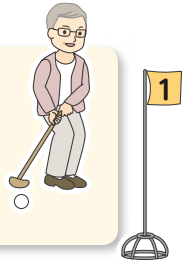
### 目標2 防犯・防災

- 防犯パトロール
- 防災備品の調達
- おとなり場の活用
- 防犯カメラの設置



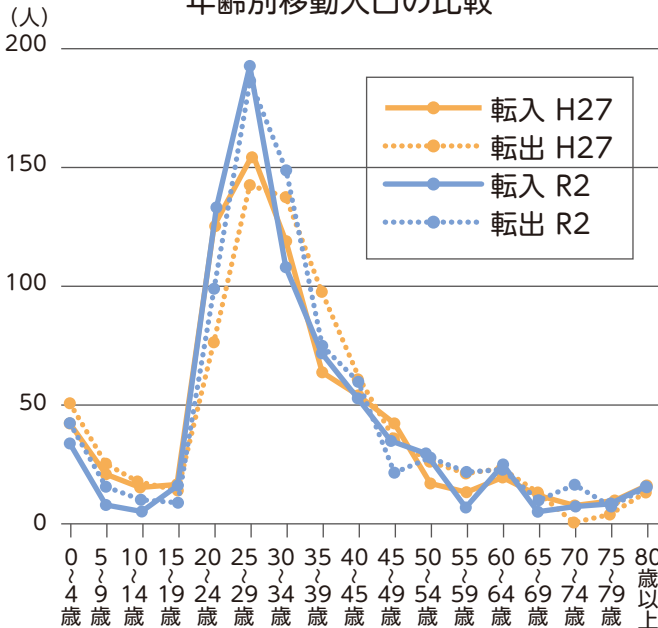
### 目標3 楽しいイベントを通して新たな担い手を発掘

- お花見会
- 防災七夕まつり
- グラウンドゴルフ
- 体育祭
- 亀のつどい
- 歩こう会
- お楽しみ会



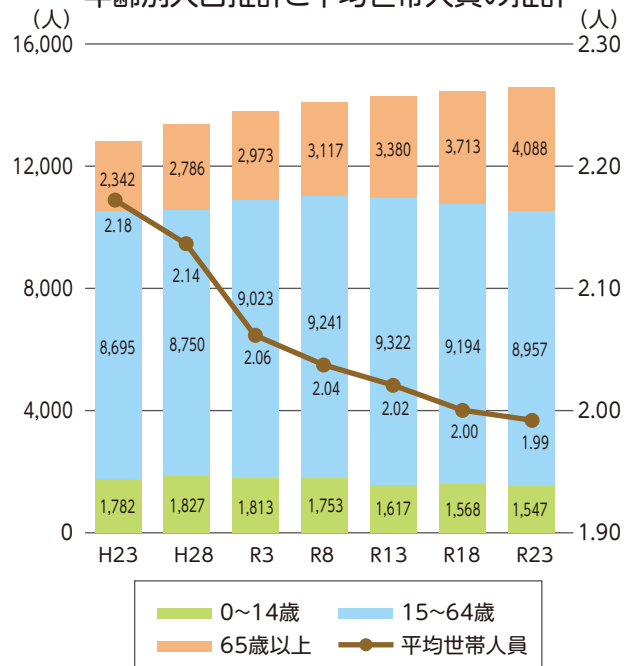
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 見守りから広げよう 安心とやさしさのある地区を目指す片倉

第4期の計画においても『見守りのあるまち』イコール『片倉』と言われるように、誰もが参加しやすい持続可能な目標を設定して、見守りから広がる安心とやさしさのある環境を、これからの5年間で考えていきます。

## 目標 1

### 見守りから広げる 「安心できる」まち

- ① 災害時に対応できる支え合いの仕組みをつくる  
(情報の把握・発信)
- ② 防犯に対する備えを充実させ日々の安心を定着させる



▲防災・七夕まつり



▲生活困窮支援  
パンフレット

## 目標 2

### 見守りから広げる 「支え合う」まち

- ① 日頃からの挨拶など、隣近所の顔が見える誰もが元気で住みやすい環境を作る
- ② 集いの場を活用し、赤ちゃんから高齢者まで、支え合う輪を広げる
- ③ 地域に住む誰もが(障がい児・者、ひとり親家庭、生活困窮者、外国人、ひきこもり、認知症の方、その家族の方など)、お互い様の気持ちで、孤立しない地域を作る

## 目標 3

### 見守りから広げる 「つながりあう」まち

- ① 若い世代が地域に参加出来る機会を増やす仕組みを作る
- ② 転入者の方や自治会未加入の方にも、地域への興味を増やすためインターネットの活用など情報の発信に工夫を加える
- ③ 赤ちゃんから若者まで、元気な『かたくらっ子』を育てよう



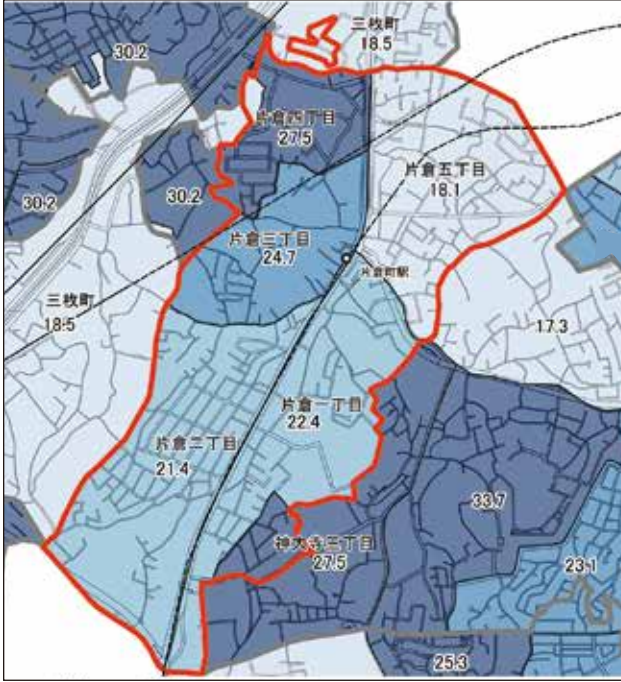
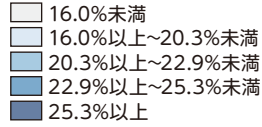
▲こどもの居場所「かたくらんど」

## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

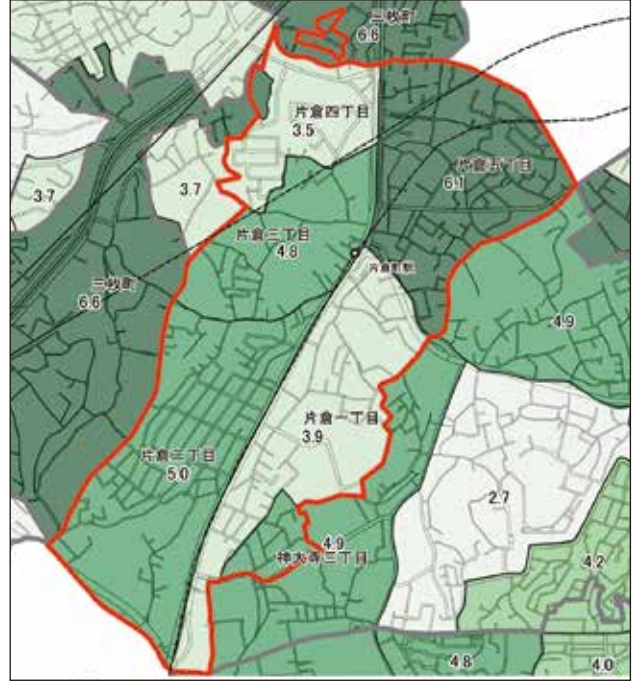
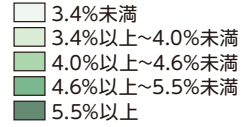
高齢者(65歳以上)比率(%)



### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

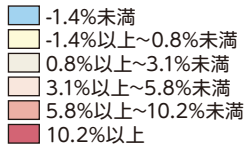
未就学児(0~5歳)比率(%)



### 人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)



人口減

人口増



### 片倉地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 助け合えるまち 交流のあるまち 菅田



## 地区概要

区の北西部の起伏のある丘の上にある地区で、区域の南側は市街化調整区域となっており、農地や樹林地が多く残っています。

戸建て住宅のほか、西菅田団地や菅田ハイツ等の集合住宅もみられます。また、区内でも高齢者施設が多い地区です。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	菅田地区	神奈川区
総人口	15,925人	241,561人
0～14歳	1,760人(11.1%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	9,355人(58.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	4,810人(30.2%)	53,136人(22.0%)

	菅田地区	神奈川区
総世帯数	7,868世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.02人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,590世帯 (20.2%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

菅田地区は、65歳以上の高齢者率が約30%（令和3年3月時点）と神奈川区のなかでも高く、また、緑地や高齢者施設が多いことも特徴として挙げられます。

第3期計画では「助け合えるまち 交流のあるまち 菅田」を目標に、様々なことに取り組みました。「放課後、こどもたちの居場所がない」という声から「Come Come ひろば」が始まり、「移動販売」や「ワンコイン見守り隊」など各地域の話し合いから始まった取組もあります。

「運動会」「マラソン大会」「芸能大会」など、継続して開催することで地域の恒例行事として根付いたものも沢山あります。

令和3年度から菅田小学校と池上小学校が菅田の丘小学校へ統合したため、菅田小学校の跡地利用は地区の大きな関心事です。



▲菅田町健康 マラソン大会



▲みんなが集えるサロン



▲子どもの居場所「Come Come ひろば」



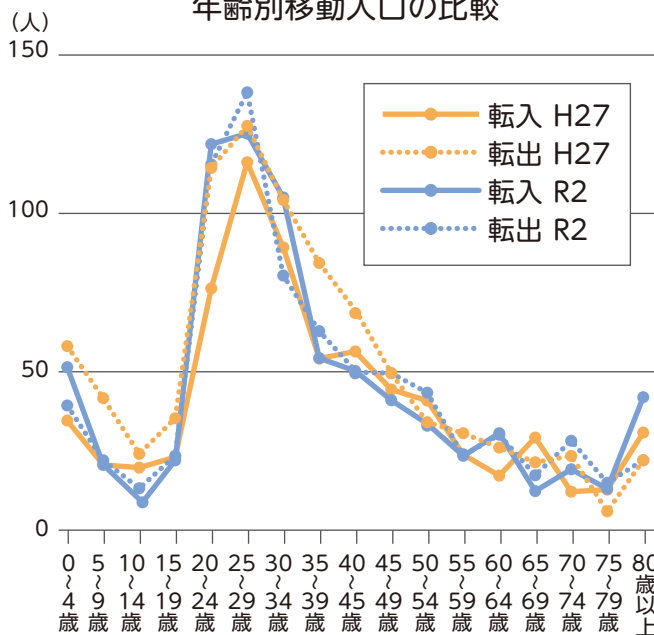
▲菅田ハイツ 移動販売



▲菅田地区芸能大会

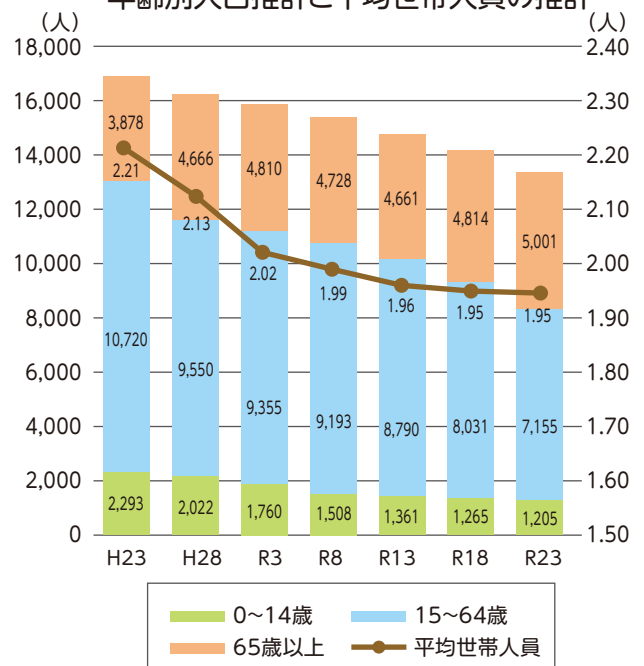
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# 助け合えるまち 交流のあるまち 菅田

- 地域の誰もが集える居場所づくり・イベントなどを通じ、世代間交流を図ろう
- 公園清掃、パトロール、祭り、運動会などを通して心とからだの健康づくりを進めていこう
- 若い世代のチカラ、ネットワークの活用を図って地域の情報を発信しよう

- 祭り、どんと焼きなど菅田地区の伝統、行事をいかしてつながろう
- 既に出来上がっている関係をいかし、地域・学校・ケアプラザが一体となり地域づくりをしよう
- 高齢者施設と連携し、移動支援を検討しよう  
～行きたいと思ったときにふらっと行ける～

みんなで  
集える機会を  
つくろう

地域の特徴を  
いかして  
繋がる

見守りの輪を  
広げよう

地域で活躍  
できる人材を  
育もう

- 「菅田安心ボランティア」「見守り活動」「食事会」「サロン」「配食」など地域での活動を広げていこう
- お店や施設も含めた住人すべてが「見守り見守られ隊」～「この人いつもと違う」と気づき、相談先へつなぐ仕組づくり～
- 「ComeComeひろば」や体験型のイベントなどで子どもの話をもっと身近に聞ける居場所を広げていこう
- あいさつから始まる顔見知りの関係をつくり、孤立しがちな住民の見守りを進めていこう

- 若い世代も生きがい・やりがいをもって地域活動に参加しやすい仕組みをつくろう
- 菅田にいるみんなで楽しみながら地域活動に参加しよう
- 地域全体でヨコのつながりをいかして活動しよう



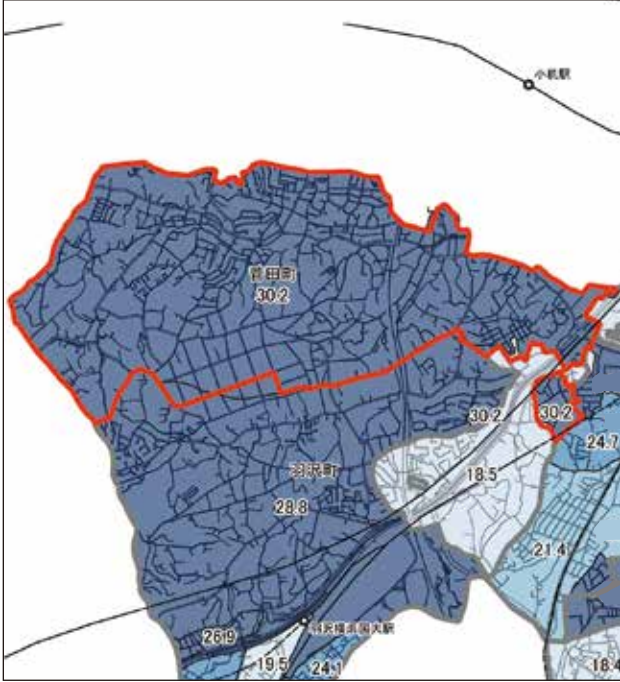
## 地区状況②

## 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

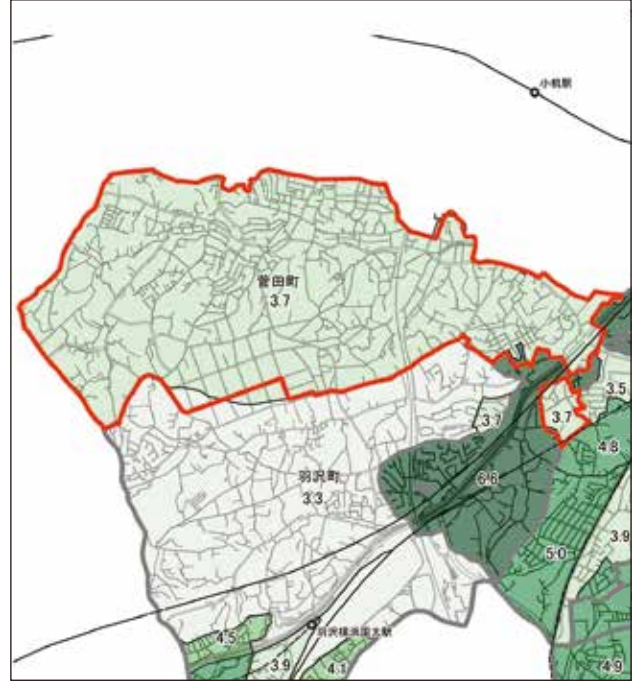


## 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



## 人口増加率

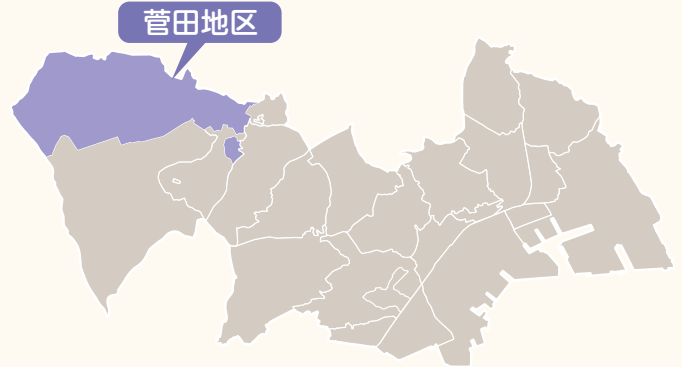
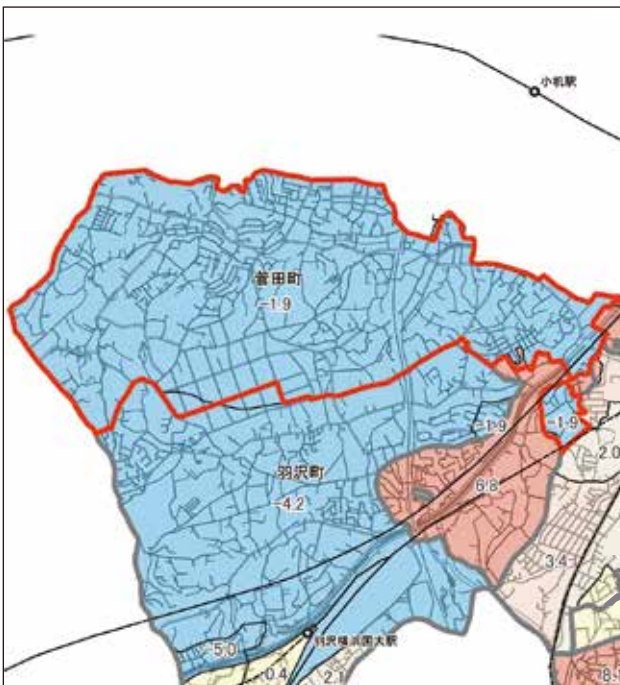
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

- -1.4%未満
- -1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

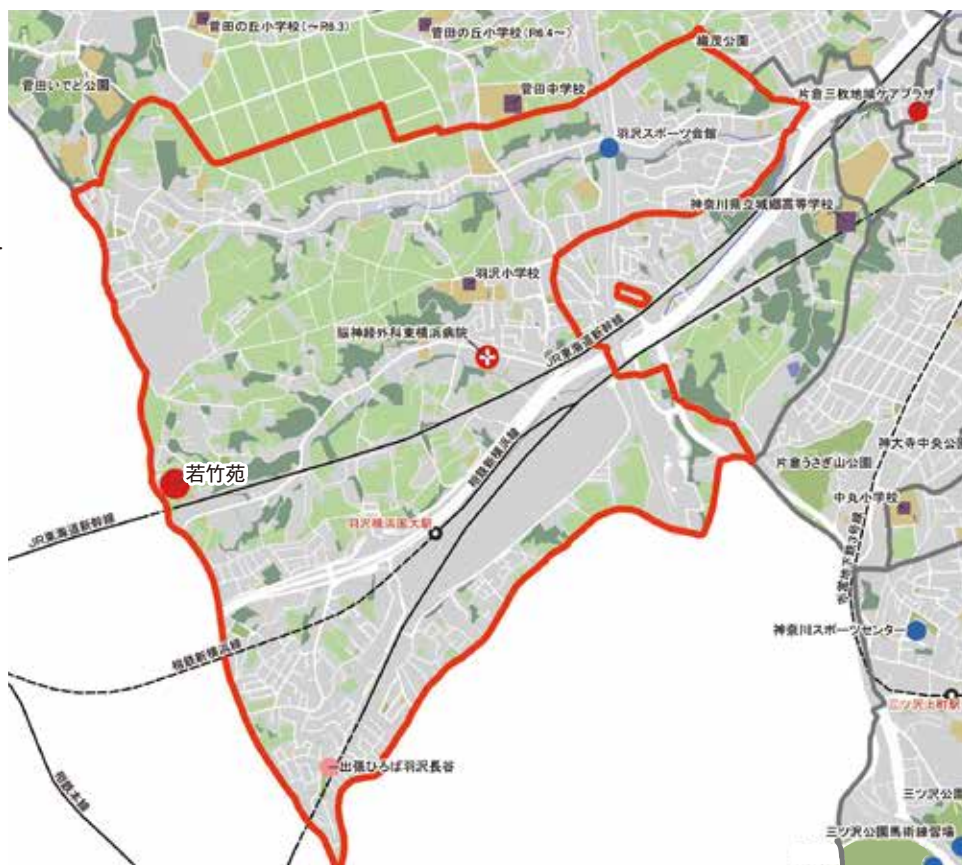
※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# 助けられ上手、助け上手な街 羽沢

- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域包括支援センター
- 小学校
- 中学校
- 公立高校
- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

農地や樹林地が多く残っている地区です。

地区の北東部分に宮向団地、羽沢グリーンハイツ等の集合住宅があります。このほかは戸建て住宅が中心の住宅地になっています。

神奈川東部方面線のうち相鉄線西谷駅～羽沢横浜国大駅の区間(相鉄・JR直通線)が2019年11月30日に開業し周辺地域の交通や生活の利便性の向上が期待されています。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	羽沢地区	神奈川区
総人口	13,957人	241,561人
0～14歳	1,498人(10.7%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	8,837人(63.3%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,622人(26.0%)	53,136人(22.0%)

	羽沢地区	神奈川区
総世帯数	6,960世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.01人	1.87人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,097世帯 (15.8%)	18,089世帯 (14.0%)

## これまでの取組

神奈川県では「誰もが住み慣れた地域で、健やかに、安心して暮らせるまちをみんなで作ろう」を合言葉に「神奈川県福祉保健計画」を推進しています。

羽沢地区では、平成12年から地域の皆様による「地域支えあい連絡会」を開催し様々な取り組みを進めてきました。これまで「地区全体のつながり」を目指して福祉まつりやグランドゴルフ大会などを行うとともに、平成26年からは「羽沢プロジェクト」と自治会・町内会が連携して気軽に集える「昼食会」などを開催するほか、身近な場所でも多くのサロンを展開してきました。

今後は、皆様とご一緒に、地域づくりの基盤となる身近な交流の機会を更に充実すると共に、支えあう仕組みづくりや地域活動の担い手の育成に取り組み、一層、健やかに、安心して暮らせる羽沢の街づくりを進めてまいります。

- 羽沢プロジェクト(羽沢地域の情報・課題共有の場)
- 羽沢支えあい連絡会(羽沢地区福祉保健計画の推進・確認の場)



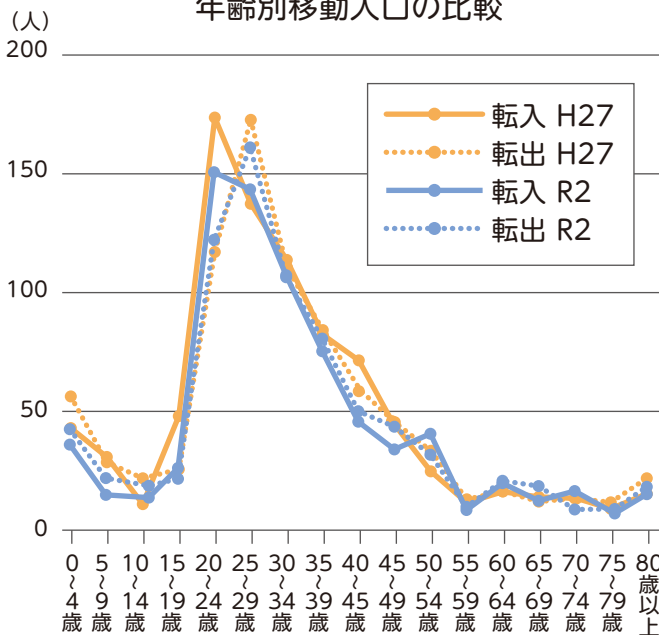
▲あおぞら昼食会の様子



▲星空ビアガーデンの様子

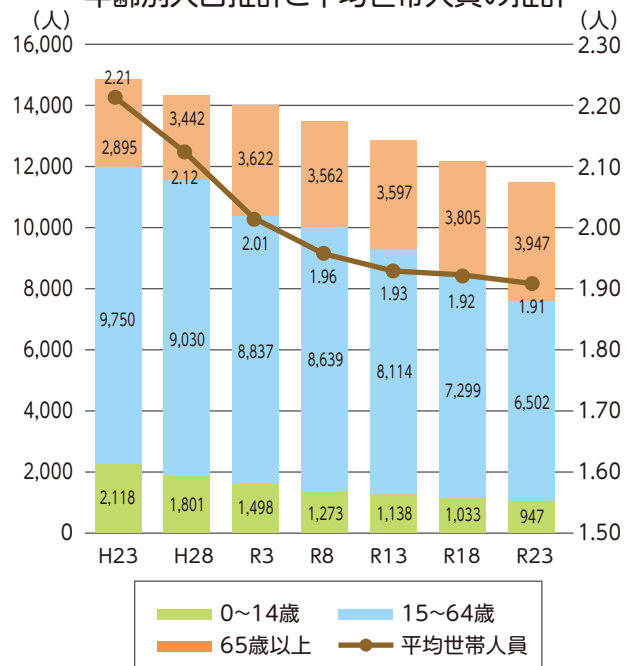
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# 助けられ上手、助け上手な街 羽沢

羽沢の街を1つの木に例えました



**1** 身近なつながりや顔の見える関係づくりが進み「土」が耕されます

**3** イベントや助け合いの取り組みは「果実」となり、

**2** 「土」が豊かになると木は大きく育ち、仕組みや担い手という「枝葉」を伸ばします

**4** やがて土にかえる栄養にもなり、よりよい循環が生まれます

**目標** 幅広い世代を様々な地域活動の担い手に育成しよう

■ 方向性・アイデア ■

- 若い世代に自治会を知ってもらう
- 自治会イベント等のちょっとしたお手伝いから活躍できる場をたくさん作る
- 地域づくりのことを考える講座や意見交換から担い手育成へつなげる

**目標** 近隣で支えあう仕組みづくりを進めよう

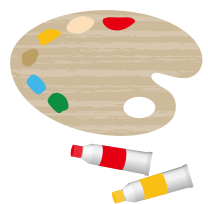
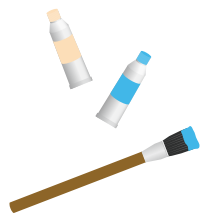
■ 方向性・アイデア ■

- 助け合いボランティアについて検討する
- やりたい人とやってほしい人をつなぐ仕組みづくりをすすめる
- 地域の施設や事業所との協力をすすめる
- 災害時と平時の見守りや情報共有ができる仕組みづくりをすすめる

**目標** 身近な交流の機会を充実しよう

■ 方向性・アイデア ■

- 身近なつながり、顔の見える関係づくりを連動してすすめる
- 若い世代に行事に参加してもらい、世代間交流をすすめる
- サロンや集いの場に来られない方への働きかけをすすめる
- SNSなどを活用して情報提供をすすめる



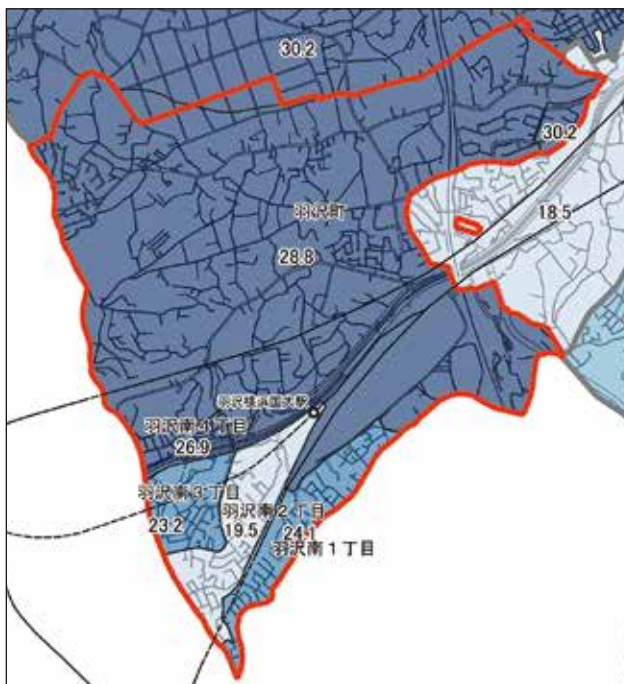
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

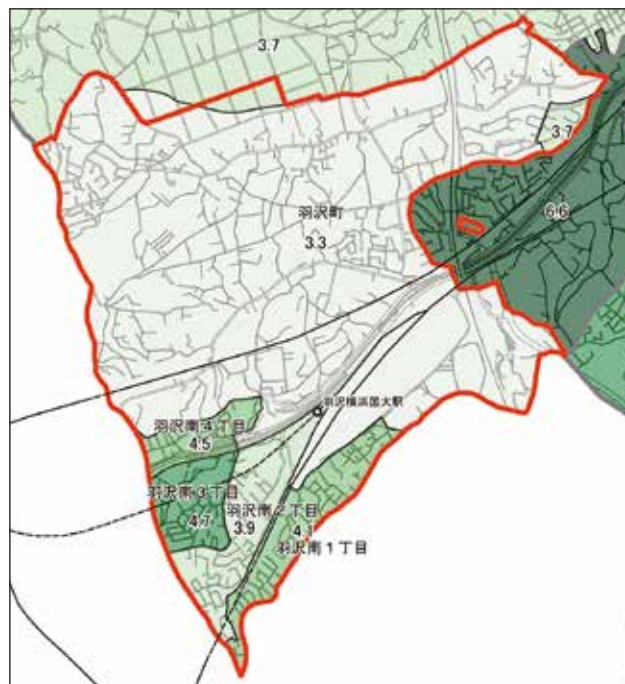


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上



### 人口増加率

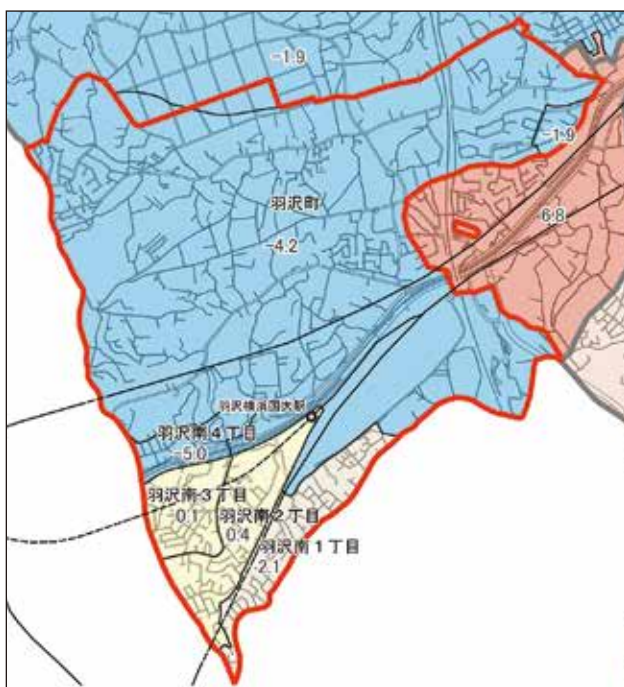
住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)

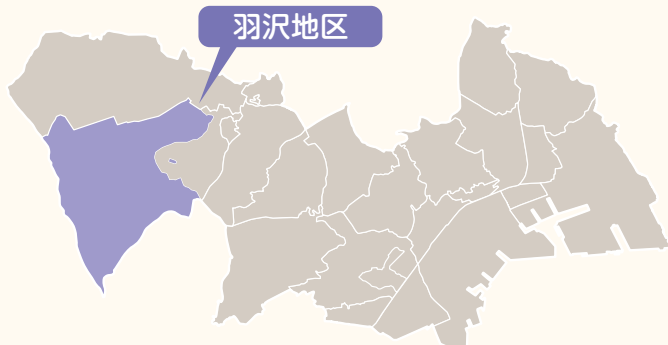
- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上

人口減

人口増



### 羽沢地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

# みんなできりくむ 「住みやすい町」三枚

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



## 地区概要

起伏のある丘の上の住宅地です。地区は南北2つの地区に分かれています。北部エリアは、住宅地が中心です。南部エリアは、西側に住宅地が広がっていますが、全体として農地や山林が多く残っています。地区内を幹線道路環状2号線と東海道新幹線が通っています。最寄りの鉄道駅は市営地下鉄片倉町駅です。

## 人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	三枚地区	神奈川区
総人口	5,325人	241,561人
0～14歳	829人(15.6%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	3,509人(65.9%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	987人(18.5%)	53,136人(22.0%)

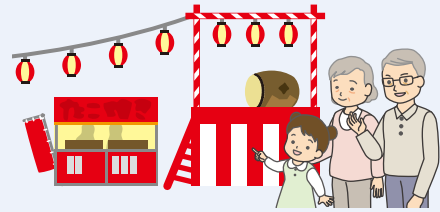
	三枚地区	神奈川区
総世帯数	2,564世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.08人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	277世帯(10.8%)	18,089世帯(14.0%)

## これまでの取組と今後に向けて

三枚地区では、さまざまなイベントを実施し、子どもから高齢者まで地域内交流を深めています。

### 目標1 高齢者の見守り 日常のサポートを進めよう

運動会、お祭り、どんど焼き、ボーリング大会、ウォークイベント、グランドゴルフ、ガレージ卓球、防犯パトロール、亀鶴会(老人クラブ)、高齢者食事会、サロン など



### 目標2 子どもの見守り 子どもと地域の関わりを増やそう

登下校見守り活動、すくすくかめっ子、子ども会、地域清掃活動、グランドゴルフ、ボーリング大会、運動会、お祭り、どんど焼き、居場所づくり会議 など



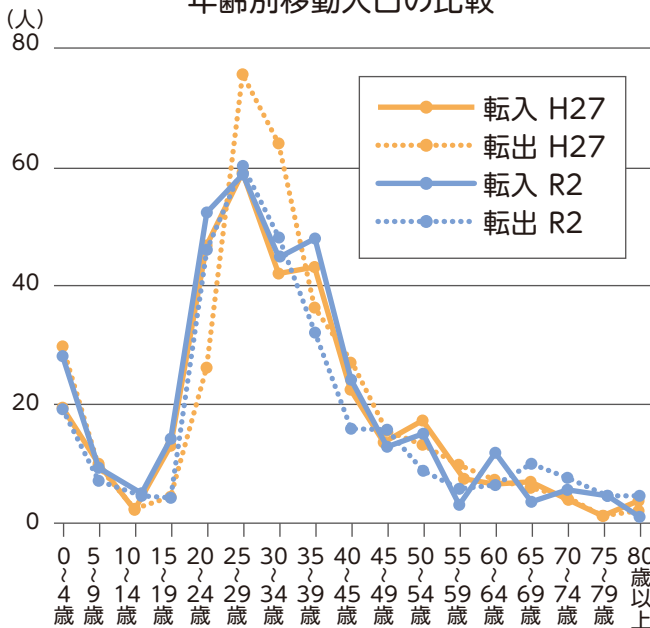
### 目標3 災害時の助け合い 日頃から備えておこう

防災講習会、地域防災拠点訓練、防犯灯点検、防犯パトロール、近隣での顔見知りづくり、要援護者支援の取組 など



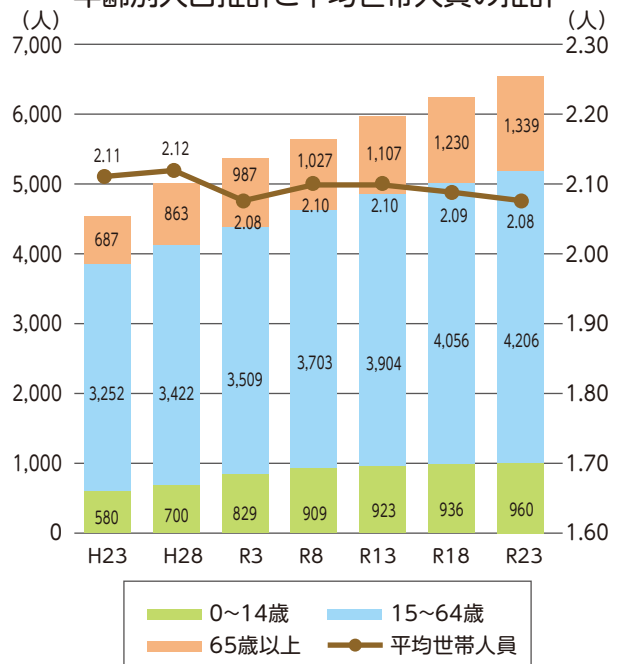
## 地区状況①

年齢別移動人口の比較



※各年の住民基本台帳(3月)

年齢別人口推計と平均世帯人員の推計



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計



# みんなできりくむ 「住みやすい町」三枚

羽沢横浜国大駅の開業などにより、今後は、新たに住民となる方も増えていくことが想定されています。そのような中でも、様々な活動を通じてゆるやかにつながることで、誰にとっても「住みやすい町」を目指します。楽しみながら元気になれることを大事にして活動します。

## 目標1

困っている人に気付く、見守るなど  
日常のサポートを進めよう。

- 高齢者の集いの機会を増やすため、地域活動の実施方法を工夫し活動する。
- 活動や行事を通して子どもから高齢者までの多世代の交流を促し、それをゆるやかに見守る。
- 幅広い世代との繋がりを広げていくため、オンラインを活用していく。
- 誰もが困りごとを声に出せるような取組をすすめていく。
- 定期的に、地域内の情報交換会議を行う。



▲Zoom練習会

## 目標2

子どもと地域の関わりを増やし  
地域のきずなを強め、地域への愛着を深めよう。



▲すくすくかめっ子

- 地域での子どもの見守りを継続する。
- 子どもたちも地域の一員として、地域活動に関われるようにする。
- 転入者や地域活動に参加したことがない大人も、参加しやすい企画を実施する。
- すくすくかめっ子2ヶ所の開催や、近隣地区(片倉・神大寺・羽沢地区)との情報共有をしながら、子育て世代と地域とのつながりを育む。

## 目標3

日頃から助け合いを心がけ  
災害時の助け合いにもつなげよう。

- 子ども110番の家(日中子どもが助けを求められる場所)を増やす。
- 登下校時の見守りを実施する。
- 防犯にもつながるあいさつ運動、防犯パトロールに取り組む。
- 防災への関心を高める活動をする。
- 自治会による災害時助け合いの体制づくりの継続と充実に取り組む。
- 台風などの自然災害に伴う被害を想定し、ご近所同士で取組める仕組みづくりをする。



▲登下校の見守り

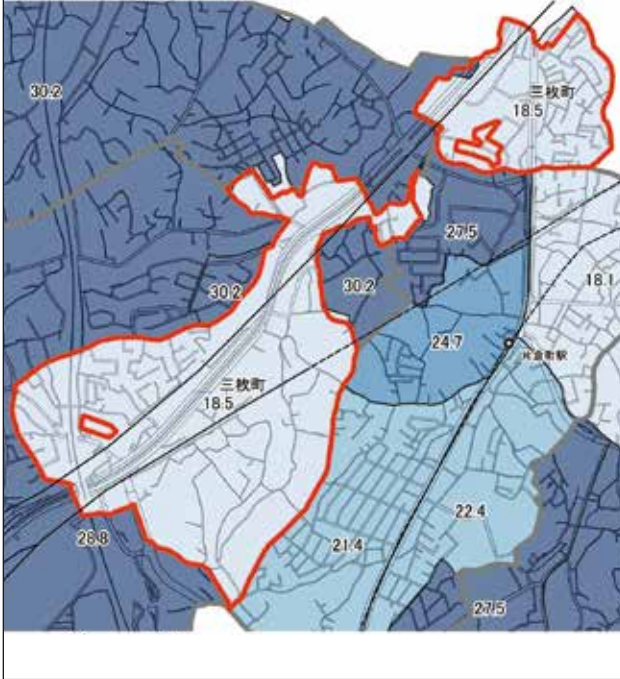
## 地区状況②

### 高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

高齢者(65歳以上)比率(%)

- 16.0%未満
- 16.0%以上~20.3%未満
- 20.3%以上~22.9%未満
- 22.9%以上~25.3%未満
- 25.3%以上

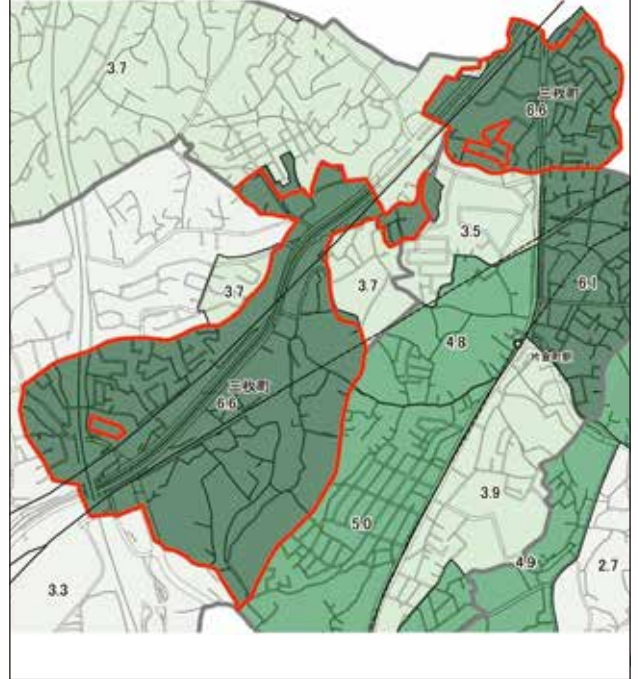


### 未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

未就学児(0~5歳)比率(%)

- 3.4%未満
- 3.4%以上~4.0%未満
- 4.0%以上~4.6%未満
- 4.6%以上~5.5%未満
- 5.5%以上

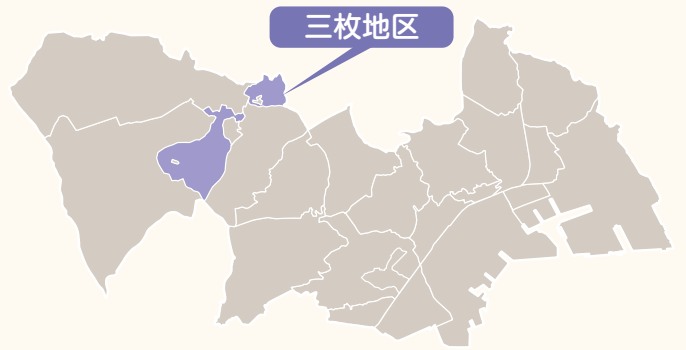
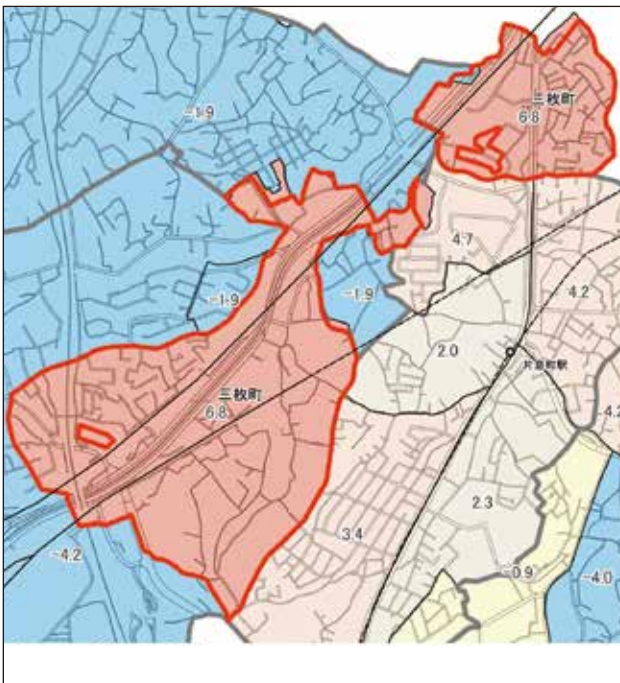


### 人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)

- 1.4%未満
- 1.4%以上~0.8%未満
- 0.8%以上~3.1%未満
- 3.1%以上~5.8%未満
- 5.8%以上~10.2%未満
- 10.2%以上



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

持続可能な開発目標(SDGs)とは

2015年の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴール・169のターゲットから構成されています。

横浜市は、2018年に国から「SDGs未来都市」に選定され、SDGs未来都市・横浜の実現に向け、身近な課題解決を世界の課題解決につなげる様々な取組を、市民・事業者との連携により進めています。

SDGsは、**地球上の「誰一人取り残さない」を基本理念としていることや企業・団体など幅広い関係者の連携と一人ひとりの行動が求められている**点が、かながわ支え愛プランと共通する部分があります。身近な地域で自分たちができることを行動に移したり、これまでの取組を継続して行うことがSDGsに繋がっています。

SDGs未来都市・横浜



『横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区アクションプラン』との連携

神奈川区では、平成30年に『横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区行動指針』を策定しましたが、新たな具体的取組や目標値を盛り込むため、令和3年度中に『横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区アクションプラン(以下、「アクションプラン」という。)]として改定しました。

アクションプランは主に**高齢者**を対象とし、かながわ支え愛プランは**地域のすべての住民**を対象としていますが、**「誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるまち」**を目指していることや**「区・地域ケアプラザ・区社協の3者が連携」**しながら計画を推進する点はどちらのプランにも共通しています。2つの計画を連動しながら、住民同士の「見守り」、「助けあい」、「支えあい」をより推進していきます。

〈アクションプランの重点テーマと5つの柱〉 重点テーマ：見守り

- ① 介護予防や健康づくりに取り組む場を増やし、高齢者になっても活動意欲や生きがいを持ち続けられる地域を目指します。
- ② 高齢者になってもできることは自分で行い、日常生活に必要な支援は受けられるよう、多様な主体が連携・協力する体制をつくります。
- ③ 医療と介護の連携強化と在宅医療体制の構築を推進します。
- ④ 認知症を正しく理解し、認知症の方を支える社会を目指します。
- ⑤ 自然災害・感染症発生時に適切な対応ができるよう、日頃から事前の備えが充実するよう推進します。

## ④ 目標達成に向けた計画の進め方

区計画の7つの基本目標と地区別計画の各地区の目標を達成するために、区民の皆さん、活動団体・各種施設・関係機関、地域ケアプラザ、区社協、区役所等が協働して、活動を進めていきます。

### ■スケジュール(区計画・地区別計画共通)

毎年、取組等の振り返りを行い、今後の方向性等を確認します。また、令和6年度からは次期計画の策定に向けた検討を始めます。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区全体・各地区の 目標を達成するまでの スケジュール	活動や取組の推進 →				
	振り返り →	振り返り →	振り返り →	振り返り →	振り返り →
				次期プランの検討 →	

### ■区計画の進め方(イメージ)

「区計画策定・推進会議」において、目標に沿った取組がどの程度進んだか振り返り、次年度に向けての課題や新たに取り組むべきこと等について共有します。推進会議で出された意見を、推進委員の所属する各団体等でも共有し、その後の取組等に活かしていきます。



### ■地区別計画の進め方(イメージ)

各地域では、多くの人に関わりながら、様々な活動が行われています。地区別計画を進めるためには、自分の住むまちについて地域の皆さんが「話し合う」ことがとても大切です。そのため、地区別計画推進会議などで現在取り組んでいることを皆で共有し、より暮らしやすいまちについて話し合います。そして、話し合いの場で気づいたことや考えたことなどをそれぞれの活動に活かしていきます。



## ■振り返りの考え方と視点

取組を振り返るときは、「何ができたか」「何回できたか」などの結果だけでなく、以下の4つの振り返りの視点から「活動を実施するまでの経過や過程」も振り返りしていきます。

- 振り返りの視点①: 取組を多くの人に知ってもらえたか
- 振り返りの視点②: 様々な人や団体と協力して取り組めたか
- 振り返りの視点③: 取組が継続しておこなわれたか
- 振り返りの視点④: 地域にとってどんな良いことが起こったか

### 〈個々の取組の振り返りの例〉

<p><b>【目標】</b> 近所で顔の見える関係づくりが進み、いざという時に助け合えるようになる</p>
<p><b>【具体的な取組】</b> 1. 近所の人と顔を合わせたときにあいさつをする「あいさつ運動」に取り組む 2. 夏休みに子どもたちと高齢者でラジオ体操をおこない、世代を超えて顔の見える関係を作る</p>
<p><b>【振り返り(取り組んできたこと・効果)】</b></p> <p>〈あいさつ運動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の中で「あいさつ運動」についてのチラシを、自治会町内会や地区社協に協力してもらい配布し周知をおこなった。</li> <li>● チラシの配布を通じ、自治会町内会と地区社協のメンバーが顔の見える関係になれた。</li> </ul> <p>〈ラジオ体操〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日実施しているラジオ体操について、夏休み期間中の子どもにも声をかけて開催することができた。</li> <li>● 子ども会を通じ参加を呼びかけた結果、昨年より多くの子どもが参加した。</li> <li>● ラジオ体操を通じて、多世代の交流が実施できた。</li> </ul>
<p><b>【今後に向けて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「あいさつ運動」は、地域全体に普及するため継続して行う。</li> <li>● ラジオ体操は、子どもたちがより参加しやすいような企画や方法を考えていく。</li> </ul>

## ■次期プランの検討

令和7年度(計画の最終年度)は、5年間の振り返りの内容を踏まえて、第4期計画の目標に対する成果と課題を確認し、次期プランを策定していきます。



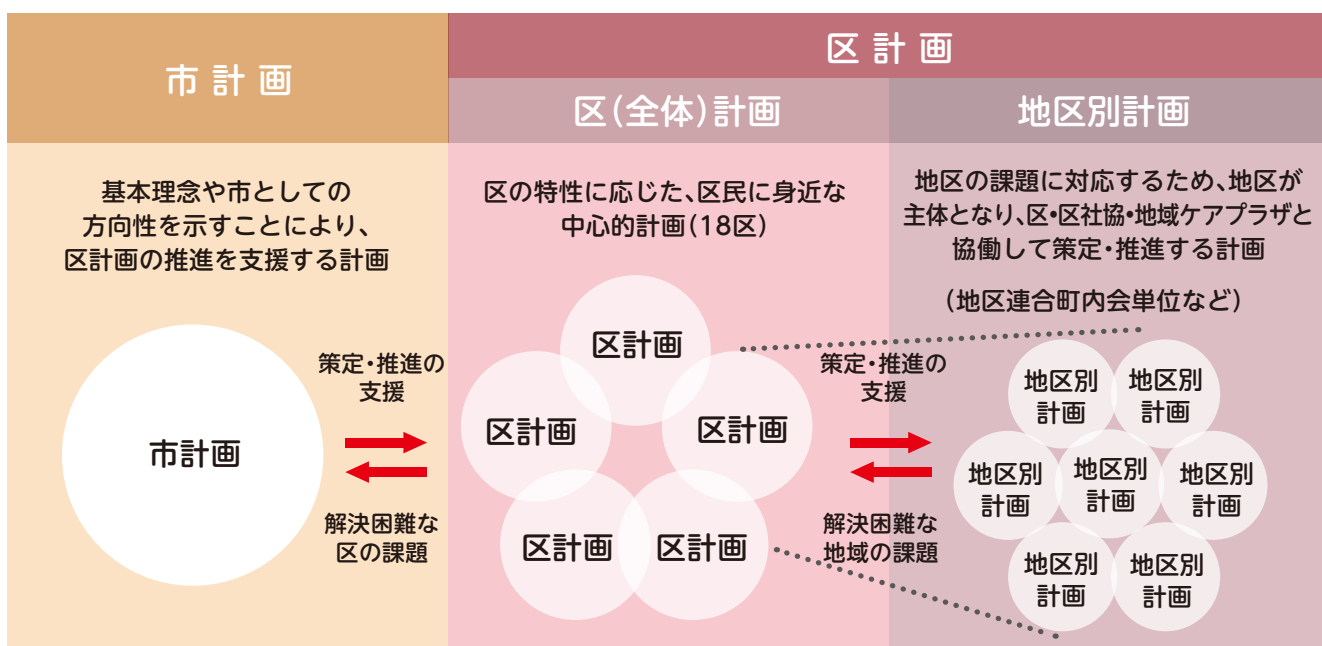
## ⑤「かながわ支え愛プラン」について

神奈川区では、子どもから高齢者までのすべての方を対象に、区民との協働により「かながわ支え愛プラン(神奈川区地域福祉保健計画)」を策定し、推進しています。

### (1)「地域福祉保健計画」とは

地域福祉計画は、社会福祉法第107条に地域福祉の推進に関する事項を定める計画として位置づけられています。(横浜市では、福祉と保健の取組を一体的に推進するため、第2期計画から名称を「地域福祉保健計画」としています。)横浜市の地域福祉保健計画は、市計画、18区ごとの区計画(区(全体)計画、地区別計画)で構成されています。現在の地域福祉保健計画は、4期目に突入し、令和3年～令和7年が計画期間となっています。

### 【市計画・区計画・地区別計画の関係】



### 【市計画・区計画の計画期間】

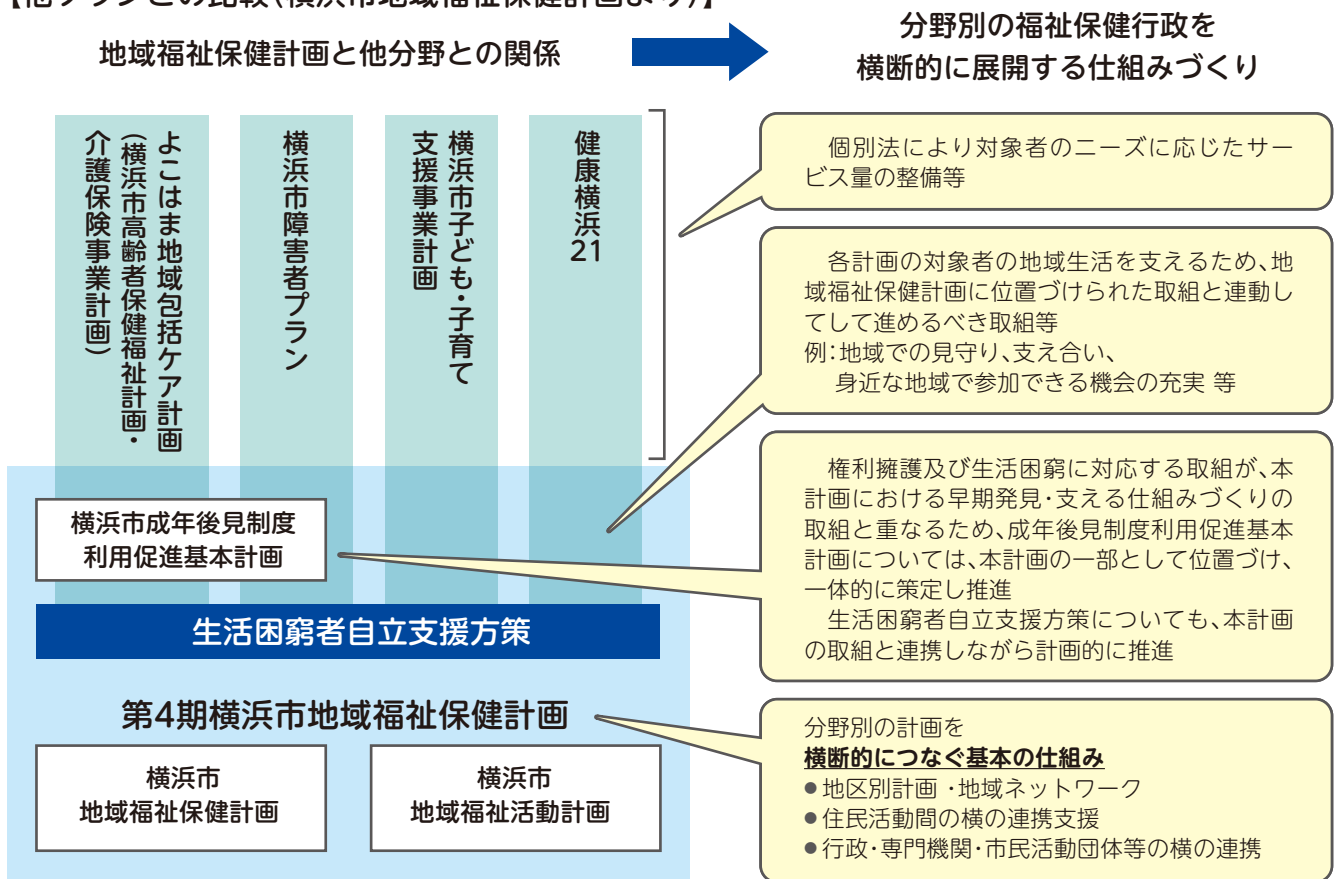
	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
市計画	第1期(H16～)				第2期					第3期					第4期				第5期			
活動計画(市社協)	第3次				第4次					第3期					第4期				第5期			
区計画	第1期				第2期					第3期					第4期							
活動計画(区社協)	第1期				第2期					第3期					第4期							

横浜市では、各法を根拠とする福祉保健の分野別計画として、次のようなものを策定しています。

- よこはま地域包括ケア計画(横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)  
(老人福祉法、介護保険法)
- 横浜市障害者プラン(障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法)
- 横浜市子ども・子育て支援事業計画(子ども・子育て支援法、次世代育成支援対策推進法)
- 健康横浜21(健康増進法)

横浜市の地域福祉保健計画は、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関(区役所、区社協、地域ケアプラザ)が、福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、策定・推進するものです。

### 【他プランとの比較(横浜市地域福祉保健計画より)】



### (2) 地域福祉活動計画との一体的な策定・推進について

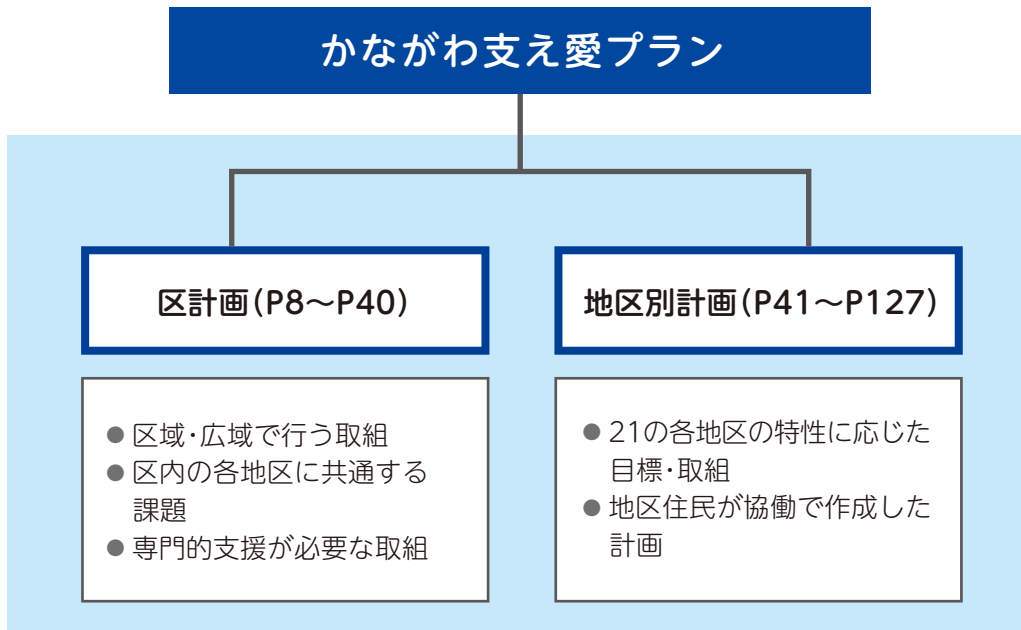
区社協では、地域住民と協力して、住民同士のつながりや支えあいの活動を支援するため、「区地域福祉活動計画」を策定・推進してきました。「神奈川区地域福祉活動計画(平成24年度～27年度)」は、平成22年度に策定された「第2期神奈川区地域福祉保健計画」と基本理念、推進の柱、目標等について共通の視点を持って策定され、地域課題の解決に向けた取組が行われてきました。

「地域福祉保健計画」と「地域福祉活動計画」は、いずれも地域福祉保健を推進するための計画であり、第3期からは、区民にとって、よりわかりやすく、取り組みやすい計画となるよう、二つの計画を一体的に策定しています。



### (3) 計画の構成

かながわ支え愛プランは、「区計画」と「地区別計画」により構成されています。神奈川区では、第3期から「地区別計画」を21の地区連合エリアごとに策定することとし、地区の特徴や課題の解決に向けた地域の主体的な取組を示す内容としています。「区計画」は地区別計画や地域活動を支援するための取組や区域全体で進めるべき取組を中心に盛り込んでいます。



### (4) 計画の策定過程と第1期から引き継ぐ考え方

#### (ア) 第1期計画(平成17年~21年度)

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らす」ための計画として、平成16年度に「第1期神奈川区地域福祉保健計画」を策定しました。第1期計画では、地域におけるふれあい訪問や親子のたまり場づくり(すくすくかめっ子)などの取組が広がったほか、区では地域子育て支援拠点や地域ケアプラザなどの場づくりに取り組みました。一方で、高齢者、障害者など地域での支えあいを必要とする人が増え、「挨拶を交わす程度」のご近所づきあいから一歩進めた「お互いを支えあう」地域づくりが望まれました。

#### (イ) 第2期計画(平成22年~27年度)

第1期計画での取組を踏まえ、より身近な地域課題の解決に取り組むため、「地区連合町内会」を基本とした21地区ごとの「重点課題」と「地域の取組」を「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」のエリアにまとめ、「地域別計画」として策定しました。また、地域別懇談会等で出された各地区に共通する課題や区を取り巻く状況から、「地域のつながり」「地域活動を支える仕組みと組織」「担い手づくり」「情報の共有と発信」の4つの柱に基づく「区(全体)計画」を策定しました。第2期計画では、地域づくりデビュー講座等から地域のボランティアにつながったほか、障害者を地域で見守る取組の検討が災害時要援護者支援をきっかけに始まるなどの取組が広がりました。一方で、継続して21地区で推進や進捗を話し合える場や認知症の高齢者などを地域で見守り支えるための取組が求められています。



## (ウ)第3期計画(平成28年～令和2年度)

第1期及び第2期での取組の振り返りや地区別計画策定推進会議での検討結果、また区民意識調査や活動団体へのインタビューなどの結果に社会情勢等も加味し、第3期計画を策定しました。

第3期の「区全体計画」は、「支援が必要な人が支援につながる仕組みづくり」「健やかで心豊かに生活できる地域づくり」「地域を支える人材を支援する仕組みづくり」「身近な支えあいの仕組みづくり」とそれを推進する体制づくり」の4つの柱を立てて、取り組みました。

また、「地区別計画」は、より身近な地域課題について話し合い、解決に向けての取組に結びつきやすいよう、「21の地区連合エリア」で策定しました。

第3期計画では、障害や子育ての悩み、認知症等への理解が広がるだけでなく、高齢者と子ども等の多世代が交流するサロンができるなど、地域でサロン活動が広がっています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、以前と同じように地域活動を実施するのは難しくなっています。会う方法を工夫するなど新しい生活様式に適應しながら、つながりが途絶えないようにする動きも広がってきています。

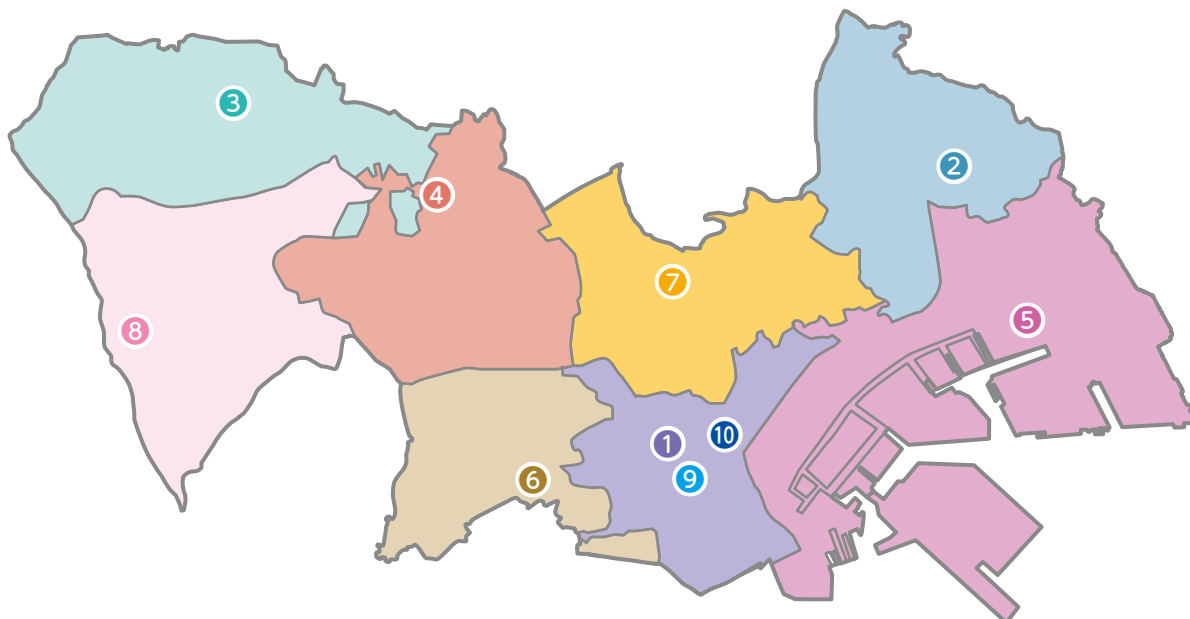
### 第1期から引き継いできた考え方

- 地域では、性別、年齢、職業、国籍など様々な違いを尊重しつつ、多くの人々が暮らしている。
- 地域で生活する上で、何か困ったことや悩みなどを相談できる場所があったり、一緒に考えてくれる人がいたりすることは安心感につながる。
- そのためには、お互いを知り、人と人とのつながりを大切に、支えたり支えられたりのお互い様の関係をつくるのが大切。
- 地域の支えあいの取組を進め、地域課題解決に向けた取組を充実していくことが地域福祉の推進である。
- 地域で暮らす様々な人が自分らしく生活できる地域をつくるのが、いきいきと暮らしていくことにつながっていく。
- これからも住み続けたいまちをつくっていくために、この計画を推進していく。



## ⑥ 施設の所在地 (地域ケアプラザ・地域包括支援センター／ 神奈川県社会福祉協議会／区役所)

地図上の数字は、各施設の所在地になっています。  
また、地域ケアプラザ等が担当するエリアで色分けしています。



名称	所在地
①横浜市反町地域ケアプラザ	神奈川県反町1-11-2
②横浜市神之木地域ケアプラザ	神奈川県神之木町7-1
③横浜市菅田地域ケアプラザ	神奈川県菅田町1718-1
④横浜市片倉三枚地域ケアプラザ	神奈川県三枚町199-4
⑤横浜市新子安地域ケアプラザ	神奈川県新子安1-2-4
⑥横浜市沢渡三ツ沢地域ケアプラザ	神奈川県沢渡56-1
⑦横浜市六角橋地域ケアプラザ	神奈川県六角橋3-3-13
⑧地域包括支援センター若竹苑	神奈川県羽沢町550-1
⑨横浜市神奈川県社会福祉協議会 (横浜市神奈川県福祉保健活動拠点)	神奈川県反町1-8-4 はーと友神奈川 1F
⑩横浜市神奈川県役所	神奈川県広台太田町3-8

## コラム 地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の紹介

区、区社協、地域ケアプラザが、それぞれの役割を果たしながら連携し、地区の状況に応じて様々な活動を支援していきます。



### 地域ケアプラザ・特別養護老人ホーム併設 地域包括支援センター

- 区内に8か所ある施設
- 地域にある身近な福祉や保健の総合相談窓口
- 主に4つの機能があります。
  - ① 地域活動・交流  
地域の福祉活動、保健活動の場や情報の提供
  - ② 生活支援体制整備事業  
高齢者の生活支援・介護予防・社会参加を推進
  - ③ 地域包括支援センター  
高齢者の介護などに関する相談・支援
  - ④ 介護予防支援・居宅介護支援  
介護認定の申請・更新手続きの代行、ケアプランの作成
- ※ その他、デイサービスを行っている施設もあります。

連携して支援

### 地域主体の課題解決に 向けた取組



### 区役所

- 区役所内にある福祉保健センターを中心に、福祉と保健に関する相談からサービス提供までを一体的に対応しています。
- 福祉保健センターは、福祉事務所と保健所の機能を持っており、専門の職員（社会福祉職、保健師など）が福祉・保健に関する相談を受け、その他にも生活衛生から保険年金に関する事まで、様々な内容を扱っています。



### 区社会福祉協議会

- 社会福祉法に基づき、身近な福祉課題について地域の皆さまと一緒に考え取り組んでいる団体です。
- ボランティアの相談や福祉教育の推進に取り組んでいます。
- あんしんセンターなどの権利擁護に関する事業や障害のある人の移動などについての相談事業も実施しています。
- その他、地区社協の支援や福祉保健活動拠点の運営も担っています。



## かながわ支え愛プラン策定・推進会議 委員一覧(敬称略)

(令和4年3月現在)

	委員名	役職等
1	◎ 豊田 宗裕	聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 教授
2	赤尾 正樹	神奈川県医師会 副会長
3	鎌村 誠司	済生会神奈川県病院 患者サポートセンター 医療福祉相談室室長
4	森 勤	神奈川県連合町内会自治会連絡協議会 会計
5	天野 幸江	神奈川県民生委員児童委員協議会 代表
6	武田 勇藏	神奈川県保健活動推進委員会 会長
7	下地 慧子	神奈川県地区社会福祉協議会分科会 副分科会長
8	倉石 芳枝	神奈川県社会福祉協議会 ボランティア分科会 会長
9	伊藤 俊吾	特別養護老人ホーム 菅田心愛の里 施設長
10	寺田 純一	神奈川県基幹相談支援センター 管理者
11	藤嶋 享	神奈川県生活支援センター 主任
12	秋元 治	神奈川県シニアクラブ連合会 副会長
13	大森 恵里	不登校と学校に行きづらい子の親の集い はなまといる代表
14	塚原 泉	地域子育て支援拠点かなーちえ施設長

◎…座長

(順不同)






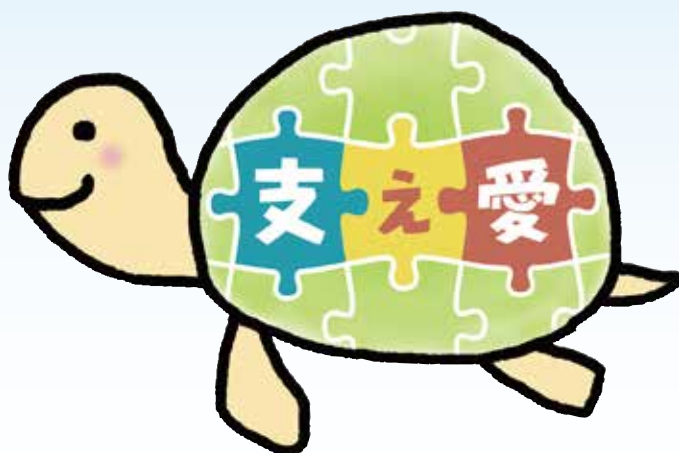
## かながわ支え愛プランの

### 由来

地域福祉保健計画が  
区民の皆さんにとって親しみやすく、  
身近な計画となるよう、  
第3期計画を策定する時に  
計画の愛称を募集し、  
「かながわ支え愛プラン」に  
決定しました。



※表紙やP42の写真は、「わが町 かながわ とっておき」写真コンテストの  
入賞作品から掲載しております。



### 【かながわ支え愛プランのロゴマーク】

今回、かながわ支え愛プランの策定に合わせて、皆さんにプランのイメージを持ってもらうためのロゴマークを考えました。それがこのカメです。(名前はありません。)

カメの甲羅は、ジグソーパズルのデザインになっています。

プランに関わる方、一人ひとりがパズルの1ピースで、ピースが欠けると完成しないことを表しています。そして、カメの歩みはゆっくりですが着実です。時間をかけて、より良い街を目指していく想いが込められています。



区ホームページ

(地区別計画などを掲載しています。)



レアリア

(地域の活動などを連載で紹介しています。)

## かながわ支え愛プラン(第4期 神奈川区地域福祉保健計画)

### 【問合せ】

横浜市 神奈川区 福祉保健課

〒221-0824

横浜市神奈川区広台太田町3-8

TEL 045-411-7135 FAX 045-316-7877

社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会

〒221-0825

横浜市神奈川区反町1-8-4 は一と友神奈川1F

TEL 045-311-2014 FAX 045-313-2420